

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.}	ブライダルコーディネーター技能検定Ⅰ ^{2.}			学科名 (コース名) ^{5.}	ブライダルホテル科 ^{6.}		1学年 ^{3.}
授業形態 ^{4.}	講義	学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月 ^{5.}	該当資格区分 ^{6.}	国家検定 ^{6.}
教育課程区分 ^{7.}	必修	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	国家検定・3級ブライダルコーディネーター技能士
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ^{11.}	11. 国家検定3級ブライダルコーディネーター技能士試験取得対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を教授する。 結婚の定義、日本の結婚式、ブライダルビジネス、ブライダル業種、ブライダルの基礎、コーディネーター業務について学ぶ。 当該科目は、現場で実際にお客様のプランニング、様々な関連業種のコーディネーター業務に役立つ。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 国家検定3級ブライダルコーディネーター技能士試験取得対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を教授する。 結婚の定義、日本の結婚式、ブライダルビジネス、ブライダル業種、ブライダルの基礎、コーディネーター業務について学ぶ。 当該科目は、現場で実際にお客様のプランニング、様々な関連業種のコーディネーター業務に役立つ。						
受講条件	13. YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。						
教科書名 ^{14.}	14. Braidal Coordinator Text Standard ブライダルコーディネーターテキストスタンダード BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 (監修・発行) 2025年4月1日 第5版 ^{16.}				教材名 ^{15.}	17. オリジナルプリント 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会過去問題	
設備名・機器名	教材投影用プロジェクター・PC (教員用)				関連サイト	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 https://www.bia.or.jp/	
関連前科目	18. 該当なし				関連後科目 ^{19.}	ブライダルコーディネーター技能検定Ⅱ	
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ^{20.}							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月16日 ^{11.}	オリエンテーション	検定の趣旨・特徴・受験の手続きなど案内 結婚とは 結婚の定義 検定の趣旨・特徴・受験手続きについて理解し、結婚の定義とその意味について基礎知識を得る				ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第2回	4月23日 ^{12.}	Lesson1 日本の結婚式	日本の結婚式: 歴史と文化 日本の結婚式の歴史と文化的背景を学び、現代の結婚式文化における特徴を説明できる				ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第3回	5月7日	Lesson2 ブライダルビジネス	ブライダルビジネスと呼ばれる業種を学ぶ・市場の推移を知る ブライダルビジネスの構造とその市場推移を理解し、業界全体の動向を把握する				ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第4回	5月14日	Lesson2 ブライダル業種	結婚式会場・披露宴会場・その他ブライダルビジネスについて 結婚式会場や披露宴会場、その他の関連業種について学び、それぞれの役割を説明できる				ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第5回	5月21日	Lesson2 ブライダル業界の1年 ^{16.}	繁忙期・閑散期・集客のシステムについて 繁忙期・閑散期の特徴を理解し、それに応じたサービス提供やスタッフ配置、集客施策の重 要性を理解する				ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第6回	5月28日	復習テスト Lesson3 ブライダルの基礎 ^{18.}	検定過去問も含めた復習小テストの実施及び解説 (第1回～第5回の内容) 見合い・結納について・顔合わせについて 結婚の基本的な知識 (見合い・結納・顔合わせ) の重要なポイントを整理する				ブライダルコーディネーターテ キストスタンダード、オリジナ ルプリント、公益社団法人日本
第7回	6月4日	Lesson3 ブライダルの基礎 結婚までのスケジュール	新郎新婦の結婚までのスケジュール 検討必要事項及び時期を学ぶ 新郎新婦の結婚までのスケジュールや、必要な検討事項とその時期について学ぶ				ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第8回	6月11日	Lesson3 ブライダルの基礎 挙式スタイル キリスト教式	様々な挙式: キリスト教式・シビルマリッジ キリスト教式やシビルマリッジなど、異なる挙式スタイルの特徴を理解し、説明できるよう になる				ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第9回	6月18日	ブライダルの基礎 挙式スタイル 神・仏前式 人前式	様々な挙式: 神前式・仏前式・人前式 神前式、仏前式、人前式など日本独自の挙式形式の特徴を学び、各スタイルの違いを説明で きる				ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第10回	6月25日	復習テスト	検定過去問も含めた復習小テストの実施及び解説 (第7回～第9回の内容) 披露宴～二次会、海外ウェディング、新婚旅行について 披露宴から二次会、海外ウェディング、新婚旅行までの流れを把握し、 Lesson 1～3の知識を統合的に整理する				ブライダルコーディネーターテ キストスタンダード、オリジナ ルプリント、公益社団法人日本 ブライダル文化振興協会過去問
第11回	7月11日	Lesson4 コーディネーター業務 基礎知識	コーディネーター業務とは コーディネーター業務の基礎知識を習得し、具体的な業務内容を理解する				ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第12回	7月9日	コーディネーター業務 新規接客業務 成約業務 ^{Lesson4}	新規接客業務から成約業務まで 新規接客から成約に至るまでの業務プロセスを学び、実践的なスキルを習得する				ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第13回	7月16日	Lesson4 コーディネーター業務 プレゼンテーションについて	プランニングとプレゼンテーションの手法 プランニングとプレゼンテーションの手法を学び、効果的な提案力を身につける				ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第14回	7月23日	復習テスト Lesson1～4までの総復習	検定過去問も含めた復習小テストの実施及び解説 (第11回～第13回の内容) 検定の授業範囲Lesson1～Lesson4の総復習 Lesson 1～4の内容を総復習し、検定試験に向けて必要な知識を再確認する				ブライダルコーディネーターテ キストスタンダード、オリジナ ルプリント、公益社団法人日本
第15回	9月3日	期末テスト	授業第1回～14回の内容で成績判定試験の実施 これまでの授業内容を振り返り、学習成果を試験形式で評価する				オリジナル試験問題 公益社団法人日本ブライダル文 化振興協会過去問題
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}							
①成績判定試験 (配分: 60%) 形式: 選択問題、設問数50問 (1問1点、満点50点)、記述問題40問 (1問1点～2点、満点40問) 文章記述問題2問 (1問5点、満点10点) 時間配分60分、配点調整100点満点を60点満点に換算							
②確認テスト実施 (配分: 20%) 形式: 選択問題、設問数20問 (1問1点、満点20点、減点方式) 時間配分15分、配点調整60点満点を20点満点に換算							
③課題提出 提出期日までに未提出につきー3点 (配分: 10%)							
④授業態度 1コマ欠席につきー1点、授業中に2回注意を受けた場合ー3点 (配分: 10%)							
上記の総合得点で60点以上を合格とする。上記評価項目の各点数を下表の評価配分%にて按出し、総合点60点以上を合格とする。							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験		1位	2位				60
②確認テスト		1位	2位				20
③提出物				2位	1位		10
④授業態度				2位	1位		10
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション							なし
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合
補習の実施後、再試験1回のみ							
シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者	山根 大助	授業担当教員	國定 章子		
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/		
更新履歴							
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)	
改1							

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.}	ブライダルコーディネート技能検定Ⅱ ^{2.}			5「学則」上の名称。略してはならない。		学年	3.
授業形態 ^{4.}	講義	学期	後期	開講年月 ^{5.}	9月	該当資格区分 ^{6.}	国家検定
教育課程区分 ^{7.}	必修	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	国家検定・3級ブライダルコーディネート技能士
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 国家検定3級ブライダルコーディネート技能士試験取得対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を教授する 結婚の定義、日本の結婚式、ブライダルビジネス、ブライダル業種、ブライダルの基礎、コーディネーター業務について学ぶ 11. 当該科目は、現場で実際にお客様のプランニング、様々な関連業種のコーディネート業務に役立つ						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 国家検定3級ブライダルコーディネート技能士試験取得対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を教授する 結婚の定義、日本の結婚式、ブライダルビジネス、ブライダル業種、ブライダルの基礎、コーディネーター業務について学ぶ 当該科目は、現場で実際にお客様のプランニング、様々な関連業種のコーディネート業務に役立つ						
受講条件	13. YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。						
教科書名	14. Braidal Coordinator Text Standard ブライダルコーディネーターテキストスタンダード BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会（監修・発行） 16. 2023年11月1日 第4版			教材名	15. オリジナルプリント		
設備名・機器名	教材投影用プロジェクター・PC（教員用）			2.	関連サイト	17. 公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 https://www.bia.or.jp/	
関連前科目	18. ブライダルコーディネート技能検定Ⅰ			19. セレモニープロデュースⅡ ブライダルプロデュースⅡ			
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材
第1回	10月1日	オリエンテーション		検定試験に関する詳細説明・前期復習・後期授業範囲について学習する BIA検定の試験概要を理解し、学習計画を立てる 前期に学んだ内容を復習し、後期の学習に備える			ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第2回	10月8日	Lesson5 打合せ業務		成約から披露宴本番までの打合せの流れについて学習する 披露宴の打合せの基本的な流れを理解し、実践できる 新郎新婦の希望を適切にヒアリングし、提案できる			ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第3回	10月15日	Lesson6・Lesson8 アイテムの選定・当日業務		会場コーディネイト・テーブルプラン・テーブルセッティングについて理解する 披露宴の会場コーディネートを理解し、適切なアイテムを提案できる ゲストの人数やテーマに応じたテーブルプランを作成できる			ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第4回	10月22日	Lesson6・Lesson7 アイテムの選択・手配業務		ペーパーアイテム（招待状・席札など）について発送時期や基本ルールを学習する ペーパーアイテムの役割や種類を理解し、適切に手配できる 招待状の作成・発送スケジュールを組むことができる			ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第5回	10月29日	復習テスト		BIA検定過去問も含めた復習テストの実施及び解説 これまで学んだ内容を整理し、BIA検定への理解を深める 間違えた箇所を分析し、弱点を克服する			ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第6回	11月5日	Lesson6 ブライダルアイテムの選択		婚礼料理・飲み物・ウェディングケーキについて学習する 披露宴の食事・飲み物・ケーキの選び方を理解し、適切な提案ができる 各料理のコース対応について説明できる			ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第7回	11月12日	Lesson6・Lesson8 アイテムの選択・当日業務		披露宴の進行・司会や音響の役割・各種演出について理解する 司会や音響の役割を理解し、当日の進行計画を立てられる			ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第8回	11月19日	Lesson6・Lesson8 アイテムの選択・当日業務		披露宴の進行・司会や音響の役割・各種演出について理解する 各種演出の効果や準備の流れを把握できる			ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第9回	12月7日	復習テスト		BIA検定過去問も含めた復習テストの実施及び解説			ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第10回	12月11日	Lesson7 手配業務		引出物・引菓子・写真撮影や映像素材の種類などについて学習する 引出物や引菓子の選び方・手配方法を理解する			ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第11回	12月17日	Lesson7 手配業務		引出物・引菓子・写真撮影や映像素材の種類などについて学習する 写真や映像素材の必要性を説明でき、手配の流れを把握する			ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第12回	1月14日	BIA検定対策集中授業		過去問題を繰り返し行い、解説。問題対策を行う Lesson1～8の内容を総復習し、検定試験に向けて必要な知識を再確認する			ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第13回	1月21日	BIA検定対策集中授業		過去問題を繰り返し行い、解説。問題対策を行う Lesson1～8の内容を総復習し、検定試験に向けて必要な知識を再確認する			ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第14回	1月28日	総復習		コーディネーター業務の総復習を行い期末テスト対策を実施 これまで学んだ知識を総復習し、実務で活かせるレベルまで習得する 期末テストに備えて重要ポイントを整理する			ブライダルコーディネーター テキストスタンダード、オリジ ナルプリント
第15回	2月4日	期末テスト		授業第1回～14回の内容で成績判定試験の実施 これまでの授業内容を振り返り、学習成果を試験形式で評価する			オリジナル試験問題
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							
出席率80%以上および、①成績判定試験（100点満点の試験で60点以上で合格） ②確認テスト実施（各回6割以上の正答で合格） ③授業態度（評価基準を記載）							
上記の総合得点で60点以上を合格とする 上記評価項目の各点数を下表の評価配分%にて按分し、総合点60点以上を合格とする							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験		1位	2位				70
②確認テスト		2位	2位				15
③課題レポート							なし
④授業態度				2位	1位		15
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション							なし
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合
補修、追試の有無等							
シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	國定 章子		
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/		
更新履歴							
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者		Check者(確認者)	
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

科目名 ¹	全米ブライダルプランナー検定Ⅰ		学科名 ² (コース名)	ブライダルホテル科				学年 ³	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定		
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	ABC協会認定ブライダルプランナー検定2級		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. ABC協会認定ブライダルプランナー検定2級取得対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を教授する。 この授業で使用する教材から日本のブライダル業界の変遷も理解する。また、現在行われている日本のブライダルでの進行や演出の多くは、欧米のブライダルの流れを受けている事を理解し、それぞれの演出や進行が持つ歴史や意味についての知識を広げる。 当該授業は、現場で実際にお客様のプランニング、様々な関連業種のコーディネート業務に役立つ。								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	1. 当該科目の教育課程における位置づけは、ABC協会認定ブライダルプランナー検定2級取得を目指すことにより将来卒業後に必要な知識・能力を身につけるための科目として位置付ける。 当該科目は欧米のブライダルの基本的な背景・習慣・在り方を習得し、現場で実際に活躍できる。								
受講条件	12. YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。								
教科書名 ¹⁴ ¹⁴ ¹⁶	14 The Business of American Weddings (第4版) The Business of Japanese Weddings (第4版) 全米ブライダルコンサルタント協会 日本オフィス (発行者) 2024年版に改訂			教材名 ¹⁵	15. オリジナルプリント				
設備名・機器名	教材投影用プロジェクター・PC (教員用)			関連サイト ¹⁷	全米ブライダルコンサルタント協会 https://abc-japan.org/				
関連前科目 ¹⁸	該当なし			関連後科目 ¹⁹	全米ブライダルプランナー検定Ⅱ				
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ^{20.}									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標					使用教科書・教材	
第1回	5月12日	オリエンテーション	検定試験概要説明、授業の進め方について説明。ブライダル用語について認識確認 授業の進め方を理解し、学習計画を把握する ブライダル業界で使用される基本的な用語を正しく認識できる					The Business of American Weddings (第4版)	
第2回	5月19日	欧米編	第2章 アメリカンウェディング(ブライダルパーティーなど名称を覚える) アメリカンウェディングにおける主要なパーティーやイベントの種類を理解する 結婚式で使用するアイテムの名称と用途を説明できる					The Business of American Weddings (第4版)	
第3回	5月26日	欧米編	第2章 アメリカンウェディング(ギフト・ペーパーアイテムなど名称を覚える) 結婚式で使用するアイテムの名称と用途を説明できる					The Business of American Weddings (第4版)	
第4回	8月25日	欧米編	第6章 ブライダルコンサルタントとは(米国ウェディングの市場・コンサルタントとしての仕事など) 米国のブライダル市場の特徴を説明できる ブライダルコンサルタントの業務内容を理解し、実務に活かせる					The Business of American Weddings (第4版)	
第5回	8月25日	欧米編	第4章 アメリカンウェディング(セレモニー・3つの宗教・宗派・伝統的な言い伝えなど) それぞれの宗教における結婚式の特徴を説明できる アメリカの結婚式の伝統的な要素を理解する					The Business of American Weddings (第4版)	
第6回	8月26日	欧米編	第7章 宗教ウェディング(プロテスタント・ローマカトリック・ユダヤ教・非宗教について) 各宗教の結婚式の違いを説明できる 文化的な背景に基づいた宗教婚の重要性を理解する					The Business of American Weddings (第4版)	
第7回	8月26日	欧米編	第5章 アメリカンウェディング(レセプション 本番) アメリカンウェディングにおけるレセプションの流れを理解し、説明できる 司会進行や演出のポイントを学ぶ					The Business of American Weddings (第4版)	
第8回	8月28日	欧米編 総復習	アメリカンウェディング 総まとめ アメリカの結婚式の全体像を理解し、試験に向けた準備を行う 実際の業務で活かせる知識を身につける					The Business of American Weddings (第4版)	
第9回	6月28日	欧米編 総復習	アメリカンウェディング 総まとめ アメリカの結婚式の全体像を理解し、試験に向けた準備を行う 実際の業務で活かせる知識を身につける					The Business of American Weddings (第4版)	
第10回	6月29日	日本編	日本の婚礼会場における仕事 日本の結婚式場の種類や特徴を説明できる 現場で求められるスキルや業務内容を理解する					The Business of Japanese Weddings(第4版)	
第11回	6月29日	日本編	日本の婚礼における関連サービス・主要業者について 日本の結婚式業界における各業者の役割を説明できる 婚礼サービスの流れを理解し、適切な提案ができる					The Business of Japanese Weddings(第4版)	
第12回	9月1日	日本編	日本のブライダル市場について 日本のブライダル市場の最新動向を理解し、業界の課題を考察できる 市場分析を通じて、実務に活かせる知識を得る					The Business of Japanese Weddings(第4版)	
第13回	9月1日	総復習 期末テスト実施	日本における結婚式の総まとめ 欧米と日本のテキストより出題 授業第1回～12回の内容で成績判定試験の実施 これまでの授業内容を振り返り、学習成果を試験形式で評価する					オリジナル試験問題	
第14回	9月5日	過去問題 模擬試験 (直前対策授業)	ブライダルプランナー検定2級 過去問題演習 日本と欧米の結婚式の違いを整理し、比較できる 検定試験の重要ポイントを把握する					The Business of American Weddings(第4版)/TheBusiness of JapaneseWeddings(第4版) オリジナルプリント	
第15回	9月5日	過去問題 模擬試験 (直前対策授業)	ブライダルプランナー検定2級 過去問題演習 日本と欧米の結婚式の違いを整理し、比較できる 検定試験の重要ポイントを把握する					The Business of American Weddings(第4版)/TheBusiness of JapaneseWeddings(第4版) オリジナルプリント	
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}									
出席率80%以上および、①成績判定試験(100点満点の試験で60点以上で合格) ②確認テスト実施(各回6割以上の正答で合格) ③授業態度(評価基準を記載)									
上記の総合得点で60点以上を合格とする 上記評価項目の各点数を下表の評価配分%にて按分し、総合点60点以上を合格とする									
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点～90点	
②確認テスト		2位	2位				15	優(A):89点～80点	
③課題レポート							なし	良(B):79点～70点	
④授業態度				2位	1位		15	可(D):69点～60点	
⑤作品							なし	不可(E):59点以下	
⑥プレゼンテーション							なし		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等	
シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者		授業担当教員	岡田 彩				
				実務経験紹介					
更新履歴									
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所		作成者		Check者(確認者)		
改1									
改2									
改3									
改4									
改5									

科目名 ¹		全米ブライダルプランナー検定Ⅱ		学科名 ² (コース名)		ブライダルホテル科			学年	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期		前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定		
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	ABC協会認定ブライダルプランナー検定1級			
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11. ABC協会認定ブライダルプランナー検定1級取得対策を通し、ブライダル業界へ従事する為の基礎知識を教授する。 この授業で使用する教材から日本のブライダル業界の変遷も理解する。また、現在行われている日本のブライダルでの進行や演出の多くは、欧米のブライダルの流れを受けている事を理解し、それぞれの演出や進行が持つ歴史や意味についての知識を広げる。 当該授業は、現場で実際にお客様のプランニング、様々な関連業種のコーディネート業務に役立つ。								
		12. 当該科目の教育課程における位置づけは、ABC協会認定ブライダルプランナー検定1級取得を目指すことにより将来卒業後に必要な知識・能力を身につけるための科目として位置付ける。 当該科目は、現場で実際にお客様のプランニング、様々な関連業種のコーディネート業務に役立つ								
受講条件		13. YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。								
教科書名		14. The Business of American Weddings (第4版) 14. The Business of Japanese Weddings (第4版) 16. 全米ブライダルコンサルタント協会 日本オフィス (発行者) 2024年版に改訂				15. 教材名		17. オリジナルプリント		
		教材投影用プロジェクター・PC (教員用)				関連サイト		全米ブライダルコンサルタント協会 https://abc-japan.org/_		
関連前科目		18. 全米ブライダルプランナー検定Ⅰ				関連後科目		19. セレモニープロデュースⅡ ブライダルプロデュースⅡ		
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位										
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標					使用教科書・教材	
第1回	5月12日	オリエンテーション		検定試験概要説明、授業の進め方について説明。 検定試験の概要を理解し、試験対策の方向性を把握する 授業の進め方を理解し、学習計画を立てる						
第2回	5月19日	日本版①		1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う 1年時に学習した日本のブライダルについての知識を復習し、確実に定着させる 日本の婚礼業界の流れ、会場、関連業者の違いなどを再確認する					The Business of Japanese Weddings(第4版)	
第3回	5月26日	日本版②		1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う 1年時に学習した日本のブライダルについての知識を復習し、確実に定着させる 日本の婚礼業界の流れ、会場、関連業者の違いなどを再確認する					The Business of Japanese Weddings(第4版)	
第4回	6月9日	日本版③		1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う 1年時に学習した日本のブライダルについての知識を復習し、確実に定着させる 日本の婚礼業界の流れ、会場、関連業者の違いなどを再確認する					The Business of Japanese Weddings(第4版)	
第5回	6月9日	欧米編①		欧米版テキスト7章～12章を過去問題に添って学ぶ 欧米版テキスト(7章～12章)を学び、アメリカンウェディングの詳細を理解する 過去問題を通じて、試験対策の実践力を高める					The Business of American Weddings (第4版)	
第6回	6月16日	欧米編②		欧米版テキスト7章～12章を過去問題に添って学ぶ 欧米版テキスト(7章～12章)を学び、アメリカンウェディングの詳細を理解する 過去問題を通じて、試験対策の実践力を高める					The Business of American Weddings (第4版)	
第7回	6月16日	欧米編③		1年時に学習した内容の欧米版の総復習を行う 1年時に学習した欧米ウェディングの知識を総復習し、理解を深める アメリカンウェディングの文化、宗教、セレモニーの違いを整理できる					The Business of American Weddings (第4版)	
第8回	6月23日	欧米編④		1年時に学習した内容の欧米版の総復習を行う 1年時に学習した欧米ウェディングの知識を総復習し、理解を深める アメリカンウェディングの文化、宗教、セレモニーの違いを整理できる					The Business of American Weddings (第4版)	
第9回	6月23日	記述対策授業		記述問題に対して、いくつかのパターンを学び、プランナーとしての提案を論文にする 記述問題のパターンを学び、プランナーとしての提案を論理的にまとめる力を養う ウェディングプランナーとしての実践的な提案力を鍛える					The Business of American Weddings(第4版)/TheBusiness of JapaneseWeddings(第4版)	
第10回	6月30日	記述対策授業		記述問題に対して、いくつかのパターンを学び、プランナーとしての提案を論文にする 記述問題のパターンを学び、プランナーとしての提案を論理的にまとめる力を養う ウェディングプランナーとしての実践的な提案力を鍛える					The Business of American Weddings(第4版)/TheBusiness of JapaneseWeddings(第4版)	
第11回	6月30日	総まとめ		欧米ならではの特徴を総復習(ブライダルパーティ・宗教挙式など) 欧米のブライダル(パーティー形式・宗教挙式)の特徴を総復習し、比較できる					The Business of American Weddings(第4版)/TheBusiness of JapaneseWeddings(第4版) オリジナルプリント	
第12回	7月7日	総まとめ		日本のブライダルビジネスについて 日本のブライダルビジネスの現状や課題を整理し、説明できる					The Business of American Weddings(第4版)/TheBusiness of JapaneseWeddings(第4版) オリジナルプリント	
第13回	7月7日	総復習 期末テスト実施		日本における結婚式の総まとめ 欧米と日本のテキストより出題 授業第1回～12回の内容で成績判定試験の実施 これまでの授業内容を振り返り、学習成果を試験形式で評価する					オリジナル試験問題	
第14回	7月11日	過去問題 模擬試験 (直前対策授業)		ブライダルプランナー検定1級 過去問題演習 日本と欧米の結婚式の違いを整理し、比較できる 検定試験の重要ポイントを把握する					The Business of American Weddings(第4版)/TheBusiness of JapaneseWeddings(第4版) オリジナルプリント	
第15回	7月11日	過去問題 模擬試験 (直前対策授業)		ブライダルプランナー検定1級 過去問題演習 日本と欧米の結婚式の違いを整理し、比較できる 検定試験の重要ポイントを把握する					The Business of American Weddings(第4版)/TheBusiness of JapaneseWeddings(第4版) オリジナルプリント	
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。										
出席率80%以上および、①成績判定試験 (100点満点の試験で60点以上で合格) ②確認テスト実施 (各回6割以上の正答で合格) ③授業態度 (評価基準を記載) 上記の総合得点で60点以上を合格とする 上記評価項目の各点数を下表の評価配分%にて按分し、総合点60点以上を合格とする										
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準		
①成績判定試験		1位	2位				70	秀 (S) : 100点～90点		
②確認テスト		2位	2位				15	優 (A) : 89点～80点		
③課題レポート							なし	良 (B) : 79点～70点		
④授業態度				2位	1位		15	可 (D) : 69点～60点		
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下		
⑥プレゼンテーション							なし			
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等		
シラバス作成者	固定 章子	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員		岡田 彩				
				実務経験紹介						
更新履歴										
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)		
改1										
改2										
改3										
改4										
改5										

2025年度 シラバス

科目名 ¹	現代ブライダル概論			学科名 (コース名) ²	ブライダルホテル科 ⁵		学年	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 本授業では、現代のブライダル業界における構造、職種、挙式スタイル、顧客ニーズ、業界課題、最新トレンドなどを幅広く教授する。業界の全体像を理解するとともに、マーケティングやホスピタリティの視点を養い、今後の進路選択や現場での実務に活かす。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 現代のブライダル業界における構造、動向、トレンド、課題、そして将来展望について、実務的かつ理論的に学ぶ							
受講条件	13 YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。							
教科書名	14 該当なし				教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint オリジナルプリント		
設備名・機器名	16 教材投影用プロジェクター・PC (教員用)				関連サイト ¹⁷			
関連前科目	18 該当なし				関連後科目 ¹⁹	該当なし		
20 授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	10月1日	ガイダンス・ブライダル産業の全体像	授業の目的と進め方の確認。日本と世界におけるブライダル業界の現状と特徴を学ぶ。現代のブライダル業界の全体像と職種の幅広さを理解する。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第2回	10月8日	結婚式の変遷と社会的役割	昭和・平成・令和と時代ごとの結婚式スタイルの違いと背景を学ぶ。結婚式の社会的意味や変遷について説明できる。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第3回	10月15日	ブライダルに関わる職種とその役割	プランナー、ドレスコーディネーター、司会、フローリストなどの職種を理解する。ブライダルに関わる各専門職の業務内容と連携を説明できる。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第4回	10月22日	結婚式場の種類と特徴	ホテル、ゲストハウス、専門式場、レストランなどの施設形態を比較する。各式場の特徴とメリット・デメリットを理解する。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第5回	10月29日	挙式スタイルの多様化	神前式、教会式、人前式、海外挙式など多様な挙式の形式と文化背景を学ぶ。挙式スタイルの違いと新郎新婦の選択傾向を説明できる。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第6回	11月5日	ブライダルマーケティング① ターゲットと動向	Z世代・ミレニアル世代の価値観と消費行動を学ぶ。現代の顧客ニーズとマーケティングの基本を理解する。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第7回	11月12日	ブライダルマーケティング② SNSと情報発信	Instagram・TikTok等を活用した集客手法とロコミ戦略。SNSがブライダル業界に与える影響と活用法を理解する。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第8回	11月19日	最新トレンドと顧客ニーズ	SDGs婚・ナチュラル婚・少人数婚・オンライン婚など現代的傾向を学ぶ。トレンドの背景を読み取り、自分の意見を持てるようになる。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第9回	12月7日	ブライダル業界の課題① 少子化と市場縮小	統計をもとにした結婚数・挙式件数の現状分析と業界の工夫。業界の構造的課題を把握し、解決に向けた視点を養う。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第10回	12月11日	ブライダル業界の課題② 人材不足と労働環境	離職率・労働時間・働き方改革の現状を考察する。業界内の労働課題を理解し、自身の将来像を考える。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第11回	12月17日	海外ブライダルとの比較	欧米・アジア諸国のブライダスタイルや文化との違いを学ぶ。日本との違いを踏まえた国際的な視野を持てるようになる。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第12回	1月14日	ブライダル×テクノロジー	VR挙式、オンライン相談、AIプランニングなどの最新技術を紹介。テクノロジーの導入による変化と可能性を説明できる。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第13回	1月21日	顧客満足とホスピタリティ	接客の基本、クレーム対応、感動体験の創出について考える。顧客満足とホスピタリティの概念を理解し、実践の意識を高める。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第14回	1月28日	業界人による特別講義 or ケーススタディ	現場のプロによる講義、または事例を元にしたグループ討議を実施。事例から学び、業界理解と自身の志望動機を深める。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第15回	2月4日	総まとめ・レポート発表	これまでの学びをもとに、現代ブライダルにおける提案をレポート形式で発表。学んだ知識を統合し、自らの考えを発信・表現できる。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
21 成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
【プレゼンテーション】【作品】 各学生が構成した商品プランを作成した資料、アイテムを効果的に使用し、説得力(メリット・効果)、対応力(顧客ニーズ)、表現力(オリジナリティ)などの提案力をプレゼンテーション実技にて評価する。 【課題レポート】【授業態度】 授業毎の要点に対しての理解度をレポート提出にて評価する。他学生のプレゼンテーション実技中において、聞き手としての態度、質問、合評レポート提出にて評価する。 【欠席】成績評価点から(欠席回数×7%)を減算								
↓判定方法、該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							なし	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト							なし	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート		1位	2位				10	良 (B) : 79点~70点
④授業態度				2位	1位		10	可 (D) : 69点~60点
⑤作品			1位			2位	20	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション				2位		1位	60	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	シラバス作成者	国定 章子	シラバス承認者	山根 大助	授業担当教員	国定 章子		
					実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/		
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 ¹		現代ホテル理論Ⅰ		学科名 ² (コース名)		ブライダルホテル科			学年	I学年
授業形態 ⁴		講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ¹⁶	該当なし		
教育課程区分 ⁷		必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		日本のホテル業界を研究し、それぞれの施設が持つ特徴を理解し、利用するお客様が求める「サービス・おもてなし」について理解する。								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		お客様からのリクエスト要望に対応出来る実践的な接客スキルを身につける。								
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。								
教科書名		該当なし				教材名 ^{14,15}	該当なし			
設備名・機器名		教材投影用プロジェクター・PC (教員用)				関連サイト ^{16,17}	https://www.jec-jp.org/hken/about/hken.php 一般財団法人日本ホテル教育センター			
関連前科目		該当なし				関連後科目 ¹⁹	現代ホテル理論Ⅱ			
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰										
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標					使用教科書・教材	
第1回	4月15日	オリエンテーション		授業の概要・目的・目標・進め方について説明する					YICオリジナルテキスト	
第2回	4月22日	ホテル業従業者の資質		身だしなみ、心構え、ホテルマンの資質 ホテル業従業者が必要な資質を確認することができる					YICオリジナルテキスト	
第3回	5月13日	心のバリアフリー		誰もが暮らしやすい社会を目指して 高齢者、身体の不自由な人、または国籍やLGBTQなど 多種多様な人たちに対して、分け隔てないおもてなしを 身につけることができるようになる					YICオリジナルテキスト	
第4回	5月20日	おもてなし企画		おもてなし旅行企画プランの提案 訪日外国人観光客に配慮することができる					YICオリジナルテキスト	
第5回	5月27日	ホテルのサービスについて		サービスの重点ポイントについて学ぶ お客様に信頼や安心感を与えられるサービスがわかるようになる					YICオリジナルテキスト	
第6回	6月3日	校外授業		ホテル施設見学 現場での体験を通して、考え自ら行動できるホスピタリティを学ぶことができる					YICオリジナルテキスト	
第7回	6月10日	校外授業の振り返りと企業研究		グループディスカッションによる振り返りと企業研究 振り返りを行うことで、あらためて現場で学んだことを理解できる ようになる					YICオリジナルテキスト	
第8回	6月17日	ホスピタリティ・マインドとは		ホスピタリティ・マインドを実践するには お客様に寄り添った接客が出来るようになる					YICオリジナルテキスト	
第9回	6月24日	ホテルの商品プランについて		ホテルの商品プランについて ホテルではどんな商品プランがあるのか理解することができる					YICオリジナルテキスト	
第10回	7月1日	宿泊プランについて		宿泊プランの提案 ホテルではどんな宿泊プランが販売しているか理解することができる					YICオリジナルテキスト	
第11回	7月8日	宿泊プランの発表		宿泊プランの発表 宿泊プランのアイデアを考えることができる					YICオリジナルテキスト	
第12回	7月15日	日本の文化理解		現場活用できる日本文化 日本の文化理解を理解することができる					YICオリジナルテキスト	
第13回	7月22日	異文化の理解		異文化の理解 異文化を理解することでシーンに合わせた心づかいの大切を身につける。					YICオリジナルテキスト	
第14回	7月29日	前期の振り返り		前期の復習と定期試験対策 学習内容を整理し、試験に向けた理解を深める。					YICオリジナルテキスト	
第15回	9月2日	期末テスト		成績判定試験の実施 これまでの授業内容を振り返り、学習成果を試験形式で評価する 前期の学習成果を試験形式で確認し、理解度を評価する。					YICオリジナルテキスト	
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹										
①成績判定試験						【配分：50%】				
②確認テスト実施 課題提出						【配分：20%】				
③授業態度 1コマ欠席につき1点、授業中に2回注意を受けた場合－3点 上記の総合得点が60点以上を合格とする。 上記評価項目の各点数を下表の評価配分%にて按分し、総合点60点以上を合格とする。						【配分：20%】				
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準		
①成績判定試験		1位	2位				50	秀 (S)：100点～90点		
②確認テスト		2位	2位				20	優 (A)：89点～80点		
③課題レポート							なし	良 (B)：79点～70点		
④授業態度				2位	1位		20	可 (D)：69点～60点		
⑤作品							なし	不可 (E)：59点以下		
⑥プレゼンテーション							なし			
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等		
シラバス作成者	村瀬 孝	シラバス承認者	フルネームを記載			授業担当教員	村瀬 孝			
						実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載			

2025年度 シラバス

科目名 ¹	現代ホテル理論Ⅱ		学科名 (コース名) ²	ブライダルホテル科 ³			学年 ⁴	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ¹⁰	該当なし	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		美しい所作を身に付けると同時にお客様へのおもてなしを体现できる人間になる。マナープロトコール検定3級合格を目指す						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		立ち方・座り方・食事のマナーを知る。マナープロトコール検定を取得し、社会人になった際にマナーに沿った対応ができるようになる						
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること						
教科書名 ¹⁴ マナー&プロトコールの基礎知識 マナー&プロトコール協会 (監修・発行)				教材名 ¹⁵		該当なし		
設備名・機器名 ¹⁶ 教材投影用プロジェクター・PC(教員用)				関連サイト ¹⁷		https://www.jec-jp.org/hken/about/hken.php 一般財団法人日本ホテル教育センター		
関連前科目 ¹⁸ 該当なし				関連後科目 ¹⁹		該当なし		
授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	9月29日	オリエンテーション 相手を敬う表現を正しく使う	本科目の学習目標を知る 明快で尊敬語・謙譲語・丁寧語を正しく使用した文章を作成する 主語と述語を近づける・相手を敬う表現を正しく使うことができる				マナー&プロトコールの基礎知識	
第2回	10月6日	適切な指示代名詞を使う	適切に接続詞を入れることで、文と文をつないで、文章を整理し読みやすくする 修飾・被修飾関係をはっきりさせる・適切な指示代名詞を使うことができる				マナー&プロトコールの基礎知識	
第3回	10月20日	短い文章を作成する	要領を得た、わかりやすい文章にするために、短い文章を作成する 効果的に接続詞を使うことができる				マナー&プロトコールの基礎知識	
第4回	10月27日	わかりやすい文章を作成する	要領を得た、わかりやすい文章にするために、短い文章を作成する 一文を短くする・一文には1つの事柄だけを入れることができる				マナー&プロトコールの基礎知識	
第5回	11月10日	言葉の重複使用を避ける	単調な、またあいまいな印象を与える言葉の重複使用を避ける 二重否定を避けることができる				マナー&プロトコールの基礎知識	
第6回	11月17日	事実と推測を区別する	読み手の誤解を防ぐための文章を作成する 事実と推測を区別することができる				マナー&プロトコールの基礎知識	
第7回	12月1日	理解しやすい構成にする	読み手が即座に全体像を把握できる構成にする 読み手が即座に全体像を把握できるような理解しやすい構成にすることができる				マナー&プロトコールの基礎知識	
第8回	12月8日	国際プロトコールの基本	国際化社会において必要とされる、外交上のマナーやしきたりを学ぶ 接遇に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる				マナー&プロトコールの基礎知識	
第9回	12月15日	食事のマナー	各国料理のテーブルマナーについて学ぶ 洋食マナーの基礎を学ぶことができ、社会人になってから自然とマナーを守れるようになる				マナー&プロトコールの基礎知識	
第10回	12月22日	冠婚葬祭と贈答のマナー	日本の、特に葬しきたりと贈り物・お返しルールを学ぶ 冠婚葬祭と贈答のマナーを理解することができる				マナー&プロトコールの基礎知識	
第11回	1月19日	社会人に必要なマナー振り返り	他科目で修得した社会人として必要なマナーについて、マナー・プロトコール検定試験前に振り返る				マナー&プロトコールの基礎知識	
第12回	1月26日	論理的な文書をつくる(1) 企画書	簡潔でわかりやすいビジネスEメールを書くコツを学ぶ わかりやすい企画書を作成することができる				マナー&プロトコールの基礎知識	
第13回	2月2日	論理的な文書をつくる(2) メール文	簡潔でわかりやすいビジネスEメールを書くコツを学ぶ わかりやすいメール文を作成することができる				マナー&プロトコールの基礎知識	
第14回	2月4日	論理的な文書をつくる(3) 議事録	情報共有を目的とした議事録において必要な要素を学ぶ 論理的な議事録を作成することができる				マナー&プロトコールの基礎知識	
第15回	2月9日	期末テスト	成績判定試験の実施 これまでの授業内容を振り返り、学習成果を試験形式で評価する				マナー&プロトコールの基礎知識	
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹								
①成績判定試験 【配分:50%】								
②確認テスト実施 【配分:20%】 課題提出								
③授業態度 1コマ毎につき1点、授業中に2回注意を受けた場合-3点 【配分:20%】								
↓判定方法/該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				50	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位	2位				20	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		20	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	村瀬 孝	シラバス承認者		授業担当教員	村瀬 孝			
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載			
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度 シラバス

科目名 ¹	ホテルビジネス基礎Ⅰ		学科名 (コース名) ²	ブライダルホテル科			学年	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷ 分	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	ホテルビジネス実務検定試験	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹	ホテルビジネス実務検定試験対策を通してホテル業界における基本的な知識と業務内容を体系的に教授する。ホテルの種類・歴史から各部門（ドアマン、ベルマン、クローク、コンシェルジュ、フロント、インフォメーションなど）の役割と業務内容を理解させる。実務に必要な基礎知識と接客対応力を養成する。将来、現場でホテル業務における即戦力となるための基盤づくりを目的とする。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	ホテルビジネス実務検定試験対策を通して、ホテルの種類や歴史、組織構造を理解し、各部門の業務内容や役割を把握することで、ホテル業務全体の基礎知識を習得する。また、12月開催のホテルビジネス実務検定 ベーシックレベル2級の取得を目標とする。							
受講条件 ¹³	YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること							
教科書名 ¹⁴	ホテルビジネス基礎編 ホテルビジネス練習過去問題700選 一般財団法人日本ホテル教育センター			教材名 ¹⁵	オリジナルプリント			
設備名・機器名 ¹⁶	教材投影用プロジェクター・PC（教員用）			関連サイト ¹⁷	https://www.jec-jp.org/hken/about/hken.php 一般財団法人日本ホテル教育センター			
関連前科目 ¹⁸	該当なし			関連後科目 ¹⁹	ホテルビジネス基礎Ⅱ			
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目標単位、実習・演習：30コマ以上/単位								20.
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標					使用教科書・教材
第1回	4月15日	オリエンテーション	授業の必要性・概要・目的・目標について説明 授業の目的と全体像を理解し、学習意欲を高める。					ホテルビジネス基礎編
第2回	4月22日	ホテルの種類と組織	シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテル、ホテルの経営形態 ホテルの分類と組織構成、経営形態について理解する。					ホテルビジネス基礎編
第3回	5月13日	ホテルの歴史	ホテルのルーツ、ホテルの誕生 ホテルの起源と発展の流れを理解する。					ホテルビジネス基礎編 ホテルビジネス練習過去問題700選
第4回	5月20日	ホテルの歴史	近代ホテルの発達、日本のホテル史 近代ホテルや日本のホテルの歴史を学び、業界の変遷を理解する。					ホテルビジネス基礎編 ホテルビジネス練習過去問題700選
第5回	5月27日	ドアマン・ベルマンの業務	職場環境の整備、出迎えと見送り（ドアマン）、チェックイン時の接客（ベルマン） ドアマン・ベルマンの業務内容と接客の基本を理解する。					ホテルビジネス基礎編 ホテルビジネス練習過去問題700選
第6回	6月3日	クローク業務、客室部門	クローク係、クロークルームの整理、ハウスキーピングの業務、客室についての基礎知識 クロークやハウスキーピングなど客室関連業務の基礎を学ぶ。					ホテルビジネス基礎編 ホテルビジネス練習過去問題700選
第7回	6月10日	コンシェルジュ	コンシェルジュとは、コンシェルジュ部門の業務内容 コンシェルジュの役割と業務内容を理解する。					ホテルビジネス基礎編 ホテルビジネス練習過去問題700選
第8回	6月17日	フロントオフィスとは	意義と役割、客室のタイプ、料金システム フロントオフィスの役割、客室タイプ、料金システムを理解する。					ホテルビジネス基礎編 ホテルビジネス練習過去問題700選
第9回	6月24日	リザーベーション業務	リザーベーションクラークの心得、客室予約の種類、予約受付 宿泊予約の基本的な流れと受付業務を理解する。					ホテルビジネス基礎編 ホテルビジネス練習過去問題700選
第10回	7月1日	レセプション業務	ルームアサイント、チェックイン業務、チェックアウト業務 ルームアサイン、チェックイン・アウトの流れを理解する。					ホテルビジネス基礎編 ホテルビジネス練習過去問題700選
第11回	7月8日	フロントキャッシャー業務	フロントキャッシャーの概要、会計業務、外貨両替 会計業務や外貨両替など、フロントでの金銭管理を理解する。					ホテルビジネス基礎編 ホテルビジネス練習過去問題700選
第12回	7月15日	インフォメーション業務	インフォメーション、ルームインフォメーションなど 宿泊客への案内業務の基本を学ぶ。					ホテルビジネス基礎編 ホテルビジネス練習過去問題700選
第13回	7月22日	インフォメーション業務	メッセージ、郵便物、電話交換 電話対応、郵便物の管理など、補助業務の基本を理解する。					ホテルビジネス基礎編 ホテルビジネス練習過去問題700選
第14回	9月2日	前期の振り返り	前期の復習と定期試験対策 学習内容を整理し、試験に向けた理解を深める。					ホテルビジネス基礎編 ホテルビジネス練習過去問題700選
第15回	9月9日	期末テスト	成績判定試験の実施 これまでの授業内容を振り返り、学習成果を試験形式で評価する 前期の学習成果を試験形式で確認し、理解度を評価する。					ホテルビジネス基礎編 ホテルビジネス練習過去問題700選
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								21.
①成績判定試験								【配分：50％】
②確認テスト実施								【配分：20％】
③授業態度 1コマ欠席につき1点、授業中に2回注意を受けた場合3点								【配分：20％】
上記の総合得点で60点以上を合格とする。 上記評価項目の各点数を下表の評価配分%にて按じ、総合点60点以上を合格とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				50	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		1位	2位				20	優（A）：89点～80点
③課題レポート							10	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		20	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者		授業担当教員	渡邊 忠司			
				実務経験紹介				
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所		作成者		Check者(確認者)	
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度 シラバス

科目名 ¹	ホテルビジネス基礎Ⅱ		学科名 ² (コース名)	プライダルホテル科			学年	I学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	ホテルビジネス実務検定試験	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 ホテルビジネス実務検定試験対策を通してホテル業界における基本的な知識と業務内容を体系的に教授する。料飲、宴会、調理部門の役割と業務内容を理解させる。実務に必要な基礎知識と接客対応力を養成する。 将来、現場でホテル業務における即戦力となるための基盤づくりを目的とする。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 ホテルビジネス実務検定試験対策を通して、各部門の業務内容や役割を把握することで、ホテル業務全体の基礎知識を習得する。また、12月開催のホテルビジネス実務検定 パーシクレベル2級の取得を目標とする。							
受講条件	13 YIC京都ビューティ専門学校プライダルホテル科に在籍していること							
教科書名	14 ホテルビジネス基礎編 ホテルビジネス練習過去問題700選 一般財団法人日本ホテル教育センター				教材名 ¹⁵	オリジナルプリント		
設備名・機器名	16 教材投影用プロジェクター・PC(教員用)				関連サイト ¹⁷	17 https://www.jec-jp.org/hken/about/hken.php 一般財団法人日本ホテル教育センター		
関連前科目	18 ホテルビジネス基礎Ⅰ				関連後科目 ¹⁹	19 該当なし		
20. 授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	9月30日	宿泊部門の業務	宿泊部門の復習 宿泊部門における組織や役割、担当業務について理解できる				ホテルビジネス基礎編 練習過去問題700選	
第2回	10月7日	料飲部門の概要	料飲部門の概要について学ぶ 料飲部門の商品特性や業務分担について理解できる				ホテルビジネス基礎編 練習過去問題700選	
第3回	10月14日	料飲部門の実務Ⅰ	料飲部門の実務について学ぶ 料飲部門の基本知識について理解できる				ホテルビジネス基礎編 練習過去問題700選	
第4回	10月21日	料飲部門の実務Ⅱ	料飲部門の実務について学ぶ 料飲部門の業務分掌について理解できる				ホテルビジネス基礎編 練習過去問題700選	
第5回	10月28日	宴会部門の概要	宴会部門の概要について学ぶ 宴会部門の商品特性や組織と役割について理解できる				ホテルビジネス基礎編 練習過去問題700選	
第6回	11月4日	宴会部門の実務Ⅰ	宴会部門の実務について学ぶ 宴会部門の基本知識や担当業務について理解できる				ホテルビジネス基礎編 練習過去問題700選	
第7回	11月11日	宴会部門の実務Ⅱ	宴会部門の基本知識について学ぶ 宴会部門の担当業務について理解できる				ホテルビジネス基礎編 練習過去問題700選	
第8回	11月18日	調理部門の概要	調理部門の概要について学ぶ 調理部門の部門特性や組織と役割について理解できる				ホテルビジネス基礎編 練習過去問題700選	
第9回	11月25日	調理部門の実務	調理部門の基本知識について学ぶ 調理部門の基本知識や担当業務について理解できる				ホテルビジネス基礎編 練習過去問題700選	
第10回	12月2日	検定対策(ホテルの基礎、宿泊)	ホテルビジネス実務検定試験対策(過去問題) ホテルの基礎、宿泊部門の内容について理解できる				ホテルビジネス基礎編 練習過去問題700選	
第11回	12月9日	検定対策(料飲、宴会、調理)	ホテルビジネス実務検定試験対策(過去問題) 料飲部門、宴会部門、調理部門の内容について理解できる				ホテルビジネス基礎編 練習過去問題700選	
第12回	12月23日	検定試験	ホテルビジネス実務検定試験を実施する ホテルにおける実務知識を体系的に習得することができる				ホテルビジネス基礎編 練習過去問題700選	
第13回	1月13日	後期の振り返り	後期の復習と定期試験対策 これまで学んだことを復習することで関連する知識を習得することができる				ホテルビジネス基礎編 練習過去問題700選	
第14回	1月20日	後期の振り返り	後期の復習と定期試験対策 学習内容を整理し、成績判定試験に向けた理解を深める。				ホテルビジネス基礎編 練習過去問題700選	
第15回	1月27日	期末テスト	成績判定試験の実施 これまでの授業内容を振り返り、学習成果を試験形式で評価する				ホテルビジネス基礎編 練習過去問題700選	
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
①成績判定試験			【配分: 50%】					
②確認テスト実施 課題提出			【配分: 30%】					
③授業態度 1コマ欠席につき1点、授業中に2回注意を受けた場合-3点			【配分: 20%】					
上記の総合得点で60点以上を合格とする。 上記評価項目の各点数を下表の評価配分%にて按分し、総合点60点以上を合格とする。								
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				50	秀(S): 100点~90点	
②確認テスト	1位	2位				20	優(A): 89点~80点	
③課題レポート						10	良(B): 79点~70点	
④授業態度			2位	1位		20	可(D): 69点~60点	
⑤作品						なし	不可(E): 59点以下	
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	フルネームを記載	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	フルネームを記載			
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載			
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改I								

2025年度 シラバス

科目名 ¹	ブライダルコスチュームⅠ		学科名 (コース名) ²	ブライダルホテル科 ⁶			学年	³ 学年
授業形態 ⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	ABC協会認定ドレスコーディネータ検定	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	¹¹ 本授業では、衣裳の歴史・ドレスコード・シルエットの名称とその似合う体型を学び、ドレスコードなどの扱い方を教授する。 ¹ 洋装（ウェディングドレスやカラードレス）・アクセサリー・パールなどの小物合わせ、和装についてトータルで学習し、 プライダルの現場で即戦力となれることを目指します。 当該科目は、現場で実際にお客様にフィッティング・メンテナンス実施の際に役立つ。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹² ①衣裳・小物の種類を理解する。 ②ドレスの着せ方を学び、フィッティングができる。 ③補正の方法やドレスメンテナンスや、扱い方を知る。 当該科目は、現場で実際にお客様にフィッティング・メンテナンス実施の際に役立つ。							
受講条件	YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。							
教科書名 ¹⁴	該当なし				教材名 ¹⁵	オリジナルプリント		
設備名・機器名 ¹⁶	教材投影用プロジェクター・PC（教員用）				関連サイト ¹⁷			
関連前科目 ¹⁸	該当なし				関連後科目 ¹⁹	ブライダルコスチュームⅡ		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月15日	ガイダンス・コスチュームの概要	ブライダルコスチュームの基本的な種類や、コスチュームアドバイザーの役割について理解する				オリジナルプリント	
第2回	4月24日	ウェディングドレスの基礎①	ドレスコードや基本的なデザインや用語を理解し、アクセサリーや小物の種類を説明できる				オリジナルプリント	
第3回	5月13日	ウェディングドレスの基礎②	ウェディングドレスの素材やサイズ展開について理解し、説明できる				オリジナルプリント	
第4回	5月20日	メンズコーディネート・ 列席衣裳について	男性の洋装の基礎知識を理解し、ドレスとの組み合わせ方を習得する また、列席衣裳について理解する				オリジナルプリント	
第5回	5月27日	ウェディングドレスの基礎③・ 確認テスト	これまでの授業内容確認テスト実施 ドレス、パール、パニエの取り扱いやメンテナンスの重要性を理解し、適切な管理方法を説明できる				オリジナルプリント	
第6回	6月3日	フィッティング① 基礎編	ウェディングドレスの着せ方や選び方を学び、ドレス下着の重要性を理解できる				オリジナルプリント	
第7回	6月10日	フィッティング② 基礎編	お客様の体型やサイズに合わせたフィッティング技術を習得する				オリジナルプリント	
第8回	6月17日	フィッティング③ 基礎編	ドレスマネキンの着せ方、タキシードの着せ方を学ぶ（グループワーク）				オリジナルプリント	
第9回	6月24日	スタイリングの実践①	タキシードとドレスの組み合わせを理解し、新郎新婦のスタイリング提案ができる（グループワーク）				オリジナルプリント	
第10回	7月1日	スタイリングの実践②	体型や悩みに応じたフィッティング技術を応用し、補正の基本テクニックを実践できる（グループワーク）				オリジナルプリント	
第11回	7月10日	和装コーディネート①	和装婚礼衣裳の種類と特徴を理解し、基本的なコーディネートの仕方を説明できる				オリジナルプリント	
第12回	7月17日	和装コーディネート② (衣裳店見学)	現場のコスチュームアドバイザーからお話を聞き、和装の試着体験などをさせていただく コスチュームアドバイザーの役割をより理解する（レポート提出）				オリジナルプリント	
第13回	7月22日	スタイリングの実践③	会場や新婦の雰囲気に合わせてスタイリングの工夫ができる ドレスショップでの接客や提案の基本を学び、実際にドレスの着付けができる（グループワーク）				オリジナルプリント	
第14回	9月2日	スタイリングの実践④	ドレスショップでの接客技術を向上させ、顧客の要望に応じた提案ができる（グループワーク）				オリジナルプリント	
第15回	9月9日	前期試験	授業第1回～15回の内容で成績判定試験の実施 前期の学習内容を振り返り、実践的な知識・技術が身につけていることを確認する				オリジナル試験問題	
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹								
①成績判定試験：選択問題12問、記述問題1問（各1～2点）※100点満点を60点満点に換算 ②確認テスト：選択問題4問、記述問題3問（各1～2点）※50点満点を10点満点に換算 ③課題レポート：提出期日未提出の場合は-2点 ④授業態度：授業中の注意（居眠り、忘れ物含む）3回行った場合、-3点 ⑤プレゼンテーション：スタイリン実践での目的を理解出来ている（5点）、グループワークでの役割を果たしている（5点）								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		1位					10	優（A）：89点～80点
③課題レポート				1位			5	良（B）：79点～70点
④授業態度			3位	2位	1位		15	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション			2位	3位		1位	10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	北 昌幸	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	北 昌幸		
					実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kita/		
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度 シラバス

科目名 ¹	ブライダルコスチュームⅡ		学科名 (コース名) ²	ブライダルホテル科			学年	1学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	ABC協会認定ドレススタイリスト検定	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11 ABC協会認定ドレスコーディネーター検定級取得対策を通し、ドレスコーディネーターへ従事する為の基礎知識を教授する。 前期で習得した技術・接客を活かしてお客様のドレス選びに必要な事前準備、ヒアリング内容、小物類の取り扱いなど、より実践的な対応を学び知識を広げる。 当該授業は、現場で実際にお客様へのドレスコーディネート業務に役立つ。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12 当該科目の教育課程における位置づけは、ABC協会認定ドレススタイリスト検定取得を目指すことにより将来卒業後に必要な知識・能力を身につけるための科目として位置付ける。 13 当該科目は欧米のブライダルの基本的な背景・習慣・在り方を習得し、現場で実際にドレスコーディネーターとして活躍できる。						
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。						
教科書名		14 The Business of Wedding Attire & Styling 4. 全米ブライダルコンサルタント協会 日本オフィス（発行者） 15 2024年版に改訂			教材名	15 オリジナルプリント		
設備名・機器名		教材投影用プロジェクター・PC（教員用）			関連サイト	17 全米ブライダルコンサルタント協会 https://abc-japan.org/		
関連前科目		18 ブライダルコスチュームⅠ			関連後科目	19 セレモニープロデュースⅡ　ブライダルプロデュースⅡ		
20. 授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	9月30日	ガイダンス・コスチュームの概要 衣裳店のビジネス市場	ブライダル業界における衣裳のビジネス市場について 衣裳店の役割やトレンドの流れやスタイリストの業務内容について ブライダル衣裳業界の全体像を理解し、衣裳のビジネス構造について説明できる。				The Business of Wedding Attire & Styling	
第2回	10月7日	ドレス構造とデザイン	ボディ、スカート、装飾などの構造要素や、それぞれが与える印象の違いについて ドレスの基本構造と代表的なデザインの特徴を理解し、図や言葉で表現できる。				The Business of Wedding Attire & Styling	
第3回	10月14日	サイズ展開について	採寸の方法や、日本と海外のサイズ表の違いについて サイズ表記の基礎と採寸方法を理解し、適切なサイズ選定ができるようになる。				The Business of Wedding Attire & Styling	
第4回	10月21日	男性の洋装	タキシード、モーニング、フロックコートなど、フォーマルな男性衣裳の種類と特徴について 男性用フォーマル衣裳の種類と特徴を理解し、TP0に応じた提案ができる。				The Business of Wedding Attire & Styling	
第5回	10月28日	和装について	白無垢、色打掛、引き振袖の特徴や、場面ごとの使い分けについて理解を深める 和装の種類と特徴を理解し、挙式や披露宴における適切な和装を提案できる。				The Business of Wedding Attire & Styling	
第6回	11月4日	ドレスのシルエットについて	Aライン、プリンセスライン、マーメイドラインなど、代表的なシルエットとその特徴を整理し、体型に応じた提案方法を考える 代表的なシルエットの違いを理解し、体型に応じたスタイリング提案ができる。				The Business of Wedding Attire & Styling	
第7回	11月11日	検定対策中間テスト	選択式・記述式を組み合わせた問題を通して、理解度を測る 前半の学習内容を定着させ、基礎知識を正確に理解・活用できるかを確認する。				The Business of Wedding Attire & Styling	
第8回	11月18日	ドレスの提案方法について	カウンセリングでのヒアリングの仕方、要望の引き出し方、ドレス選びの決め手となるポイントなど、 実務で求められるスキルを学ぶ 接客の基本とヒアリングの手法を学び、ニーズに合ったドレス提案ができる。				The Business of Wedding Attire & Styling	
第9回	11月25日	論述問題について	ドレススタイリスト検定に向けて、論述問題の対策を実施 問題の出題傾向や評価ポイントを確認したのち、模擬問題に挑戦する ドレススタイリングに関する論述問題に対応できる文章構成力を身につける。				The Business of Wedding Attire & Styling	
第10回	12月2日	ブライダルパーティの衣裳	披露宴・二次会・前撮りなど、シーンごとのスタイリングの考え方や衣裳のマナーについて 披露宴や二次会など場面別の衣裳選定ができ、適切なアドバイスができる。				The Business of Wedding Attire & Styling	
第11回	12月9日	ドレススタイリスト検定対策 選択問題対策	過去問や類似問題を使って演習を行い、間違えやすいポイントや解法のコツを解説する 検定に向けた選択問題形式に慣れ、正答率を高めるためのポイントを理解する。				The Business of Wedding Attire & Styling	
第12回	12月23日	ドレススタイリスト検定対策 記述対策	頻出テーマや評価されやすい構成について学んだ後、実際に模擬記述問題に挑戦する 記述問題への対応力を高め、論理的に表現する力を養うことができる。				The Business of Wedding Attire & Styling	
第13回	1月13日	期末試験実施	授業で学んだ衣裳の知識、提案スキル、業界理解などを問う筆記試験を通して、総合的な理解を確認する 学期の総まとめとして、学んだ内容を総合的に活用して解答できる。				The Business of Wedding Attire & Styling	
第14回	1月20日	期末試験振り返り ドレススタイリスト検定対策	期末試験の結果を振り返り、解説 ドレススタイリスト検定に向けた最終確認を行う 自分の理解度を再確認し、検定試験に向けた最終調整ができる。				The Business of Wedding Attire & Styling	
第15回	1月27日	ドレススタイリスト検定試験実施	ABC協会認定ドレススタイリスト検定の実施 これまでの学びを活かし、知識・表現・提案力を総合的に評価 学習の成果を発揮し、ドレススタイリストとしての基本的な知識と提案力を証明する。				The Business of Wedding Attire & Styling	
21. 成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
①成績判定試験：選択問題12問、記述問題1問（各1～2点）※100点満点を60点満点に換算 ②確認テスト：選択問題4問、記述問題3問（各1～2点）※50点満点を10点満点に換算 ③課題レポート：提出期日未提出の場合は-2点 ④授業態度：授業中の注意（居眠り、忘れ物含む）3回行った場合、-3点 ⑤プレゼンテーション：スタイリング実践での目的を理解出来ている（5点）、グループワークでの役割を果たしている（5点）								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		1位					10	優（A）：89点～80点
③課題レポート				1位			5	良（B）：79点～70点
④授業態度			3位	2位	1位		15	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション			2位	3位		1位	10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

2025年度 シラバス

シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	岡田 彩	
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載	
更新履歴						
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1						
改2						
改3						
改4						
改5						

2025年度 シラバス

科目名 ⁴	ブライダルプロデュースⅠ		学科名 (コース名)	ブライダルホテル科 ⁶			学年	1学年
授業形態 ⁴	演習	学期	後期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	2	時間数 ⁹	60	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 模擬的な式典と披露宴を追加することで、学生は机上の学習だけでは得られない、時間配分、役割ごとの連携、臨機応変な対応といった実践的なスキルを習得できる。さらに、リハーサルと本番を通して、計画と実行のギャップを肌で感じ、より深い学びへと繋げることができる。振り返りの時間を通して、成功点だけでなく、改善点や課題を明確にすることで、今後の学習や実際の現場での活躍に大きく貢献することが期待できる。 12.							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	記入要領:書体B12 UD明朝 Medium、フォントサイズ11級、上揃え・左揃え、一行45W×4行までに収めること。教育課程の到達目標(全科目)に対する、当該科目の位置づけとそれに対する到達基準。できる(わかる/理解する)で表現する。							
受講条件	13. 記入要領:書体B12 UD明朝 Medium、フォントサイズ11級、上揃え・左揃え、一行45W×4行までに収めること。当該科目を受講するにあたり必要な条件…国家資格、国家検定、民間検定、単位取得済科目、知っておかなければならない知識や技術を記述すること。							
教科書名	14. Braidal Coordinator Text Standard ブライダルコーディネーターテキストスタンダード BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 (監修・発行) 2023年11月1日 第4版 16.				教材名 ¹⁵ 17.	オリジナル教材		
設備名・機器名	教材投影用プロジェクター・PC(教員用) 音響・照明(ミキサー) マイク インカム				関連サイト	参考となる引用、関連するページタイトル/URL		
関連前科目 ¹⁸	該当なし				関連後科目 ¹⁹	ブライダルプロデュースⅡ		
授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	10月3日	シラバスの説明、学習計画の作成	学習目標 各自の目標を共有し、チームの方向性を調整 コースの目的・学習目標を理解し、学習計画を立てられる					
第2回	10月3日	ブライダル業界の最新動向を調査・発表	最新情報を収集・分析を行い、プレゼン資料を作成 ブライダル業界の最新動向を把握し、学ぶべきポイントを認識できる					
第3回	10月10日	アクティブラーニングの実践方法を体験	学習手法の選定 各自の学習スタイルを振り返り、最適な手法を議論					
第4回	10月10日	ブライダルプロデュースの基礎を講義	研究テーマの選定 文献や事例を調査し、重要ポイントを抽出					
第5回	10月17日	世界の結婚式について調査・プレゼンテーション	日本(地方)の結婚式を調査するか 資料を収集し、文化背景を比較分					
第6回	10月17日	挙式スタイルの基礎知識	各挙式スタイル(教会式、神前式、人前式、仏前式など)の担当 担当する挙式スタイルの特徴、流れ、歴史、宗教的背景などを調査し、チーム内で共有					
第7回	10月24日	披露宴の流れと構成	披露宴の各プログラム(入場、祝辞、乾杯、食事、余興、退場など)の担当 担当するプログラムの目的、一般的な流れ、注意点、最新の傾向などを調査し、チーム内で共有					
第8回	10月24日	ブライダル関連法規	関連する法律や規制(消費者契約法、著作権法、食品衛生法、JASRAC(一般社団法人日本音楽著作権協会)など)					
第9回	11月7日	顧客心理とコミュニケーション	新郎新婦の心理的ニーズ、効果的コミュニケーション戦略、カウンセリングのポイントなどの担当					
第10回	11月7日	ケーススタディ:多様なニーズへの対応	事前に準備された複数のケーススタディ(異なる価値観、家族構成、予算など)の担当 担当するケーススタディを分析し、チームで解決策やプランニングの方向性を議論し、発表準備を行う					
第11回	11月14日	ウェディングプランの基本コンセプト立案(個人)	個々で検討する結婚式のテーマやターゲット層の共有 基礎知識や市場分析に基づき、自身の興味や強みを活かした結婚式の概念のアイデアを複数考案する					
第12回	11月14日	ウェディングプランのチーム内共有とコンセプト統合	各自が考案したコンセプトを発表し、チームとして実現を目指す主要なコンセプトを一つに絞り込む メンバーのアイデアを注意深く聞き、それぞれの強みや視点を活かせるコンセプトとなるよう議論し、チームの方向性を決定する					
第13回	11月21日	ウェディングプランの詳細要素検討	設定したコンセプトに基づき、具体的なターゲット層(年齢、ライフスタイル、価値観など)、現実的な予算規模、結婚式全体の主要な要素(会場、スタイル、特別な演出など)を決定する 決定したターゲット層のニーズや希望する結婚式のイメージを具体的に調査・分析し、予算					
第14回	11月21日	新郎新婦との打ち合わせロールプレイング	役割分担(新郎役、新婦役、プランナー役など)、打ち合わせのシナリオ 新郎新婦との打ち合わせをシミュレーションし、ニーズを引き出せる新郎新婦との打ち合わせをシミュレーションし、ニーズを引き出せる					
第15回	12月5日	自己点検評価(中間評価)	学習の進捗確認、課題の洗い出し 学んだ内容を一覧化し、達成度を自己評価					
第16回	12月5日	結婚式場の見学準備	見学する結婚式場の選定、各チームが見るべき注目ポイントの設定(例:チャペルの雰囲気、披露宴会場の収容人数とレイアウト、付帯設備 各自で複数の結婚式場の情報を収集し、チーム内で共有・比較検討、見学先の候補を絞り込む					
第17回	12月12日	結婚式場または関連施設の見学	見学時の役割分担(質問担当、記録担当、写真撮影担当など)、追加の質問事項の最終確認					
第18回	12月12日	式場設計の基礎検討	架空の結婚式のコンセプトに基づいた式場のレイアウトの基本的なアイデア出し、装飾の方向性に関するイメージ共有 見学した式場のレイアウトや装飾を参考に、自チームのコンセプトに合うアイデアをスケッチや簡単な図面で表現する					
第19回	12月19日	運営プランの基本的な検討と役割分担	日のゲストの流れ、主要なイベントの時間配分、必要なスタッフの役割分担の基本的な案 基礎知識で学んだ披露宴の流れや、見学で得た情報を基に、具体的なタイムスケジュールと役割分担表の骨子を作成する					
第20回	12月19日	場設計と運営プランのプレゼンテーション準備	プレゼンテーション構成、発表資料作成担当、発表担当 設計図や進行表を清書し、プレゼンテーション資料設計図や進行表を清書し、プレゼンテーション資料を作成する。					
第21回	1月16日	ウェディング企画のテーマ選定と基本的コンセプト策定	どのようなウェディングを企画するか(ターゲット層、コンセプト、独自性など)、企画の実現性についての基本的検討 各チームでアイデアを出し合い、市場のニーズやトレンドを考慮しながら、具体的な企画の方向性を定める					
第22回	1月16日	ウェディング企画の詳細設計(予算とスケジュール)	企画に必要な項目の洗い出しと予算配分、全体のスケジュールと各タスクの期限設定 各項目にかかる費用を調査し、現実的な予算計画を作成する。					
第23回	1月23日	ウェディング企画の詳細設計(リスク管理と実現の検討)	企画実現における潜在的なリスクとその対策、必要な資源(人材、設備など)の検討 過去の事例などを参考にリスクを予測し、対応策を検討する。企画実現に必要なものをリストアップする					

2025年度 シラバス

第24回	1月23日	企画発表の準備とリハーサル	発表の方法（口頭説明、スライド、動画など）、発表資料の最終的な作成、質疑応答の役割分担 企画の魅力を効果的に伝えるプレゼンテーション資料を作成し、チーム内で発表のリハーサルを行い、改善点を見つける	
第25回	1月30日	ウェディング企画の発表と相互フィードバック	フィードバックの分析と改善点の具体化 受けたフィードバックをどのように分析し、企画のどの部分に反映させるか、修正の優先順位をつける	
第26回	1月30日	ウェディング企画の発表と相互フィードバック	修正作業の役割分担、最終的な企画書の形式と提出方法 分析結果に基づき、企画書やプレゼンテーション資料を修正し、最終版を作成する 他のチームからのフィードバックを整理し、自チームの企画の強みと弱みを明確にする。具体的な改善点をリストアップする	
第27回	2月6日	企画の修正と最終化	修正作業の役割分担、最終的な企画書の形式と提出方法 分析結果に基づき、企画書やプレゼンテーション資料を修正し、最終版を作成する	
第28回	2月6日	模擬挙式のリハーサルと実証実験	各自の役割（新郎新婦役、司式者役、介添え役、音楽担当など）、進行、必要な備品、当日の動きとセリフを確認する	
第29回	2月13日	模擬披露宴の本番	各自の役割（新郎新婦役、司会者役、サービススタッフ役、受付役など）、進行、演出、必要な備品、ゲストへの対応を学ぶ	
第30回	2月13日	模擬披露宴の本番	良かった点、改善点、個人の学び、連携の反省点 本番を通して得られた気づきや課題を共有し、今後の学習に活かすための分析を行う、役割ごとの貢献度と課題を明確にする	

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化（正規分布）、「レポート」の評価等は別に定める。								21.
当該科目の到達度を測るための方法、点数、配分、合格基準、等、客観的なデータによる。①筆記試験の場合は、設問数・時間・合格点数を明記すること。②記述式筆記試験の場合は、記述すべきワードの最低要件・回答時間・文字数等と評価点数配分。③実技による判定試験は、判定する項目・点数配分（加点式or減点式）・時間配分なども明記すること。④レポート提出の場合は、別紙「レポート評価の仕方」参照。⑤国家資格・国家検定・民間検定の科目の場合には該当する資格試験の合格基準と試験方法に準ずること。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		2位	2位				15	優（A）：89点～80点
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		15	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者		授業担当教員	國定 章子
					実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/

更新履歴				
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者（確認者）
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.}	^{4.} ブライダルプロデュースⅠ		学科名 ^{4.2.} (コース名)	^{4.5.} ブライダルホテル科 ^{6.}			学年 ^{4.3.}	2学年 ^{4.}
授業形態 ^{4.}	演習	学期	後期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし	
教育課程区分 ^{7.}	必修	単位数 ^{8.}	2	時間数 ^{9.}	60	該当資格名称 ^{10.}	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	^{11.} 模倣的な式典と披露宴を追加することで、学生は机上の学習だけでは得られない、時間配分、役割ごとの連携、臨機応変な対応といった実践的なスキルを習得できる。さらに、リハーサルと本番を通して、計画と実行のギャップを肌で感じ、より深い学びへと繋げることができる。振り返りの時間を通して、成功点だけでなく、改善点や課題を明確にすることで、今後の学習や実際の現場での活躍に大きく貢献することが期待できる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	^{12.} 記入要領:書体BIZ UD明朝 Medium、フォントサイズ11級、上揃え・左揃え、一行45W×4行までに収めること。教育課程の到達目標(全科目)に対する、当該科目の位置づけとそれに対する到達基準。できる(わかる/理解する)で表現する。							
受講条件	^{13.} 記入要領:書体BIZ UD明朝 Medium、フォントサイズ11級、上揃え・左揃え、一行45W×4行までに収めること。当該科目を受講するにあたり必要な条件…国家資格、国家検定、民間検定、単位取得済科目、知っておかなければならない知識や技術を記述すること。							
教科書名	^{14.} Bridal Coordinator Text Standard ブライダルコーディネーターテキストスタンダード ^{16.} BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 (監修・発行) 2023年11月1日 第4版				教材名 ^{15.}	^{17.} オリジナル教材		
設備名・機器名	教材投引用プロジェクター・PC(教員用) 音響・照明(ミキサー) マイク インカム				関連サイト	参考となる引用、関連するページタイトル/URL		
関連前科目	^{18.} 該当なし				関連後科目 ^{19.}	ブライダルプロデュースⅡ		
^{20.} 授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上単位、実習・演習: 30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	10月3日	シラバスの説明、学習計画の作成	学習目標 各自の目標を共有し、チームの方向性を調整 コースの目的・学習目標を理解し、学習計画を立てられる					
第2回	10月3日	ブライダル業界の最新動向を調査・発表	最新情報を収集・分析を行い、プレゼン資料を作成 ブライダル業界の最新動向を把握し、学ぶべきポイントを認識できる					
第3回	10月10日	アクティブラーニングの実践方法を体験	学習手法の選定 各自の学習スタイルを振り返り、最適な手法を議論					
第4回	10月10日	ブライダルプロデュースの基礎を講義	研究テーマの選定 文献や事例を調査し、重要ポイントを抽出					
第5回	10月17日	世界の結婚式について調査・プレゼン	日本(地方)の結婚式を調査するか 資料を収集し、文化背景を比較分					
第6回	10月17日	挙式スタイルの基礎知識	各挙式スタイル(教会式、神前式、人前式、仏前式など)の担当 担当する挙式スタイルの特徴、流れ、歴史、宗教的背景などを調査し、チーム内で共有					
第7回	10月24日	披露宴の流れと構成	披露宴の各プログラム(入場、祝辞、乾杯、食事、余興、退場など)の担当 担当するプログラムの目的、一般的な流れ、注意点、最新の傾向などを調査し、チーム内で共有					
第8回	10月24日	ブライダル関連法規	関連する法律や規制(消費者契約法、著作権法、食品衛生法、JASRAC(一般社団法人日本音楽著作権協会)など)					
第9回	11月7日	顧客心理とコミュニケーション	新郎新婦の心理的ニーズ、効果的コミュニケーション戦略、カウンセリングのポイントなどの担当					
第10回	11月7日	ケーススタディ:多様なニーズへの対応	事前に準備された複数のケーススタディ(異なる価値観、家族構成、予算など)の担当 担当するケーススタディを分析し、チームで解決策やプランニングの方向性を議論し、発表準備を行う					
第11回	11月14日	ウェディングプランの基本コンセプト	個々で検討する結婚式のテーマやターゲット層の共有 基礎知識や市場分析に基づき、自身の興味や強みを活かした結婚式の概念のアイデアを複数考案する					
第12回	11月14日	ウェディングプランのチーム内共有と	各自が考案したコンセプトを発表し、チームとして実現を目指す主要なコンセプトを一つに絞り込む メンバーのアイデアを注意深く聞き、それぞれの強みや視点を活かせるコンセプトとなるよう					
第13回	11月21日	ウェディングプランの詳細要素検討	設定したコンセプトに基づき、具体的なターゲット層(年齢、ライフスタイル、価値観など)、現実的な予算規模、結婚式全体の主要な要素(会場、スタイル、特別な演出など)を決定する 決定したターゲット層のニーズや希望する結婚式のイメージを具体的に調査・分析し、予算					
第14回	11月21日	新郎新婦との打ち合わせロールプレイ	役割分担(新郎役、新婦役、プランナー役など)、打ち合わせのシナリオ 新郎新婦との打ち合わせをシミュレーションし、ニーズを引き出せる新郎新婦との打ち合わせをシミュレーションし、ニーズを引き出せる					
第15回	12月5日	自己点検評価(中間評価)	学習の進捗確認、課題の洗い出し 学んだ内容を一覧化し、達成度を自己評価					
第16回	12月5日	結婚式場の見学準備	見学する結婚式場の選定、各チームが見るべき注目ポイントの設定(例:チャペルの雰囲気、披露宴会場の収容人数とレイアウト、付帯設備 各自で複数の結婚式場の情報を収集し、チーム内で共有・比較検討、見学先の候補を絞り込					
第17回	12月12日	結婚式場または関連施設の見学	見学時の役割分担(質問担当、記録担当、写真撮影担当など)、追加の質問事項の最終確認				21.	
第18回	12月12日	式場設計の基礎検討	架空の結婚式のコンセプトに基づいた式場のレイアウトの基本的なアイデア出し、装飾の方向性に関するイメージ共有 見学した式場のレイアウトや装飾を参考に、自チームのコンセプトに合うアイデアをスケッ					
第19回	12月19日	運営プランの基本的な検討と役割分担	日のゲストの流れ、主要なイベントの時間配分、必要なスタッフの役割分担の基本的な案 基礎知識で学んだ披露宴の流れや、見学で得た情報を基に、具体的なタイムスケジュールと役割分担表の骨子を作成する					
第20回	12月19日	場設計と運営プランのプレゼンテーション	プレゼンテーション構成、発表資料作成担当、発表担当 設計図や進行表を清書し、プレゼンテーション資料設計図や進行表を清書し、プレゼンテーション資料を作成する。					
第21回	1月16日	ウェディング企画のテーマ選定と基本	どのようなウェディングを企画するか(ターゲット層、コンセプト、独自性など)、企画の実現性についての基本的検討 過去の事例などを参考にリスクを予測し、対応策を検討する。企画実現に必要なものをリス					
第22回	1月16日	ウェディング企画の詳細設計(予算と	企画に必要な項目の洗い出しと予算配分、全体のスケジュールと各タスクの期限設定 各項目にかかる費用を調査し、現実的な予算計画を作成する。					
第23回	1月23日	ウェディング企画の詳細設計(リスク	企画実現における潜在的なリスクとその対策、必要な資源(人材、設備など)の検討 過去の事例などを参考にリスクを予測し、対応策を検討する。企画実現に必要なものをリス					
第24回	1月23日	企画発表の準備とリハーサル	発表の方法(口頭説明、スライド、動画など)、発表資料の最終的な作成、質疑応答の役割分担 企画の魅力を効果的に伝えるプレゼンテーション資料を作成し、チーム内で発表のリハーサ					
第25回	1月30日	ウェディング企画の発表と相互フィードバック	フィードバックの分析と改善点の具体化 受けたフィードバックをどのように分析し、企画のどの部分に反映させるか、修正の優先順					
第26回	1月30日	ウェディング企画の発表と相互フィードバック	修正作業の役割分担、最終的な企画書の形式と提出方法 分析結果に基づき、企画書やプレゼンテーション資料を修正し、最終版を作成する 他のチームからのフィードバックを整理し、自チームの企画の強みと弱みを明確にする。具					
第27回	2月6日	企画の修正と最終化	修正作業の役割分担、最終的な企画書の形式と提出方法 分析結果に基づき、企画書やプレゼンテーション資料を修正し、最終版を作成する					
第28回	2月6日	模擬挙式のリハーサルと実証実験	各自の役割(新郎新婦役、司式者役、介添え役、音楽担当など)、進行、必要な備品、当日の動きとセリフを確認する					

2025年度 シラバス

第29回	2月13日	模擬披露宴の本番	各自の役割（新郎新婦役、司会者役、サービススタッフ役、受付役など）、進行、演出、必要な備品、ゲストへの対応を学ぶ				
第30回	2月13日	模擬披露宴の本番	良かった点、改善点、個人の学び、連携の反省点 本番を通して得られた気づきや課題を共有し、今後の学習に活かすための分析を行う、役割ごとの貢献度と課題を明確にする				

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

21.

当該科目の到達度を測るための方法、点数、配分、合格基準、等、客観的なデータによる。①筆記試験の場合は、設問数・時間・合格点数を明記すること。②記述式筆記試験の場合は、記述すべきワードの最低要件・回答時間・文字数等と評価点数配分。③実技による判定試験は、判定する項目・点数配分(加減点式or減点式)・時間配分なども明記すること。④レポート提出の場合は、別紙「レポート評価の仕方」参照。⑤国家資格・国家検定・民間検定の科目の場合には該当する資格試験の合格基準と試験方法に準ずること。

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点	
②確認テスト	2位	2位				15	優（A）：89点～80点	
③課題レポート						なし	良（B）：79点～70点	
④授業態度			2位	1位		15	可（D）：69点～60点	
⑤作品						なし	不可（E）:59点以下	
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	シラバス作成者	国定 章子	シラバス承認者		授業担当教員	国定 章子
					実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/

更新履歴

シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.1.}	セレモニープロデュースⅠ ^{4.2.}		学科名 ^{4.2.} (コース名)	ブライダルホテル科 ^{4.5.} ^{6.}			学年 ^{4.3.}	学年 ^{4.4.}
授業形態 ^{4.}	実習	学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし	
教育課程区分 ^{7.}	必修	単位数 ^{8.}	2	時間数 ^{9.}	60	該当資格名称 ^{10.}	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11. 模擬挙式を施行し、ブライダル科2年生・先生方をお客様とし実施する。模擬挙式の企画・立案・施行の全てを学生達で行い、ブライダルに関わるスタッフのそれぞれの役割や、チームワークを学ぶ。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12. 模擬挙式の企画・立案・施行の全てを学生達で行い、ブライダルに関わるスタッフのそれぞれの役割や、チームワークを学ぶ。						
受講条件		13. YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。						
教科書名		14. Braidal Coordinator Text Standard ブライダルコーディネーターテキストスタンダード BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 (監修・発行) 2023年11月1日 第4版 ^{16.}			教材名 ^{15.}	オリジナル教材 ^{17.}		
設備名・機器名		教材投影用プロジェクター・PC (教員用) 音響・照明 (ミキサー) マイク インカム			関連サイト	参考となる引用、関連するページタイトル/URL		
関連前科目		18. 該当なし			関連後科目 ^{19.}	ブライダルプロデュースⅠ		
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ^{20.}								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回	4月18日	オリエンテーション		授業の概要、模擬挙式までのスケジュールを説明、挙式について授業の概要と模擬挙式の全体スケジュールを理解し、自身の学びの方向性を明確にできる				
第2回	4月18日	テーマ確定		テーマウエディングについて 挙式のテーマを決める テーマウエディングの意義を理解し、挙式のテーマを企画・決定できる。				
第3回	4月25日	プランニングの発表		役割の決定・進行詳細決定 模擬挙式に必要な役割と進行の全体像を把握し、自分の役割を理解できる。				
第4回	4月25日	模擬挙式進行の決定 役割決定		役割の決定・進行詳細決定 招待状について 役割分担をもとに進行案を具体化し、招待状準備の基本を理解できる。			Braidal Coordinator Text Standard	
第5回	5月9日	模擬挙式準備①		役割分担を行い、各自スケジュールを組み立てる、準備 自身の役割に基づいて作業スケジュールを作成し、準備の計画を立てられる。				
第6回	5月9日	模擬挙式準備②		各役割ごとの準備や練習を行う 各役割に必要な準備物や動きを理解し、練習に取り組むことができる。				
第7回	5月16日	模擬挙式準備③		各役割ごとの準備や練習を行う 他の役割と連携しながら、模擬挙式に向けた練習を重ねられる。				
第8回	5月16日	模擬挙式準備④		各役割ごとの準備や練習を行う 実際の動きを想定したりリハーサルの練習を進められる。				
第9回	5月23日	模擬挙式準備⑤		各役割ごとの準備や練習を行う 招待状発送				
第10回	5月23日	模擬挙式準備⑥		各役割ごとの準備や練習を行う 役割に応じたパフォーマンス力やチーム力を高めることができる。				
第11回	5月30日	模擬挙式準備⑦		各役割ごとの準備や練習を行う 自身の課題を把握し、改善に向けた具体的行動を起こせる。				
第12回	5月30日	模擬挙式準備⑧		各役割ごとの準備や練習を行う 本番に向けた最終的な準備・仕上げができる状態になっている。				
第13回	6月6日	音響・照明について①		【照明】オリエンテーション、照明概要 (スタジオ)、取り扱い (チャペル) 照明機材の基本とチャペルでの使用方法を理解できる。				
第14回	6月6日	音響・照明について②		【音響】オリエンテーション、講義兼取り扱い実習 (チャペル・スタジオ) 音響の基本構造と実際の操作方法について理解できる。				
第15回	6月13日	音響・照明について③		【音響】取り扱い実習 (披露宴会場) 実際の会場で音響機材の操作ができるようになる。				
第16回	6月13日	音響・照明について④		【音響】取り扱い実習 (チャペル) チャペルにおける音響の取り扱いができるようになる。				
第17回	6月20日	演出・アイテム準備①		ミーティング 模擬挙式で使用するアイテム・演出について企画・検討できる。			21.	
第18回	6月20日	演出・アイテム準備②		備品、アイテム 最終確認 使用するアイテムの最終確認ができ、準備完了の状態に上げることができる。				
第19回	6月27日	音響・照明について⑦		【照明】オリエンテーション、照明概要 (スタジオ)、取り扱い (チャペル) スタジオやチャペルでの照明操作を実践できる。				
第20回	6月27日	音響・照明について⑧		【音響】取り扱い実習 (チャペル) 音響操作を実践的に使いこなすことができる。				
第21回	7月4日	音響・照明について⑨		【照明】オリエンテーション、照明概要 (スタジオ)、取り扱い (チャペル) チャペル照明の流れや動作確認をスムーズに行える。				
第22回	7月4日	音響・照明について⑩		【音響】取り扱い実習 (チャペル) 音響のタイミング調整と操作をリハーサル形式で行える。				
第23回	7月11日	音響・照明について⑪		美術仕込み・セッティング 仕込み・オペレート練習				
第24回	7月11日	模擬挙式リハーサル②		美術仕込み・セッティング きっかけ・シーン確認				
第25回	7月17日	模擬挙式リハーサル①		本番想定のリハーサルを行う 本番と同じ流れでリハーサルを通し、自信をもって動ける状態に上げる。				
第26回	7月17日	模擬挙式リハーサル②		本番想定のリハーサルを行う チームでの最終確認を行い、当日の動きを最適化できる。				
第27回	7月18日	模擬挙式本番		本番同様 全てを通して行う 本番同様の模擬挙式を通して、各自の役割を責任をもって果たすことができる。				
第28回	7月18日	模擬挙式本番		本番同様 リハーサル 本番直前のリハーサルを的確に行い、全体の精度を高める。				
第29回	7月18日	模擬挙式本番		準備・仕度 挙式に向けた準備・身だしなみ・立ち居振る舞いを整えることができる。				
第30回	7月18日	模擬挙式本番		片付け 振り返り 模擬挙式を振り返り、自身の学びと課題を明確に言語化できる。				
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}								
成績判定に関して ①自己評価 評価シートに基いて自己評価を行う 【配分20%】 ②課題レポート 【配分30%】 期日までに提出なし 評価なし ③授業態度 【配分50%】 欠席-3点 遅刻-1点 積極性なし-3点 協調性なし-3点								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験								秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト								優 (A) : 89点~80点
③課題レポート			1位				30	良 (B) : 79点~70点

2025年度 シラバス

④授業態度			2位	1位		50	可（D）： 69点～60点 不可（E）:59点以下	
⑤作品						なし		
⑥自己評価		2位	1位			20		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者		授業担当教員	國定 章子
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/

更新履歴

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.}	4.セレモニープロデュースⅠ		学科名 ^{4.2.} (コース名)	4.5.ブライダルホテル科 ^{6.}			学年 ^{4.}	3.学年 ^{4.}
授業形態 ^{4.}	実習	学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし	
教育課程区分 ^{7.}	必修	単位数 ^{8.}	2	時間数 ^{9.}	60	該当資格名称 ^{10.}	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11.高校生対象のオープンキャンパスでの模擬披露宴の実施						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12.模擬披露宴の企画・立案・施行の全てを学生達で行い、ブライダルに関わるスタッフのそれぞれの役割や、チームワークを学ぶ。 目的を設定し、						
受講条件		13.YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。						
教科書名		14.Braidal Coordinator Text Standard ブライダルコーディネーターテキストスタンダード BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 (監修・発行) 2023年11月1日 第4版			教材名 ^{15.}	17.オリジナル教材		
設備名・機器名		教材投影用プロジェクター・PC (教員用) 音響・照明 (ミキサー) マイク インカム			関連サイト	参考となる引用、関連するページタイトル/URL		
関連前科目		18.該当なし			関連後科目 ^{19.}	ブライダルプロデュースⅠ		
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上単位、実習・演習: 30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月18日	オリエンテーション		模擬披露宴1回目振り返り イベントについて 模擬挙式に向けた全体の流れを理解し、活動の目的と意義を把握する				Braidal Coordinator Text Standard ブライダルコーディネーターテ
第2回	4月18日	オリエンテーション		テーマウエディングについて 挙式のテーマを決める テーマウエディングの基本概念を理解する				
第3回	4月25日	テーマ プランニングの発表		テーマウエディングについて オープンキャンパス高校生向け 目的を理解し、高校生にウエディングの良さを伝えることができるプランニングを考				
第4回	4月25日	模擬披露宴進行の決定 役割決定		役割の決定・進行詳細決定 プランナー、キャプテン、司会 (プランニングチーム) 衣裳、ヘアメイク、会場演出、音響・照明 (演出チーム)				
第5回	5月9日	模擬披露宴準備①		役割分担を行い、各自スケジュールを組み立てる、準備 挙式テーマを明確にし、プレゼンテーションを通じてコンセプトの共有を行う				
第6回	5月9日	模擬披露宴準備①		各役割ごとの準備や練習を行う 自分の役割に必要な準備内容を把握し、スケジュールを立案する。				
第7回	5月16日	模擬披露宴準備①		各役割ごとの準備や練習を行う				
第8回	5月16日	模擬挙式準備④		各役割ごとの準備や練習を行う				
第9回	5月23日	模擬挙式準備⑤		各役割ごとの準備や練習を行う				
第10回	5月23日	模擬挙式準備⑥		各役割ごとの準備や練習を行う				
第11回	5月30日	模擬挙式準備⑦		各役割ごとの準備や練習を行う				
第12回	5月30日	模擬挙式準備⑧		各役割ごとの準備や練習を行う				
第13回	6月6日	会場演出		各役割ごとの準備や練習を行う 会場演出に関する知識・技術を活用し、具体的な演出準備を行う				
第14回	6月6日	会場演出		各役割ごとの準備や練習を行う 会場演出に関する知識・技術を活用し、具体的な演出準備を行う				
第15回	6月13日	音響・照明について③		各役割ごとの準備や練習を行う 演出・音響・照明の最終チェックを行い、実践の精度を高める				
第16回	6月13日	音響・照明について④		各役割ごとの準備や練習を行う 演出・音響・照明の最終チェックを行い、実践の精度を高める				
第17回	6月20日	演出・アイテム準備①		ミーティング				
第18回	6月20日	演出・アイテム準備②		ミーティング				
第19回	6月27日	準備最終確認①		備品、アイテム 最終確認 使用アイテムの確認・準備を通して、本番に向けた最終調整を行う				
第20回	6月27日	準備最終確認②		備品、アイテム 最終確認 使用アイテムの確認・準備を通して、本番に向けた最終調整を行う				
第21回	7月4日	模擬挙式リハーサル①		リハーサル リハーサルを通して実施の流れを確認し、各自の役割の精度を向上させる。				
第22回	7月4日	模擬挙式リハーサル②		リハーサル リハーサルを通して実施の流れを確認し、各自の役割の精度を向上させる。				
第23回	7月11日	模擬挙式リハーサル③		美術仕込み・セッティング 仕込み・オペレート練習				
第24回	7月11日	模擬挙式リハーサル④		美術仕込み・セッティング きっかけ・シーン確認 演出・音響・照明の最終チェックを行い、実践の精度を高める				
第25回	7月18日	1年生模擬挙式		列席 模擬挙式を見学し、良い点や改善点を学ぶ。 先輩として気づきを得てアドバイスができる。				
第26回	7月18日	1年生模擬挙式		列席 先輩として気づきを得てアドバイスができる。				
第27回	7月26日	模擬披露宴リハーサル		本番同様 全てを通して行う 本番形式のリハーサルを通して、自信を持って本番に臨む準備を整える。				
第28回	7月26日	模擬披露宴リハーサル		本番同様 リハーサル 本番形式のリハーサルを通して、自信を持って本番に臨む準備を整える。				
第29回	7月26日	模擬挙披露宴本番		オープンキャンパスで実施 模擬披露宴本番を実施し、準備した内容を実践に移すことで、プロデュース力を総合的に評価する				
第30回	7月26日	模擬挙披露宴本番		オープンキャンパスで実施 模擬披露宴本番を実施し、準備した内容を実践に移すことで、プロデュース力を総合的に評価する				
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								

成績判定に関して

①自己評価 評価シートに基いて自己評価を行う【配分20%】

②課題レポート【配分30%】

期日までに提出なし 評価なし

③授業態度【配分50%】

欠席－3点 遅刻－1点 積極性なし－3点 協調性なし－3点

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験							秀（S）：100点～90点 優（A）： 89点～80点 良（B）： 79点～70点 可（D）： 69点～60点 不可（E）:59点以下	
②確認テスト								
③課題レポート		1位				30		
④授業態度			2位	1位		50		
⑤作品						なし		
⑥自己評価		2位	1位			20		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者	山根 大助	授業担当教員	國定 章子
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/

更新履歴

シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者（確認者）
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度 シラバス

科目名 ¹	ブライダル企画運営		学科名 ² (コース名)	ブライダルホテル科			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	結婚式の商品を企画し、販売までの流れを学ぶ。商品造成のノウハウや販売・接客ツールの制作を実施。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	マーケティング戦略を理解し、市場とお客様ニーズに合わせた商品を企画し、お客様にマッチした刺さる商品を作成する。 また、販売ツールの作成から接客トーク迄、戦略方法を学び売上へつなげる仕組み同時に学ぶ。							
受講条件	YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。							
教科書名 ¹¹	該当なし			教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint オリジナルプリント			
設備名・機器名 ¹⁶	教材投影用プロジェクター・PC (教員用)				関連サイト ¹⁷			
関連前科目 ¹⁸	該当なし			関連後科目 ¹⁹	該当なし			
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	9月30日	オリエンテーション	シラバス説明・授業の概要説明・マーケティングの観点を学びトレンドのブライダル商品を学ぶ 授業の概要を理解し、ブライダルイベント企画の目的と基本的な流れを説明できる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第2回	10月7日	商品リサーチ	マーケティング思考を振り返り、商品リサーチを行いニーズを知る。(他施設商品のリサーチ) ターゲット層を想定し、他のブライダル事例やトレンドをリサーチ・分析できる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第3回	10月14日	商品内容の基礎／内容	どのような内容の商品を企画するのか、コンセプト・ストーリーをふまえてアイデア出しをグループディスカッションにて意見交換を行う 企画の方向性を定め、テーマ・コンセプトを明確に言語化できる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第4回	10月21日	商品内容の基礎／売上目線	内容に応じた、営業目線である売上・利益のしくみを学ぶ イベントに必要な要素(場所・演出・衣装など)を洗い出し、役割分担を決定できる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第5回	10月28日	商品企画確定	営業計画書にまとめ内容を決定する スケジュール・予算・必要物品リストなど、運営計画を具体的に立てることができる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第6回	11月4日	商品造成・フライヤー考案①	フライヤーデザイン考案(どのようなチラシにしたいのか)・撮影シーン選定 イベントの企画書を完成させ、プレゼンテーションで企画内容を的確に伝えられる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第7回	11月11日	商品造成・フライヤー考案②	撮影シーンを決める。(場所・カット数・アングルなど) ゲスト満足度を意識した演出・進行内容を考案できる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第8回	11月18日	販売ツール用撮影／事前準備①	各担当割り振り、役割内容を決準備リストを作成する 新婦(モデル1名)/ヘアメイク/ドレスフィッティング/アテンド/カメラマンアテンド ブライダル演出の1ハーサル計画を立て、当日に向けた準備を整えられる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第9回	11月25日	販売ツール用撮影／事前準備②	撮影当日のタイムスケジュール作成・関係者全員に共有し、最終確認を行う チームでの協力を通じて、企画の調整やトラブルへの備えを共有できる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第10回	12月2日	販売ツール用撮影／当日準備	プロカメラマンとツール撮影、各担当としての役割を担う。 新婦(モデル1名)/ヘアメイク/ドレスフィッティング/アテンド/カメラマンアテンド 実施前最終確認として、各役割の最終点検と問題点の洗い出しができる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第11回	12月9日	販売ツール用撮影／実施	プロカメラマンとツール撮影 ※撮影所要時間約40時間 ブライダルイベントを模擬的に運営し、チームでの実行力と対応力を発揮できる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第12回	12月23日	販売ツール作成①	事前に準備をしていたフライヤーに画像をはめ込みイメージを確定させる 実施後の振り返りを行い、成功点・課題点を整理して発表できる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第13回	1月13日	販売ツール作成②/接客シナリオ作成	フライヤー完成・販売用商品シナリオ作成(全員共通の案内を目標とする) フィードバックを受けて改善案を考え、再提案のシミュレーションができる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第14回	1月20日	商品販売演習	PHOTOプラン接客ロールプレイング チームの成果を一つの報告資料にまとめ、プレゼン用に整理・準備できる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第15回	1月27日	商品フライヤー仕上げ・まとめ	フライヤー仕上げ・授業振り返りとまとめ 授業全体を通しての成長を振り返り、ブライダル企画運営に必要な資質を自覚できる				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
①課題レポート 提出期日までに未提出につき－10点			【配分：10%】					
②授業態度 1コマ欠席につき－3点、授業中に2回注意を受けた場合－2点			【配分：10%】					
③プレゼンテーション 未実施－10点			【配分：50%】					
上記の総合得点で60点以上を合格とする。 上記評価項目の各点数を下表の評価配分%にて按分し、総合点60点以上を合格とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							なし	秀(S)：100点～90点
②確認テスト							なし	優(A)：89点～80点
③課題レポート		2位	1位				10	良(B)：79点～70点
④授業態度				2位	1位		40	可(D)：69点～60点
⑤作品							なし	不可(E)：59点以下
⑥プレゼンテーション		1位	2位				50	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	国定 章子	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	楠本 五月子		
					実務経験紹介			
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								

2025年度 シラバス

科目名 ¹	ホテルマーケティング		学科名 ² (コース名)	ブライダルホテル科			学年	2学年
授業形態 ⁴	演習	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	¹¹ テーマをもとに現在の環境・業界・ホテル等の課題を取り上げ、新規ホテルとそのホテルで販売する商品を提案し、発表する機会を設け、学んだことを表現・実践する考え方を学ぶ							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	¹² 実現可能な業界提案を行う事で、発想力・想像力・対応力を磨き将来への自信とする また、学生のアイディアを実際のホテルの商品化へ(産学連携)							
受講条件	¹³ YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること							
教科書名	¹⁴ YIC京都オリジナル教材				教材名 ^{14.15}	¹⁰ 該当なし		
設備名・機器名	¹⁶ 教材投影用プロジェクター・PC(教員用)、什器備品				関連サイト ^{16.17}	¹⁰ https://www.jec-jp.org/hken/about/hken.php ¹⁹ 一般財団法人日本ホテル教育センター		
関連前科目	¹⁸ 現代ホテル理論Ⅰ、現代ホテル理論Ⅱ、ホテルビジネス基礎Ⅰ				関連後科目 ¹⁹	¹⁰ 該当なし		
²⁰ 授業計画(授業コマ単位) 学科:15コマ以上目単位、実習・演習:30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	9月30日	オリエンテーション	授業の必要性・概要・目的・目標について説明、商品プランについての説明 商品プランについての説明ができるようになる				YIC京都オリジナル教材	
第2回	10月7日	マーケティング部門	マーケティングとは、宿泊プランとは、グループを決める 宿泊プランについて理解することができる				YIC京都オリジナル教材	
第3回	10月14日	ホテル様の現状調査	ホテル様の現状調査 顧客層・販売促進につながるヒントを探ることができるようになる				YIC京都オリジナル教材	
第4回	10月21日	ヒヤリング内容を検討	ホテル様のヒヤリング内容をグループで検討する ホテル企業の現状分析ができるようになる				YIC京都オリジナル教材	
第5回	10月28日						YIC京都オリジナル教材	
第6回	11月4日	ホテルへのヒヤリング	ホテル企業(神戸ペインセリトン ホテル&タワーズ)へ出向いてヒヤリング ヒヤリングを行うことで、課題について知ることができる				YIC京都オリジナル教材	
第7回	11月4日						YIC京都オリジナル教材	
第8回	11月18日	SWOT分析	SWOT分析 解説、グループワーク SWOT分析を使い、精度の高い分析ができるようになる				YIC京都オリジナル教材	
第9回	11月25日	ペルソナの設定	SWOT分析、ペルソナの発表、質疑応答 ペルソナを設定することでより鮮明にターゲットがわかるようになる				YIC京都オリジナル教材	
第10回	12月2日	4P分析、アイディアマッピング	4P分析(競合分析、自社分析) 解説、グループワーク アイディアマッピング(マインドマップ)が理解することができる				YIC京都オリジナル教材	
第11回	12月9日	AIDMAの設定	アイディアマッピングの発表、質疑応答、AIDMA 解説 AIDMAについて理解することができる				YIC京都オリジナル教材	
第12回	12月23日	これまでの分析&調査の確認	これまでの分析&調査と提案商品との整合性の確認 商品の提案とAIDMA発表、質疑応答 キャッチコピー作成、プレゼン資料作成することができる				YIC京都オリジナル教材	
第13回	1月13日	キャッチコピー、プレゼン内容の発表	キャッチコピー、プレゼン内容の発表&修正 キャッチコピーを作成することができる				YIC京都オリジナル教材	
第14回	1月20日	提案会	ホテル企業へ出向いて提案会 実現可能な業界提案を行う事で、発想力・想像力・対応力を磨くことができる				YIC京都オリジナル教材	
第15回							YIC京都オリジナル教材	
²¹ 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S):100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優(A):89点~80点
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可(D):69点~60点
⑤作品							なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	村瀬 孝	シラバス承認者	フルネームを記載			授業担当教員	村瀬 孝	
						実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載	
更新履歴								
シラバス更新履歴	更新理由		更新箇所			作成者	Check者(確認者)	
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度 シラバス

科目名 ¹	料飲実務Ⅱ		学科名 ² (コース名)	ブライダルホテル科			学年	1学年
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 料飲（レストラン・宴会）などの関連知識といったホテル業務に必要な実務知識を習得しホテルで働く上で必要な知識を中心に授業を行う10.							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 日常生活の中でサービス、ホスピタリティについて主体的に考えることができ授業で学んだ知識を、模擬披露宴等の実習で活かすことができる							
受講条件	13. YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること							
教科書名	14. 14. レストランサービス・スタンダードマニュアル/一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会/一般財団法人職業訓練教材研究会/平成27年2月1日/令和2年2月10日				教材名 ¹⁵	15. レストランサービス技能検定3級実技試験問題の資料		
設備名・機器名	16. 教材投影用プロジェクター・PC（教員用）、什器備品				関連サイト ¹⁷	17. 日本ホテル・レストランサービス技能協会 https://hrs.or.jp/		
関連前科目	18. 該当なし				関連後科目 ¹⁹	19. 料飲実務Ⅱ		
20. 授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回	9月30日	オリエンテーション		授業概要の説明			基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル	
第2回	10月7日	サービスマンとしての資質		料飲サービススタッフの立ち居振る舞い、姿勢、歩き方基本動作（挨拶、お辞儀、歩き方など）の確認をすることができる			基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル	
第3回	10月14日	基本のサービス		実習 トレーの持ち方、プレートの持ち方、サービスの基本を学ぶサービストレイヤーやサーバーの扱い方やプレートの持ち方、下げ方ができるようになる			基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル	
第4回	10月21日	レストラン部門の組織		レストラン部門の組織と役割 レストラン部門の組織形態とそれぞれの役割がわかるようになる			基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル	
第5回	10月28日	日本料理の食卓作法（課外実習）		レストランサービスの基本を現場のサービスマンから実際に指導を受ける和食マナーの基礎を学ぶことができ、社会人になってから自然とマナーを守れるようになる			基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル	
第6回							基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル	
第7回	11月11日	課外実習振り返り（レポート提出）		現場で学んだことを自分の知識としてまとめる「周りの人に気を配り、思いやりを大切にすること」を理解できるようになる			基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル	
第8回	11月18日	什器備品の知識		什器備品の名称と用途 レストランで使用するナイフ・フォークなどの食事用器具や銀盆などが理解することができる			基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル	
第9回	11月25日	食器の取扱いと管理		食器の取扱いと管理 シルバー、プレート、グラスの拭き方がわかるようになる			基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル	
第10回	12月2日	笑顔から始まる接客の基本		身嗜み、態度・動作と接客用語 接客の基本である①身だしなみ②態度・動作③言葉遣いを			基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル	
第11回	12月9日	テーブルクロスとテーブルセッティング		テーブルクロスとテーブルセッティング テーブルクロスのセッティングとテーブルセッティング（朝食、昼食、夕食）ができるようになる			基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル	
第12回	12月23日	テーブルマナーの知識		テーブルマナーの実践 ナイフ・フォークの扱い方を学ぶことができ、美しい食事の召し上がり方ができるようになる			基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル	
第13回	1月13日	食前酒		カクテルの知識 カクテルの種類や作り方がわかるようになる			基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル	
第14回	1月20日	前期の振り返り		前期の復習と定期試験対策 学習内容を整理し、成績判定試験に向けた理解を深める。			基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル	
第15回	1月27日	期末テスト		成績判定試験の実施 これまでの授業内容を振り返り、学習成果を試験形式で評価する			基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル	
21. 成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験（出題）の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
出席率80%以上及び ①成績判定試験（実技試験） 判定する項目：ランチタイムサービスの一連の流れ、点数配分：減点式で100点法、60点以上で合格とする、時間配分：1人9分 ②確認テスト 第3回から9回までの授業内容の確認テストを実施し、100点法で行い、理解度を測ります（点数配分は減点式、時間は1人2分～5分） ③授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する (提出物:事前の連絡や正当な理由がなく提出期限を過ぎて提出された場合は2点減点 提出されなかった場合、あるいは提出期限を5日間過ぎて提出された場合は3点減点) 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする								
↓判定方法へ該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験			2位			1位	60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト			2位			1位	30	優（A）： 89点～80点
③授業態度				2位	1位		10	良（B）： 79点～70点
④課題レポート							なし	可（D）： 69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）:59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	村瀬 孝	シラバス承認者	山根 大助	授業担当教員	村瀬 孝			
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載			
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.1.}		4 料飲実務Ⅱ		学科名 ^{4.2.} (コース名)		4.5. プライダルホテル科 6.		学年 4.3. 2学年 4.							
授業形態 ^{4.}		実習	学期	前期	開講年月 ^{5.}	2025年4月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし							
教育課程区分 ^{7.}		必修	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	該当なし							
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11. 国家検定レストランサービス技能検定3級の実技試験の内容を通して、レストランにおけるランチタイムサービスの一連の流れ(スタンダードマニュアル)を教授する。 当該授業を履修することで、就職後の円滑な接客サービスに役立つ。													
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12. 国家検定レストランサービス技能検定3級実技試験に準拠したスタンダードマニュアルを身につけ、 お客様の迎えからお見送りまでのランチタイムサービスの一連の流れを9分間でできるようになる。													
受講条件		13. 料飲実務Ⅰ 履修済													
教科書名		14. レストランサービス スタンダードマニュアル/一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会/一般財団法人職業訓練教材研究会/平成27年2月1日/令和2年2月10日				教材名 ^{15.}	レストランサービス技能検定3級実技試験問題の資料								
設備名・機器名		16. 教材投影用プロジェクター・PC(教員用)、什器備品				関連サイト ^{17.}	日本ホテル・レストランサービス技能協会 https://hrs.or.jp/								
関連前科目		18. 料飲実務Ⅰ				関連後科目 ^{19.}	プライダルプロデュースⅡ								
授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.															
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材							
第1回	4月14日	オリエンテーション ランチサービスの一連の流れ 基本動作(挨拶、お辞儀)		授業に関する詳細説明、1年後期に学んだ料飲実務Ⅰの内容復習(挨拶、お辞儀など) 料飲実務Ⅱの学習範囲に備える。 ランチサービスの一連の流れについて理解できるようになる				基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル レストランサービス技能検定実技試験の資料							
第2回	4月21日	サービスの重点ポイントとレストラン部門の組織		サービスの重点ポイント、レストラン部門の組織について学ぶ お客様に信頼や安心感を与えられるサービス、組織の形態と役割がわかるようになる				基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル レストランサービス技能検定実技試験の資料							
第3回	4月28日	トレイとプレートの使い方		サービストレイとプレートサービスの使い方を学ぶ サービストレイやサーバーの扱い方やプレートの持ち方、下げ方ができるようになる				基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル レストランサービス技能検定実技試験の資料							
第4回	5月12日	席へのご案内と水のサービス		席にご案内、水のサービス、メニューを提示し料理を勧める一連の流れについて学ぶ お客様のお迎えから注文の受け方(復唱・確認) をできるようになる				基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル レストランサービス技能検定実技試験の資料							
第5回	5月19日	セッティングとワインサービス		注文に沿ったテーブルセッティングをすること、ワインのサービスをするを学ぶ トレイを使用してテーブルセッティングとワインサービスができるようになる				基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル レストランサービス技能検定実技試験の資料							
第6回	5月26日	パンのサービスと料理のサービス		パンをサービスすることや注文の料理をサービスすることを学ぶ パンや料理をサーバーでサービスできるようになる				基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル レストランサービス技能検定実技試験の資料							
第7回	6月2日	お見送りとテーブル上の片づけ		バッシング、お見送り、テーブル上の片づけについて学ぶ 基本に沿って食器を下げることやテーブル上の器材をトレイで下げることができるようになる				基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル レストランサービス技能検定実技試験の資料							
第8回	6月9日	テーブルのリセットと整理整頓		テーブルのリセット、下げコーナーの整理整頓を学び テーブル上の器材をトレイで下げ、別のトレイに必要器材を載せ、客席へ行くことができる				基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル レストランサービス技能検定実技試験の資料							
第9回	6月16日	レストランサービスの流れの確認		これまで実践してきたレストランサービスの一連の流れについて確認する レストランにおけるランチタイムサービスの作業手順と時間配分をクリアできるようになる				基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル レストランサービス技能検定実技試験の資料							
第10回	6月23日	課外実習(ホテルにて) ナイフ・フォークの扱いについて		レストランサービスにおけるテーブルマナーの作法の学びと館内見学 ナイフ・フォークの扱い方を学ぶことができ、美しい食事の召し上がり方ができるようになる				基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル レストランサービス技能検定実技試験の資料							
第11回	6月30日	課外実習(ホテルにて) 洋食マナーの基礎について		レストランサービスにおけるテーブルマナーの作法の学びと館内見学 洋食マナーの基礎を学ぶことができ、社会人になってから自然とマナーを守れるようになる				基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル レストランサービス技能検定実技試験の資料							
第12回	7月7日	課外実習の振り返り		課外実習の振り返りを行う 「周りの人に気を配り、思いやりを大切にすること」を理解できるようになる				基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル レストランサービス技能検定実技試験の資料							
第13回	7月14日	前期の振り返り(実技)		これまで実践してきたレストランサービスの一連の流れについて確認する レストランにおけるランチタイムサービスの作業手順と時間配分をクリアできる				基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル レストランサービス技能検定実技試験の資料							
第14回	9月1日	成績判定試験の準備(実技)		これまで実践してきたレストランサービスの一連の流れについて確認する お客様のお迎えからお見送りまでの一連の流れができるようになる。				基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル レストランサービス技能検定実技試験の資料							
第15回	9月8日	成績判定試験(実技)		授業第3回～8回の内容で、成績判定試験(実技)の実施する お客様のお迎えからお見送りまでの一連の流れを9分間でできるようになる。				基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル レストランサービス技能検定実技試験の資料							
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.															
”出席率80%以上及び ①成績判定試験(実技試験) 判定する項目: ランチタイムサービスの一連の流れ、点数配分: 減点式で100点法、60点以上で合格とする、時間配分: 1人9分 ②確認テスト 第3回から9回までの授業内容の確認テストを実施し、100点法で行い、理解度を測ります(点数配分は減点式、時間は1人2分～5分) ③授業態度 提出物及び授業への出席状況を評価する (提出物: 事前の連絡や正当な理由がなく提出期限を過ぎて提出された場合は2点減点 提出されなかった場合、あるいは提出期限を5日間過ぎて提出された場合は3点減点) 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする”☑															
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度		技能・表現		評価配分%		成績評価基準	
①成績判定試験				2位						1位		60		秀(S): 100点～90点	
②確認テスト				2位						1位		30		優(A): 89点～80点	
③授業態度						2位		1位				10		良(B): 79点～70点	
④課題レポート												なし		可(D): 69点～60点	
⑤作品												なし		不可(E): 59点以下	
⑥プレゼンテーション												なし			
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。												不合格の場合		再試験1回のみ、補習あり	

シラバス作成者	村瀬 孝	シラバス承認者	山根 大助	授業担当教員	村瀬 孝
				実務経験紹介	学校ＨＰ内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載
更新履歴					
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.1}	フラワーコーディネートⅡ ^{4.2}		学科名 ^{4.2} (コース名)	4.5. プライダルホテル科 ^{6.1}			学年 ^{4.3}	3 ^{3.1} 学年 ^{4.4}
授業形態 ^{4.1}	実習 ^{4.1}	学期 ^{4.1}	後期 ^{4.1}	開講年月 ^{5.1}	10月 ^{5.1}	該当資格区分 ^{6.1}	民間検定 ^{6.1}	
教育課程区分 ^{7.1}	必修 ^{7.1}	単位数 ^{8.1}	1 ^{8.1}	時間数 ^{9.1}	30 ^{9.1}	該当資格名称 ^{10.1}	フラワーコーディネーター検定3級 ^{10.1}	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11.1 様々なシーンにおけるブライダルフラワーの基本知識を、講義と実践(制作)を併用しながら学び理解を深める。 ブライダルフラワーコーディネーターとしての資質(マナー、姿勢、コミュニケーションスキル等)を向上させる。 資格:ブライダルフラワーコーディネーター検定(BFC)3級合格 ^{11.1}						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12.1 一般的な花の扱い方、フラワーアレンジの基礎知識を学び、ブライダルシーンへ発展させる。講義で得た知識を実践へ移すことにより、フラワーアイテムの構造や特性を手で学び取ることとなる。制作体験のより話題の幅が広がり9相らしいのコミュニケーション(接客)の場において大きく役立つことが期待できる。 ^{12.1}						
受講条件		13.1 YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。 ^{13.1}						
教科書名		14.1 BFCA公式テキスト 一般社団法人ブライダルフラワーコーディネーター協議会 ^{14.1}				教材名 ^{15.1}	オリジナルPowerPoint オリジナルプリント ^{15.1}	
設備名・機器名		16.1 教材投影用プロジェクター・PC(教員用) 生花・アート・ブリザーブドなど花材 ^{16.1}				関連サイト ^{17.1}	一般社団法人 ブライダルフラワーコーディネーター協議会 http://www.bfca.jp/approval.html ^{17.1}	
関連前科目		18.1 フラワーコーディネートⅠ ^{14.1}				関連後科目 ^{19.1}	ブライダルプロデュースⅡ ^{19.1}	
授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ^{20.1}								
回(コマ)	開講日	1 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	8月30日	オリエンテーション・花の扱い方		『講義』今期の授業内容の説明・花の扱い方について・ブライダルフラワービジネスの基礎知識				BFCA公式テキスト オリジナルプリント
第2回	8月30日	キャンドルアレンジの制作(生花ラウンドス)		【実技】実際のウェディングシーンを想定し、様々なフラワーアイテムの重要性を理解する ^{20.1}				BFCA公式テキスト オリジナルプリント
第3回	10月7日	ブライダルの基礎知識		『講義』挙式・披露宴スタイル、婚礼衣装、婚礼美容などの選択ポイント				BFCA公式テキスト オリジナルプリント
第4回	10月7日	ヘッドアクセサリ・ブートニア制作(造花)		【実技】衣装や髪型に合わせたヘアアクセサリの提案、ブートニア制作の技術習得				BFCA公式テキスト オリジナルプリント
第5回	10月14日	フラワーコーディネーターとしての姿勢		『講義』提案力・マナーコミュニケーションスキル				BFCA公式テキスト オリジナルプリント
第6回	10月14日	和風花束制作(生花)・鏡開き花制作(生花)		【実技】洋スタイルだけでなく、和スタイルにも対応可能な提案力を習得する				BFCA公式テキスト オリジナルプリント
第7回	10月21日	ブライダルフラワーの基礎知識		『講義』ビジネスマインド・ブーケの歴史・会場装花・色彩学				BFCA公式テキスト オリジナルプリント
第8回	10月21日	トライアングュラーアレンジメント(生花)		【実技】教会式の祭壇花をイメージしながら制作、一方見・四方見の違いを理解する				BFCA公式テキスト オリジナルプリント
第9回	10月28日	フラワーデザイン基礎		『講義』花材の携帯・フラワーアレンジの手法、使用ツール・ブーケ制作のポイント				BFCA公式テキスト オリジナルプリント
第10回	10月28日	ブーケ制作		【実技】ブーケホルダーを使用したラウンドブーケの作成				BFCA公式テキスト オリジナルプリント
第11回	11月7日	スタイル別フラワーコーディネートの基礎知識		『講義』会場リサーチ・コーディネートスタイルの種類・ブライダルフラワー再作のポイント				BFCA公式テキスト オリジナルプリント
第12回	11月7日	リース作成(造花)		【実技】席札・ウェルカムフラワー・ギフトふらわーなどのアイテムの種類				BFCA公式テキスト オリジナルプリント
第13回	11月11日	ブライダルフラワーコーディネーター検定		『講義』検定に向けてポイント復習				BFCA公式テキスト オリジナルプリント
第14回	11月11日	自由制作		【実技】指定された課題に適したアレンジ再作(実践力を向上する)				BFCA公式テキスト オリジナルプリント
第15回	11月18日	ブライダルフラワーコーディネーター検定		検定(筆記)・期末テスト(制作)				BFCA公式テキスト オリジナルプリント
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.1}								
①成績判定試験 【配分 50%】形式: 選択問題、設問数10問(1問5点、満 50点)、記述問題5問(1問6点、満点30点)、文章記述問題2問(1問10点、満点20点) 時間配分 60分、配点調整100点満点を50点満点に換算								
④授業態度 【配分 20%】授業中に2回注意を受けた場合→3点								
⑤作品 【配分 30%】全8作品制作(1作品3～5点、満点40点) 配点調整100点満点を40点満点に換算								
上記総合得点で、60点以上を合格とする。上記評価項目の各点数を下表の評価配分%にて按分し、総合点60点以上を合格とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				50	秀(S): 100点～90点
②確認テスト							なし	優(A): 89点～80点
③課題レポート							なし	良(B): 79点～70点
④授業態度				2位	1位		20	可(D): 69点～60点
⑤作品			2位			1位	30	不可(E): 59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者		授業担当教員	長尾 篤子			
				実務経験紹介				
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

「YIC京都シラバス様式及び記載項目/相互確認項目」

様式第一版:2024.7.16^{1,3} YIC京都 校長¹

科目名 ^{4,1}	4. フラワーコーディネートⅡ		学科名 ^{4,2} (コース名)	4.5. プライダルホテル科 ⁶			学年 ^{4,3}	2学年 ^{4,4}
授業形態 ⁴	実習	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	フラワーコーディネーター検定3級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 結婚式や披露宴の装花コーディネートを教授する。 1年時に学習したフラワーアレンジの技術や知識をベースに、模擬披露宴などを通してお客様のニーズに合わせたブーケや会場装飾の提案を学ぶ実践的授業である。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. ドレスデザインに合わせたブーケやご希望イメージに適した会場装花の提案力を習得し、実際の現場において提案通りの装花を制作できる知識、技術を身につける。生花だけでなく、アート・プリザーブド等の各花材の特徴や扱い方を理解し、制作アイテムに適した花材の選択においての応用力、技術力を習得する。							
受講条件	13. YIC京都ビューティ専門学校プライダルホテル科に在籍していること。 1							
教科書名	14. BFC公式テキスト 一般社団法人プライダルフラワーコーディネーター協議会				教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint オリジナルプリント		
設備名・機器名	16. 教材投影用プロジェクター・PC(教員用) 生花・アート・プリザーブドなど花材				関連サイト ¹⁷	一般社団法人 プライダルフラワーコーディネーター協議会 http://www.bfca.jp/approval.html		
関連前科目	18. 1 フラワーコーディネートⅠ ¹⁴				関連後科目 ¹⁹	15. プライダルプロデュースⅡ		
授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	1 授業コマの主題(タイトル)			各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材
第1回	4月15日	1 オリエンテーション			『講義』 今期授業内容において、1年生のふり返り・ギフトフラワー制作に向けて授業の概要を理解し、1年生の学びを振り返ることで、今期の学習への意識を高める。ギフトフラワー制作に向けた基礎知識を確認する。			BFC公式テキスト オリジナルプリント
第2回	4月15日	アレンジメント制作① 基本スタイル「ラウンド」			【実技】 ギフトフラワーを課題とし、基本スタイル「ラウンド」の構造を学び制作する。<造花> 「ラウンド」スタイルの基本構造を理解し、ギフト用アレンジメントの基礎技術を習得する。 20.			BFC公式テキスト オリジナルプリント
第3回	4月22日	テーブルコーディネート (ゲスト装花一洋装一)			『講義』 ホテルやレストラン等、洋装での会食における装花の提案 洋装での会食シーンに適した装花提案において、花材選びやデザインなどの装花イメージが描けるようになる。			BFC公式テキスト オリジナルプリント
第4回	4月22日	アレンジメント制作② 基本スタイル「四方見」			【実技】 ゲスト装花を課題とし、テーブルの形・配置を意識した「四方見」の構造を学び制作する。<生花> 「四方見」の基本構造を理解し、花材の特徴を生かしたゲスト装花を制作できる技術を身につける。			BFC公式テキスト オリジナルプリント
第5回	5月13日	テーブルコーディネート (メイン装花一和装一)			『講義』 料亭、神社内会場等、和装での会食における装花の提案 和装での会食シーンに応じた装花の提案力を高め、和風会場にふさわしいデザインを考案できるようにする。			BFC公式テキスト オリジナルプリント
第6回	5月13日	アレンジメント制作③ 基本スタイル「一方見」			【実技】 メイン装花を課題とし、テーブルの形・配置を意識した「一方見」の構造を学び制作する。<生花> 「一方見」の基本構造を理解し、花材の特徴を生かしたメイン装花を制作できる技術を身につける。			BFC公式テキスト オリジナルプリント
第7回	5月20日	ブーケについて			『講義』 ブーケ各種スタイルの提案、制作時における重要ポイントについて 各種スタイルの特徴やドレスデザインとの相性を理解し、要望に応じた提案ができる知識を習得する。			BFC公式テキスト オリジナルプリント
第8回	5月20日	ブーケ制作① 基本スタイル「ラウンド」			【実技】 ラウンドブーケを課題とし、「ラウンド」の基本構造、花材の扱い方を理解し制作する。<生花> ラウンドブーケの基本構造を理解し、ご希望に応じた花材やデザインができる実践的な基本技術を習得する。			BFC公式テキスト オリジナルプリント
第9回	5月27日	ブーケ打ち合わせについて			『講義』 ブーケご提案時のヒアリング(ドレス・ヘアスタイル・メイク等)の重要性について ドレス、ヘアスタイル、メイクなどの要素とブーケの関係性を理解し、適切な提案ができるようになる。			BFC公式テキスト オリジナルプリント
第10回	5月27日	ブーケ制作② 基本スタイル「クラッチ」			【実技】 クラッチブーケを課題とし、ドレスの色やデザインに合わせたブーケの提案を理解し制作する。<生花> ドレスデザインに合わせた適切なブーケをご提案出来るようになり、ご希望花材にて制作出来る技術を習得する。			BFC公式テキスト オリジナルプリント
第11回	6月3日	ブートニア制作			『講義』 ブートニアの由来・制作方法の説明 【実技】 ブートニア制作 <生花> ブートニアの由来を理解し、制作技術を実践的に身につける。			BFC公式テキスト オリジナルプリント
第12回	6月3日	コサージュ制作			『講義』 コサージュのデザイン・制作方法の説明 【実技】 コサージュ制作<プリザーブド> コサージュのデザインと制作過程を理解し、実践的な技術を習得する。 プリザーブドフラワーの特徴や扱い方を学び、装飾品としての制作力を高める。			BFC公式テキスト オリジナルプリント
第13回	6月10日	今期総復習&期末試験対策			今期授業総復習・成績判定試験対策(筆記、実技:生花ブートニア制作) 1～12回の学習内容を総復習し、筆記および実技試験に向けた知識と技術の整理ができるようになる。			BFC公式テキスト オリジナルプリント
第14回	6月10日	期末試験			授業第1回～13回の内容で成績判定試験の実施 筆記・実技(生花ブートニア作成 ーフリーデザイナー) 学習内容をもとに筆記および実技試験を実施し、知識と技術の理解度・習得度を確認する。			BFC公式テキスト オリジナルプリント オリジナル試験問題
第15回	6月17日	自由制作			【実技】 習得したデザイン・技術を活かした作品制作 習得したデザインや技術を活かし、花材や器を自由に選択し創造的な作品を制作する。			BFC公式テキスト オリジナルプリント
21. 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
①成績判定試験 【配分 50%】形式:選択問題、設問数10問(1問5点、満 50点)、記述問題5問(1問6点、満点30点)、文章記述問題2問(1問10点、満点20点)時間配分 60分、配点調整100点満点を50点満点に換算 ④授業態度 【配分 20%】授業中に2回注意を受けた場合→3点 ⑤作品 【配分 30%】全8作品制作(1作品3～5点、満点40点)配点調整100点満点を40点満点に換算 上記総合得点で、60点以上を合格とする。上記評価項目の各点数を下表の評価配分%にて按分し、総合点60点以上を合格とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				50	秀(S):100点～90点
②確認テスト							なし	優(A):89点～80点
③課題レポート							なし	良(B):79点～70点
④授業態度				2位	1位		20	可(D):69点～60点
⑤作品			2位			1位	30	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	

上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。					不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者		授業担当教員	長尾 篤子	
				実務経験紹介		
更新履歴						
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者
改1						Check者(確認者)
改2						
改3						
改4						
改5						#NAME?

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.}	着付け・作法 ⁴		学科名 ^{4.2.} (コース名)	ブライダルホテル科 ^{6.}			学年 ⁴	2学年 ^{4.}
授業形態 ^{4.}	実習	学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし	
教育課程区分 ^{7.}	必修 ⁴	単位数 ^{8.}	2	時間数 ^{9.}	60	該当資格名称 ^{10.}	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		留袖の着付けを通して帯結び（お太鼓・飾り結び）が数種できるように実践的な授業。 和装の名称を覚える。新郎新婦の婚礼和装の基本を知識として教授する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		ブライダルの現場ではお直しや留袖の着付けを求められことも多いが対応することができるようになる。						
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。						
教科書名		森田空美のはじめてのきものきほん事典/森田空美/世界文化社				教材名		
設備名・機器名		該当なし				関連サイト ^{17.}	該当なし	
関連前科目 ^{18.}		該当なし ^{14.}			関連後科目 ^{19.}		ブライダルプロデュースⅡ	
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ^{20.}								
回(コマ)	開講日	1 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月16日	着物について知ろう・畳み方		和室でのあいさつ・着物のたたみ方（本畳み、夜具畳み、長襦袢の畳み方、衿とじ） 着物の構造・種類（留袖・振袖・訪問着など）				森田空美の はじめてのきものきほん事典
	4月16日	着物について知ろう・畳み方		和室でのあいさつ・着物のたたみ方（本畳み、夜具畳み、長襦袢の畳み方、衿とじ） 和室での所作（あいさつ、正座、立ち振る舞い）				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第3回	4月23日	長襦袢着付方①		身体に合った補正の仕方（畳み方練習）・長襦袢着付 補正の意味と必要性（体型に合った補正）				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第4回	4月23日	長襦袢着付方①		身体に合った補正の仕方（畳み方練習）・長襦袢着付 タオルや綿花を使った補正の技術実技内容： 補正→長襦袢の実習（自分自身に着付ける）				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第5回	5月8日	長襦袢着付②		補正～長襦袢着付（相モデル） 長襦袢着付けの仕上げ方（しわの処理・襟元の美しさ）				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第6回	5月8日	長襦袢着付②		補正～長襦袢着付（相モデル） モデルに合わせた補正の仕方 実技内容： 相モデルでの補正・長襦袢着付け				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第7回	5月14日	留袖着付①		補正～長襦袢～留袖着付（相モデル） 留袖の種類・着用シーン				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第8回	5月14日	留袖着付①		補正～長襦袢～留袖着付（相モデル） 着付けの順序（長襦袢 → 留袖 → 紐の扱い方） 実技内容： モデルへの留袖着付け前半（腰紐・おはしよりの処理まで）				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第9回	5月21日	留袖着付②		補正～長襦袢～留袖着付（相モデル） 衿元の美しい整え方				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第10回	5月21日	留袖着付②		補正～長襦袢～留袖着付（相モデル） 裾合わせ・しわ取り・後ろ姿の仕上げ方 実技内容： モデルへの留袖着付け仕上げ（帯を除く）				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第11回	5月28日	留袖の帯結び①		長襦袢着付け（相モデル）・留袖着付二重太鼓 二重太鼓の構造と意味 帯の前準備（仮紐・帯枕・帯板の使い方）				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第12回	5月28日	留袖の帯結び①		長襦袢着付け（相モデル） 美しく仕上げるポイント（たれの長さ・山の作り方） 実技内容： 相モデルで留袖～帯までの通し練習（帯はメイン）				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第13回	6月4日	留袖の着付		帯結びの基本としてお太鼓の結び方（相モデル） 帯の前準備（仮紐・帯枕・帯板の使い方） 着物全体のバランス調整				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第14回	6月4日	留袖の着付		帯結びの基本としてお太鼓の結び方（相モデル） 後ろ姿のチェック方法（帯山・おはしより・裾線） 実技内容： モデルに対して補正→長襦袢→留袖→帯のフルコーディネート練習				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第15回	6月11日	留袖の帯結び②		帯結びの基本としてお太鼓の結び方（相モデル） 時間配分と動作の簡略化				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第16回	6月11日	留袖の帯結び②		帯結びの基本としてお太鼓の結び方（相モデル） 着崩れ防止のコツ（帯枕の安定、紐の締め方） 実技内容： タイムトライアル形式での着付け練習				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第17回	6月18日	新婦着付①		新婦和装着付① 花嫁衣装（白無垢・色打掛）の構成と特徴 補正と体へのフィット感の作り方				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第18回	6月18日	新婦着付①		新婦和装着付① 長襦袢・掛下の着せ付け 実技内容： 新婦の長襦袢＋掛下までの実習				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第19回	6月25日	新婦着付②		新婦和装着付② 打掛の着付け手順と見せ方・小物（懐剣、筥迫、末広など）の配置				森田空美の はじめてのきものきほん事典
第20回	6月25日	新婦着付②		新婦和装着付② 裾の引き具合と歩きやすさへの配慮 実技内容： 掛下～打掛のフル着付け（補佐と着付けの両方体験）				森田空美の はじめてのきものきほん事典

第21回	7月2日	新郎着付①	新郎和装着付① 新郎衣装の構成（長襦袢・羽織・袴） 長襦袢と着物の着せ方（衣紋、紐の位置）	森田空美の はじめてのきものきほん事典
第22回	7月2日	新郎着付①	新郎和装着付① 袴の種類と畳み方、着せ付ける流れ 実技内容： 長襦袢～着物までの新郎着付け実習（相モデル）	森田空美の はじめてのきものきほん事典
第23回	7月9日	新郎着付②	新郎和装着付② 袴の履かせ方（腰紐の結び方、後ろ板の処理） 羽織の着せ方・羽織紐の結び方	森田空美の はじめてのきものきほん事典
第24回	7月9日	新郎着付②	新郎和装着付② 着崩れしにくいポイント 実技内容： 新郎衣装のトータル着付け実習	森田空美の はじめてのきものきほん事典
第25回	7月16日	振袖着付け方・課題練習	振袖の着付け方でモンストレーションと期末試験課題の練習 振袖の扱い方（袖の重さや引き方） 華やかな帯結び（文庫・ふくら雀などの基本形）	森田空美の はじめてのきものきほん事典
第26回	7月16日	振袖着付け方・課題練習	振袖の着付け方でモンストレーションと期末試験課題の練習 小物のコーディネート（帯揚げ・帯締めのアレンジ） 実技内容： モンストレーション＆帯結び練習（複数パターン）	森田空美の はじめてのきものきほん事典
第27回	7月23日	留袖着付	期末試験課題練習 時間内で着付けを完成させる練習 各所の美しさ・安定感・後ろ姿を意識した復習	森田空美の はじめてのきものきほん事典
第28回	7月23日	留袖着付	期末試験課題練習 緊張感のある中での実践力強化 実技内容： 留袖のタイムトライアル実践練習（通し）	森田空美の はじめてのきものきほん事典
第29回	9月3日	期末試験	指導員の指定する時間内に着つけられるようになる 留袖 or 振袖の着付け（指定あり） 補正から帯結びまで、すべての工程を自分で行う	森田空美の はじめてのきものきほん事典
第30回	9月3日	期末試験	指導員の指定する時間内に着つけられるようになる 着崩れの有無、所作、美しさを総合的に評価 実技内容： 時間制限ありの実技試験（30～40分）	森田空美の はじめてのきものきほん事典

成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。21.

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト	2位	2位				15	優（A）： 89点～80点
③課題レポート						なし	良（B）： 79点～70点
④授業態度			2位	1位		15	可（D）： 69点～60点
⑤作品						なし	不可（E）:59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	福井 純子
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載

更新履歴						
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)
改1						
改2						
改3						
改4						
改5						

「YIC京都シラバス様式及び記載項目/相互確認項目」

様式第一版:2024.7.16 YIC京都 校長

科目名 ^{4:}	⁴ 京都和婚		学科名 ^{4,2:} (コース名)	^{4,5:} ブライダルホテル科 ^{6:}			学年 ^{4,3:}	2学年 ^{4:}
授業形態 ^{4:}	講義	学期	前期	開講年月 ^{5:}	4月	該当資格区分 ^{6:}	該当なし	
教育課程区分 ^{7:}	必修 ^{8:}	単位数 ^{8:}	1	時間数 ^{9:}	30	該当資格名称 ^{10:}	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11. 古都の風情と伝統的な文化が深く根付いた京都で、神社仏閣や庭園での美しい結婚式について教授する。 また、日本の儀式や慣習に従って行われている和婚の良さを実際に体感し、全国や外国人観光客に魅力を広めていける人材を目指す。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12. 京都についての歴史・文化・地域の特性を知る。 京都和婚が行われている神社・仏閣・会場について探求する。 ^{9:} 日本の伝統的な婚礼衣装やヘアメイクについての知識を得る。						
受講条件		13. YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること ^{12:}						
教科書名		14. オリジナルテキスト			14,15. 教材名 オリジナルプリント オリジナルPowerPoint			
設備名・機器名		16. 1 教材投影用プロジェクター・PC (教員用)			16,17. 関連サイト			
関連前科目		18. 1 該当なし ^{14:}			15. 関連後科目		19. 該当なしなし	
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ^{20:}								
回(コマ)	開講日	¹ 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	5月22日	1 ガイダンス・シラバスの説明		19. 講義内容・学習スケジュールの確認・結婚の定義・歴史(復習) など 授業の全体像と目的を理解し、和婚に対する基礎的な関心と理解を持つ				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint
第2回	5月22日	ウェディングの現状		20. 昨今の結婚式事情について ~ 誰かの幸せに繋がるウェディング 現代の結婚式の多様性や背景を理解し、自身の将来像と結びつけて考察できる				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint
第3回	5月29日	花嫁レッスン 体験		美しいおふたりを演出できるように 花嫁としての基本所作を学び、所作を通して「見せる美しさ」を体得する				オリジナルプリント
第4回	5月29日	株式会社ブライトブライズ 島津郁代講師をお迎え		マナーレッスン体験 実際の現場で必要なマナーとホスピタリティの基礎を体験的に理解する				オリジナルプリント
第5回	6月5日	学外見学 衣裳店		レンタル衣装店あゆみブライダル様について 衣装店の仕組みと業務内容、和装の種類と意味について基本的理解を深める				オリジナルプリント パンフレット
第6回	6月5日	あゆみブライダル様での研修		「十二単」「日本の織物・色彩・吉祥紋様」について学ぶ 十二単や伝統的織物、文様の文化的意味を理解し、説明できるようになる				オリジナルプリント パンフレット
第7回	6月12日	学外見学 神社		賀茂別雷(かもわけいかづち)神社(上賀茂神社)様について 上賀茂神社の歴史的背景と神社婚の特徴を理解し、神前式の基礎知識を得る				オリジナルプリント パンフレット
第8回	6月12日	上賀茂神社様での研修		神職による境内案内 及び 特別参拝 神職からの解説を通して神社婚の実際を学び、特別参拝の意義を理解する				オリジナルプリント パンフレット
第9回	6月19日	京かつら体験		文金高島田の髷・かんざし・綿帽子・角隠しなどに触れる 日本の伝統的婚礼髪型(文金高島田等)に関する基礎知識と装飾品の名称・用途を理解する				オリジナルプリント パンフレット
第10回	6月19日	京かつら今西 今西康文様をお迎え		白無垢スタイル・色打掛スタイル 白無垢・色打掛の違いや意味を理解し、それぞれの特徴を言語化できるようになる				オリジナルプリント パンフレット
第11回	7月10日	学外見学 プロデュース会社		SEN KYOTO株式会社 様について SEN KYOTO社の業務内容を理解し、プロデュース会社の役割と重要性を説明できる				オリジナルプリント パンフレット
第12回	7月10日	SEN KYOTO株式会社様での研修		和婚プロデュース・衣裳店「丹庵」見学・講話 和婚プロデュースの流れや衣裳店「丹庵」の役割を学び、実務的な視点を持つ				オリジナルプリント パンフレット
第13回	9月4日	学外見学 衣裳店		上賀茂神社様と「モーニング」「ローブデコルテ」の関係 「モーニング」「ローブデコルテ」は洋婚でのフォーマルマナーと国際的な礼装知識を習得する				オリジナルプリント パンフレット
第14回	9月4日	あゆみブライダル様での研修		「モーニング」「ローブデコルテ」洋装全般について学ぶ 和婚プロデュースの流れや衣裳店「丹庵」の役割を学び、実務的な視点を持つ				オリジナルプリント パンフレット
第15回	9月11日	2 期末試験		前期の振り返り 成績判定試験実施 前期の学習内容を総復習し、知識と理解を定着させ、表現力として発揮する				
21. 成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」 ^{23:} における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{24:}								
21. 単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				50	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト		1位	2位	1位			10	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート		2位	1位	2位	1位		20	良 (B) : 79点~70点
④授業態度				1位	1位		20	可 (D) : 69点~60点
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	

上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。				不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	杉山 美帆子	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	杉山 美帆子
				実務経験紹介	学校H P 内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載
更新履歴					
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.1}	4京都和婚		学科名 ^{4.2} (コース名)	4.5. プライダルホテル科 6.			学年 ^{4.3}	2学年 ^{4.4}
授業形態 ^{4.4}	講義 ^{4.5}	学期	後期	開講年月 ^{5.}	10月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ^{7.}	必修 ^{4.6}	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11. 古都の風情と伝統的な文化が深く根付いた京都で、神社仏閣や庭園での美しい結婚式について教授する。 また、日本の儀式や慣習に従って行われている和婚の良さを実際に体感し、全国や外国人観光客に魅力を広めていける人材を目指す。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12. 京都についての歴史・文化・地域の特性を知る。 京都和婚が行われている神社・仏閣・会場について探求する。 9. 日本の伝統的な婚礼衣装やヘアメイクについての知識を得る。						
受講条件		13. YIC京都ビューティ専門学校プライダルホテル科に在籍していること 10.						
教科書名		14. オリジナルテキスト			教材名 ^{14.15}	オリジナルプリント オリジナルPowerPoint		
設備名・機器名		16. 教材投影用プロジェクター・PC (教員用)			関連サイト ^{16.17}			
関連前科目		18. 該当なし 14.			関連後科目 ¹⁹	該当なしなし		
授業計画 (授業コマ単位) 学科 ¹ : 15コマ以上単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 20.								
回(コマ)	開講日	1 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	10月2日	1 ガイダンス・シラバスの説明		講義内容・学習スケジュール ¹⁰ の確認、結婚の定義・歴史(復習)など 授業の全体像と目的を理解し、和婚に対する基礎的な関心と理解を持つ				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint
	10月2日	ウェディングの現状		昨今の結婚式事情について ~ 誰かの幸せに繋がるウェディング 現代の結婚式の多様性や背景を理解し、自身の将来像と結びつけて考察できる				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint
第3回	10月9日	「和婚」とは		業界・マーケットの分析・インバウンドウェディングの需要 和婚の業界構造やマーケット動向、インバウンド需要について理解できる				オリジナルプリント
第4回	10月9日	和婚の定義		和婚の定義・イメージ・京都ならではの和婚 和婚の基本的な定義とイメージを把握し、京都らしさとの関連性を説明できる				オリジナルプリント
第5回	10月16日	学外見学 ★結納店		「お顔合わせ」「結納」とは 結納やお顔合わせの意義を学び、伝統文化としての価値を理解することができる				オリジナルプリント パンフレット
第6回	10月16日	京都にある結納店での研修		結納飾り・水引・扇について 結納飾り・水引・扇などの意味を理解し、基本的な特徴を説明できる				オリジナルプリント パンフレット
第7回	10月23日	新日本髪・洋髪 体験		地毛結い・花嫁の髪で結う人気の新日本髪を知る 新日本髪や花嫁の髪型に関する基礎知識を身につけ、その文化的意義を理解できる				オリジナルプリント パンフレット
第8回	10月23日	飛田まゆみ先生をお招きして		白無垢スタイル・色打掛スタイル 白無垢・色打掛などの和装スタイルの特徴と意味を理解し、説明できる				オリジナルプリント パンフレット
第9回	12月4日	学外見学 ★寺院		くろ谷金戒光明寺 様 (浄土宗 仏前結婚式) 現地 寺院で行われる仏前結婚式の雰囲気と流れを体験し、理解を深めることができる				オリジナルプリント パンフレット
第10回	12月4日	くろ谷金戒光明寺様での研修		浄土宗 仏前結婚式について学ぶ 仏前結婚式の形式や宗教的意義について学び、他の形式との違いを理解できる				オリジナルプリント パンフレット
第11回	12月11日	学外見学★国内外のフォト		elle pupa 様 講話 ウェディングフォトについて、業界で働く意義 ウェディングフォトの役割と業界の現状を理解し、仕事としての意義を考えられる				オリジナルプリント パンフレット
第12回	12月11日	elle pupa 様での研修		国内外のウェディングフォト事情について学ぶ 国内外のウェディングフォトのトレンドやニーズを把握し、顧客視点での提案ができるようになる				オリジナルプリント パンフレット
第13回	1月23日	学外見学★衣裳店		レンタル衣裳店 現地 和装レンタル業界の現場を知り、衣裳選びの基準やサービスについて理解する				オリジナルプリント パンフレット
第14回	1月23日	ZEN京都様での研修		和装:吉祥紋について学ぶ 和装に用いられる吉祥文様の意味や種類を理解し、適切に説明できる				オリジナルプリント パンフレット
第15回	1月30日	2 期末試験		前期の振り返り 成績判定試験実施 後期の学習内容を総復習し、知識と理解を定着させ、表現力として発揮する				
成績評価方法 (当該コマの到達目標 ²² に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」 ²³ における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。 21.								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				50	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト		1位	2位	1位			10	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート		2位	1位	2位	1位		20	良 (B) : 79点~70点
④授業態度				1位	1位		20	可 (D) : 69点~60点
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者		杉山 美帆子	シラバス承認者		フルネームを記載		授業担当教員	杉山 美帆子
							実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.1}		ブライダルプランニング演習		学科名 ^{4.2} (コース名)	ブライダルホテル科 ^{4.5}		学年 ^{4.3}		2学年 ^{4.4}
授業形態 ^{4.}		実習	学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし	
教育課程区分 ^{7.}		必修 ^{8.}	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		当該授業はプランナーにおける結婚式当日までの打ち合わせの流れを知る。また実際に打ち合わせ内容について説明ができるようにロープレを実施する。 実際に企業様を訪問させていただき現場のプランナーの方からレクチャーを受ける。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		当該授業はプランナーにおける結婚式当日までの打ち合わせの流れを知り、お客様ニーズ、業界トレンドやマーケットをふまえたプランニング能力の向上を図る。 プランナーとして結婚式当日までの打ち合わせの流れを理解することを目的とし、打ち合わせの内容をお客様に対してわかりやすく説明できるよう、ロールプレイを通して実践的なスキルを養います。また、実際に企業様を訪問し、現場で活躍されているプランナーの方から直接レクチャーを受けることで、現場で求められる対応力やコミュニケーション力など、実務に直結する知識や技術を身につけることができます。							
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。							
教科書名 ¹¹		該当なし ¹⁴			教材名 ¹⁵	オリジナルPowerPoint オリジナルプリント			
設備名・機器名 ¹⁶		教材投影用プロジェクター・PC (教員用) ¹			関連サイト ¹⁷				
関連前科目 ¹⁸		該当なし ¹⁴			関連後科目 ¹⁹	該当なし			
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ^{20.}									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル) ¹		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月14日	ガイダンス ¹		授業の概要 (自己紹介含) ¹⁴ ；結婚式という商品について学ぶ (結婚式の魅力・お客様のニーズ) 授業の概要を理解し、自己紹介を通じてクラスメイトと交流を深める。 結婚式の魅力やお客様のニーズについて学び、ブライダル業界の基本的な考え方を理解する。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第2回	4月21日	新規接客業務について基礎知識①		新規接客業務について学びを深める。『結婚式のプラン商品について』 新規接客業務の基礎知識を学び、結婚式のプラン商品について説明できるようになる。 お客様の動向を知る。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第3回	4月28日	新規接客業務について基礎知識②		新規接客業務について学びを深める。『お客様のニーズや人となりを知る方法』 お客様のニーズを把握するためのヒアリング方法を学び、実践的な接客スキルを身につける。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第4回	調整中	ホテルウェディング研修①		実際の結婚式場に足を運び施設についてやプランナー業務 (新規接客) について学ぶ 実際の結婚式場の施設や設備を理解し、プランナー業務 (新規接客) の実践的な知識を深める。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第5回	調整中	ホテルウェディング研修②		結婚式本番までの打ち合わせの流れについてレクチャーを受ける (サウザンド京都ホテル様) 結婚式本番までの打ち合わせの流れを学び、具体的な業務内容を理解する。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第6回	5月12日	新規接客業務の演習		新規接客のロールプレイングを通じて、実際の接客業務の流れを体験し、スムーズな対応ができるようになる。 会場見学内容を振り返り、会場の魅力を引き出す。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第7回	5月19日	打合せの基礎①		テーマウェディングのコンセプトを学び、招待状・進行・当日までの準備期間を知る ※課題: テーマウェディングを設定 テーマウェディングのコンセプトを学び、招待状や進行など当日までの準備プロセスを理解する。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第8回	5月26日	打合せの演習①		招待状の打ち合わせ演習 招待状の打ち合わせ演習を通じて、具体的な打ち合わせの進め方を学ぶ。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第9回	6月2日	打ち合わせ基礎②		衣裳・料理・装飾・進行・演出の内容を知り、仮説を設定する 衣裳、料理、装飾、進行、演出などの要素を理解し、仮説を立てたプランニングができるようになる。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第10回	6月9日	打ち合わせ演習②		内容のプランニング作成 (見学式場をテーマに) 実際の内容を踏まえたプランニングを作成し、具体的な提案を考える。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第11回	調整中	ホテルウェディング プランニング研修①		実際のテーマに沿ったプランニングを体験する (サウザンド京都ホテル様) 実際のテーマに沿ったプランニングを体験し、ホテルウェディングの現場で必要な知識を深める。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第12回	調整中	ホテルウェディング プランニング研修②		実際のプランニングの流れなどのレクチャーを受ける (サウザンド京都ホテル様) プランニングの流れについてレクチャーを受け、実践的なプランニングスキルを向上させる。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第13回	6月30日	プランニング演習		テーマウェディングプランの作成 ※ テーマウェディングプランを作成し、お客様に提案できる形にまとめる。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第14回	7月7日	プランニング演習		テーマウェディングプランのご提案 プレゼン 作成したテーマウェディングプランをプレゼンテーションし、相手に伝わる提案を実践する。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第15回	7月14日	総集編 ²		授業内容の振り返り、まとめ 授業内容の振り返りを行い、前期で学んだ内容を整理し、自身の成長を確認する。				オリジナルPowerPoint オリジナルプリント+D14:M28ト	
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}									
①課題レポート 提出期日までに未提出につきー10点 【配分: 10%】									
②授業態度 1コマ欠席につきー3点、授業中に2回注意を受けた場合ー2点 【配分: 10%】									
③プレゼンテーション 未実施ー10点 【配分: 50%】 上記の総合得点が60点以上を合格とする。 上記評価項目の各点数を下表の評価配分%にて按分し、総合点60点以上を合格とする。									
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験							なし	秀 (S) : 100点~90点	
②確認テスト							なし	優 (A) : 89点~80点	
③課題レポート		2位	1位				10	良 (B) : 79点~70点	
④授業態度				2位	1位		40	可 (D) : 69点~60点	
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下	
⑥プレゼンテーション		1位	2位				50		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等	
シラバス作成者		國定 章子	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	楠本 五月子		
					実務経験紹介				
更新履歴									
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)	
改1									
改2									
改3									

科目名 ^{4.}	⁴ ブライダル広告研究		学科名 ^{4.2.} (コース名)	^{4.5.} ブライダルホテル科 ^{6.}			学年 ⁴	^{4.2} 学年 ^{4.}
授業形態 ^{4.}	講義	学期	後期	開講年月 ^{5.}	9月	該当資格区分 ⁶	該当なし	
教育課程区分 ^{7.}	必修 ⁴	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	^{11.} ブライダル業界で大きく費用のかかる宣伝広告費を理解しながら、マーケティング手法を学びリアルウェディングのリーフを作成する事で集客につなげる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	^{12.} 宣伝広告費を理解する。ビジネスフレームワークを理解する。リーフ作りに必要なキャッチコピーの作り方を理解する。							
受講条件	^{13.} YJC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること。							
教科書名	^{14.} 該当なし			教材名 ^{15.}	オリジナルPowerPoint オリジナルプリント			
設備名・機器名	^{16.} 教材投影用プロジェクター・PC (教員用)			関連サイト ^{17.}				
関連前科目	^{18.} 該当なし			関連後科目 ^{19.}	該当なし			
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ^{20.}								
回(コマ)	開講日	¹ 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回	9月30日	ブライダル業界の広告宣伝費を理解する		ブライダル業界の広告宣伝費はどのくらいかかるのか? 大手企業の広告宣伝費を参考に売り上げから広告宣伝費の割合を知る			オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第2回	10月7日	広告と宣伝の違いを理解する		広告と宣伝の違いを理解し、どのように広告宣伝をしていけばリアルウェディングの顧客を集客できるかプレストディスカッションを行う			オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第3回	10月14日	環境やサービス内容を分析する①		身近な題材を用いてSWOT分析を理解する			オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第4回	10月21日	環境やサービス内容を分析する②		SWOT分析を理解し現在の取り巻く環境やリアルウェディングの強み弱みを改めて分析する			オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第5回	10月28日	顧客について分析する①		身近な題材を用いてペルソナを理解し顧客を分析する			オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第6回	11月4日	顧客について分析する②		リアルウェディングを希望する顧客はどのような顧客かペルソナを用いて分析する			オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第7回	11月11日	キャッチコピーを考える①		あらゆる企業の有名なキャッチコピーを知り、キャッチコピーの考え方作り方を学ぶ			オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第8回	11月18日	キャッチコピーを考える②		実際に例題を用いてキャッチコピーを作成する			オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第9回	11月25日	テキスト構成を考える		見やすいフォント、テキストの構成を学ぶ			オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第10回	12月9日	リーフ作成のための素材集め		リーフ作成に必要な素材を集める			オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第11回	12月16日	リーフ作成のための素材集め		リーフ作成に必要な素材を集める			オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第12回	1月13日	リアルウェディングリーフの作成		リーフ作成			オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第13回	1月20日	リアルウェディングリーフの作成		リーフ作成			オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第14回	1月27日	リアルウェディングリーフの作成		リーフ作成			オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
第15回	2月3日	リアルウェディングリーフの作成		リーフ作成			オリジナルPowerPoint オリジナルプリント	
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}								
【プレゼンテーション】 【作品】 各学生が構成した商品プランを作成した資料、アイテムを効果的に使用し、説得力(メリット・効果)、対応力(顧客ニーズ)、表現力(オリジナリティ)などの提案力をプレゼンテーション実技にて評価する。 【課題レポート】 【授業態度】 授業毎の要点に対しての理解度をレポート提出にて評価する。他学生のプレゼンテーション実技中において、聞き手としての態度、質問、合評レポート提出にて評価する。 【欠席】成績評価点から(欠席回数×7%)を減算								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							なし	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト							なし	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート		1位	2位				10	良 (B) : 79点~70点
④授業態度				2位	1位		10	可 (D) : 69点~60点
⑤作品			1位			2位	20	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション				2位		1位	60	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	福永 健	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	福永 健			
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載			
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所			作成者	Checker(確認者)	
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.}	⁴ インターシップⅠ		学科名 ^{4.2.} (コース名)	^{4.5.} プライダルホテル科 ^{6.}			学年 ^{4.3.}	^{4.4.} I学年
授業形態 ^{4.}	実習	学期	前期	開講年月 ^{5.}	6月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし	
教育課程区分 ^{7.}	必修	単位数 ^{8.}	2	時間数 ^{9.}	60	該当資格名称 ^{10.}	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		^{11.} プライダル業界研究で得た知識をもとにインターンシップ依頼、インターンシップリテラシーを学び、事前準備学習を行う。インターンシップを通じて得た経験を体験報告をレポートにまとめ、報告書を作成する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		^{12.} 1. 自らの専攻やキャリアに関連した就業体験によって高い職業意識を育成する 2. 実社会に触れる事によって学習意欲を向上させる 3. 人間性を高め、基本的な生活習慣を身に付ける						
受講条件		^{13.} YIC京都ビューティ専門学校プライダルホテル科に在籍していること。						
教科書名		^{14.} ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー 著者：長谷川文代 発行：株式会社西文社			教材名 ^{15.}	^{17.} オリジナル教材		
設備名・機器名		教材投影用プロジェクター・PC（教員用）			関連サイト	参考となる引用、関連するページタイトル/URL		
関連前科目		^{18.} 該当なし			関連後科目 ^{19.}	インターンシップⅡ		
^{20.} 授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回		インターンシップとは	インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。 インターンシップの意味やメリットを理解し、各自の意志を明確にすることができる				ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー	
第2回		心を伝えるコミュニケーション・スキル	インターンシップを成功するために必要とされるマナーや仕事をする上で必要なスキルを学ぶ ビジネスマナーと身だしなみ、挨拶、ホウレンソウなどを体得する				ワークで学ぶインターンシップ・	
第3回		業種や職種を調べる	業種や職種に関して隔たりなく調べることで、学生の職業観を正しく導き出すことができる 業種や職種をピックアップすることで業界を深く理解することができる				ワークで学ぶインターンシップ・	
第4回		直前にすべきこと・インターンシップ中に気をつけること	実習日誌の書き方、インターンシップに関する再確認、インターンシップに気をつけること これまで学んだことを振り返ることで、インターンシップへの動機付けを理解する				ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー	
第5回		実務研修	受入れ事業所で就業体験（実習日誌） 実際の職場で、高度な知識や技術に触れながら実務能力を高めていくことができる				ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー	
第6回								
第7回								
第8回								
第9回								
第10回								
第11回								
第12回								
第13回								
第14回								
第15回								
第16回								
第17回								
第18回								
第19回		事後研修・インターンシップ報告会	インターンシップを通じて得た知見や経験を受講者全員で共有化することを目的に体験報告を行なう。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。また、体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する。				ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー	
第20回								
第21回								
第22回								
第23回								
第24回								
第25回		事後研修・インターンシップ報告会	インターンシップを通じて得た知見や経験を受講者全員で共有化することを目的に体験報告を行なう。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。また、体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する。				ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー	
第26回								
第27回								
第28回								
第29回								
第30回								
^{21.} 成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
①課題レポート (提出物:事前の連絡や正当な理由がなく提出期限を過ぎて提出された場合は2点減点 提出されなかった場合、あるいは提出期限を5日間過ぎて提出された場合は3点減点) ②プレゼンテーション インターンシップ活動の成果を各自、発表する。 (点数配分:減点式で100点法、60点以上で合格とする、時間配分:1人10分以内) ③授業態度 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする” ④演習 インターンシップ先担当者により評価								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							なし	秀（S）：100点～90点
②確認テスト							なし	優（A）： 89点～80点
③課題レポート			1位				10	良（B）： 79点～70点
④授業態度				2位	1位		10	可（D）： 69点～60点
⑤演習		2位		1位			50	不可（E）:59点以下
⑥発表			2位	1位			20	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	村瀬 孝	シラバス承認者		授業担当教員	國定 章子・村瀬 孝			

2025年度 シラバス

シラバス作成日	更新日	シラバス作成者	実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/	
更新履歴					
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.}	4 インターシップⅡ		学科名 ^{4.2.} (コース名)	4.5. プライダルホテル科 ^{6.}			学年 ^{4.}	31学年 ^{4.}
授業形態 ^{4.}	実習	学期	後期	開講年月 ^{5.}	10月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし	
教育課程区分 ^{7.}	必修 ^{4.}	単位数 ^{8.}	2	時間数 ^{9.}	60	該当資格名称 ^{10.}	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11. プライダル業界研究で得た知識をもとにインターンシップ依頼、インターンシップリテラシーを学び、事前準備学習を行う。インターンシップを通じて得た経験を体験報告をレポートにまとめ、報告書を作成する。 ^{8.}						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12. 1. 自らの専攻やキャリアに関連した就業体験によって高い職業意識を育成する 2. 実社会に触れる事によって学習意欲を向上させる ^{9.} 3. 人間性を高め、基本的な生活習慣を身に付ける						
受講条件		13. YIC京都ビューティ専門学校プライダルホテル科に在籍していること。 ^{12.}						
教科書名		14. ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー 著者：長谷川文代 発行：株式会社西文社 ^{16.}			教材名 ^{15.}	オリジナル教材 ^{17.}		
設備名・機器名		教材投影用プロジェクター・PC (教員用)			関連サイト	参考となる引用、関連するページタイトル/URL		
関連前科目		18. 1 該当なし ^{14.}			関連後科目 ^{19.}	インターンシップⅡ		
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ^{20.}								
回(コマ)	開講日	1 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回		インターンシップとは		インターンシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。 インターンシップの意味やメリットを理解し、各自の意志を明確にすることができる				ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー
第2回		心を伝えるコミュニケーション・スキル		インターンシップを成功するために必要とされるマナーや仕事をする上で必要なスキルを学ぶ ビジネスマナーと身だしなみ、挨拶、ホウレンソウなどを体得する				ワークで学ぶインターンシップ・
第3回		業種や職種を調べる		業種や職種に関して隔たりなく調べることで、学生の職業観を正しく導き出すことができる。 業種や職種をピックアップすることで業界を深く理解することができる				ワークで学ぶインターンシップ・
第4回		直前にすべきこと・インターンシップ中に気をつけること		実習日誌の書き方、インターンシップに関する再確認、インターンシップに気をつけること これまで学んだことを振り返ることで、インターンシップへの動機付けを理解する				ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー
第5回		実務研修 ^{2.}		受入れ事業所で就業体験 (実習日誌) 実際の職場で、高度な知識や技術に触れながら実務能力を高めていくことができる ^{23.}				ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー+L18:M35 ^{24.}
第6回								
第7回								
第8回								
第9回								
第10回								
第11回								
第12回								
第13回								
第14回								
第15回		事後研修・インターンシップ報告会		インターンシップを通じて得た知見や経験を受講者全員で共有化することを目的に体験報告を行なう。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。また、体験報告をレポートにまとめ、インターンシップ報告書を作成する。				ワークで学ぶインターンシップ・リテラシー
第16回								
第17回								
第18回								
第19回								
第20回								
第21回								
第22回								
第23回								
第24回								
第25回								
第26回								
第27回								
第28回								
第29回								
第30回								
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}								
①課題レポート (提出物:事前の連絡や正当な理由がなく提出期限を過ぎて提出された場合は2点減点 提出されなかった場合、あるいは提出期限を5日間過ぎて提出された場合は3点減点) ②プレゼンテーション インターンシップ活動の成果を各自、発表する。 (点数配分:減点式で100点法、60点以上で合格とする、時間配分:1人10分以内) ③授業態度 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする” ④演習 インターンシップ先担当者により評価								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							なし	秀(S):100点~90点
②確認テスト							なし	優(A):89点~80点
③課題レポート			1位				10	良(B):79点~70点
④授業態度				2位	1位		10	可(D):69点~60点
⑤演習		2位		1位			50	不可(E):59点以下
⑥発表			2位	1位			20	

上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。					不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	村瀬 孝	シラバス承認者		授業担当教員	國定 章子・村瀬 孝	
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/	
更新履歴						
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1						
改2						
改3						
改4						
改5						

2025年度 シラバス

科目名 ^{1.}	色彩学Ⅰ ⁴		学科名 ^{4.2.} (コース名)	ブライダルホテル科 ^{4.5.}			学年 ^{4.}	3 ³ 学年 ^{4.}
授業形態 ^{4.}	講義 ⁴	学期	後期	開講年月 ^{5.}	10月	該当資格区分 ^{6.}	民間検定	
教育課程区分 ^{7.}	必修 ⁴	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	日本カラリスト協会 パーソナルカラリスト検定3級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 当該科目では色彩検定（パーソナルカラリスト検定）3級合格対策を通し色彩に関する基礎知識から応用技術までを体系的に教授する。 四季や日本文化に根付く色彩感覚をはじめ、生活空間・ファッション・ブライダルシーンにおける色の役割について理解を深め、配色の基本原理や心理的効果について実践的に色彩学の基本から応用に至るまでの知識を習得し、実践的な配色技法を教授する。 12. パーソナルカラーの基礎を学び、個人に適した色選びができる力を養う。 現場では、色彩を理論的に理解し、豊かな表現力を持って活用できる人材を目指す。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	色彩に関する基礎知識（色の種類・仕組み・三属性）を理解し、生活やファッション、ブライダル分野での色彩活用力を身につける。 CUS表色系やアンダートーン理論、パーソナルカラーの知識を基に、実践的な配色提案ができる力を養い、パーソナルカラリスト検定3級合格を目指す。 現場では、色彩を理論的に理解し、豊かな表現力を持って活用できる人材を目指す。							
受講条件	13. YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること ^{12.}							
教科書名	14. パーソナルカラリスト検定3級公式テキスト 16. 著者：一般社団法人日本カラリスト協会（JAPCA）監修 発行：株式会社JAPCAセンター				教材名 ^{15.}	17. オリジナルプリント 配色カード		
設備名・機器名	実習機器名・実験機器名・素材名・動物名など				関連サイト	https://colorist.or.jp/color-sheme/ 一般社団法人日本カラリスト協会		
関連前科目	18. 該当なし ^{14.}				関連後科目 ^{19.}	色彩学Ⅱ		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ^{20.}								
回(コマ)	開講日	1 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	9月29日	1 オリエンテーション 色彩学とは		色彩学を学ぶ意義について 色彩学を学ぶ目的と重要性を理解し、興味を持つことができる。				パーソナルカラリスト検定3級 公式テキスト 配色カード
第2回	10月6日	四季の自然を表わす色		春／夏／秋／冬に関わる色について 季節ごとの代表的な色を知り、四季のイメージを色で表現できる。				パーソナルカラリスト検定4級 公式テキスト 配色カード
第3回	10月20日	日本の色の歴史		特徴的な伝統色 日本の伝統色について歴史的背景と特徴を説明できる。				パーソナルカラリスト検定5級 公式テキスト 配色カード
第4回	10月27日	色と生活		周りを取り巻く様々な色、衣食住 衣・食・住に関わる色の役割を理解し、身近な例を挙げて説明できる。				パーソナルカラリスト検定6級 公式テキスト 配色カード
第5回	11月10日	色の種類		赤・橙・黄・緑・青・紫・白黒・グレー系統 色の系統(赤・橙・黄・緑・青・紫・白・黒・灰)を分類し、特徴を説明できる。				パーソナルカラリスト検定7級 公式テキスト 配色カード
第6回	11月17日	色の仕組み		物体色と光源色、無彩色と有彩色 色の見え方のしくみ(物体色と光源色、有彩色と無彩色)を理解できる。				パーソナルカラリスト検定8級 公式テキスト 配色カード
第7回	12月8日	CUS表色系		カラーアンダートーンシステム CUS表色系の基本構造を理解し、配色に応用できる。				パーソナルカラリスト検定9級 公式テキスト 配色カード
第8回	12月15日	色の三属性と対比現象		明度・彩度・色相 明度・彩度・色相を区別し、色同士の見え方の違いを説明できる。				パーソナルカラリスト検定10級 公式テキスト 配色カード
第9回	12月22日	色の感情効果		明度・彩度・色相に関する心理効果 色が人に与える感情的・心理的影響を具体例を交えて説明できる。				パーソナルカラリスト検定11級 公式テキスト 配色カード
第10回	1月19日	cus配色効果		アンダートーンとは アンダートーン理論を理解し、配色に応用する基礎を身につける。				パーソナルカラリスト検定12級 公式テキスト 配色カード
第11回	1月26日	ファッション概論		基本的な配色テクニック ファッションにおける基本的な配色テクニックを理解し提案できる。				パーソナルカラリスト検定13級 公式テキスト 配色カード
第12回	2月2日	ブライダルと色彩		ウェディングと配色調和 ウェディングにふさわしい配色の考え方を理解し提案できる。				パーソナルカラリスト検定14級 公式テキスト 配色カード
第13回	2月9日	パーソナルカラー		肌色のしくみ パーソナルカラーの概念を理解し、肌色との関係を説明できる。				パーソナルカラリスト検定15級 公式テキスト 配色カード
第14回	2月16日	パーソナルカラーの特徴		人の特徴によるアンダートーン パーソナルカラー 個人に合った色を見極める基本的な視点と方法を身につける。				パーソナルカラリスト検定16級 公式テキスト 配色カード
第15回	調整中	2 期末テスト 3級対策		授業第1回～15回の内容で成績判定試験の実施 色彩学Ⅱ試験、質疑応答授業内容の理解度を確認し、色彩学Ⅱの知識を総合的に活用できるようにする。 質疑応答を通じて、疑問点を解消し、実践的な色彩知識を確実に定着させる。				オリジナル試験問題
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}								
①成績判定試験（期末） 形式：選択問題、設問数50問（1問2点、満点100点） 時間配分50分 【配分：60％】 ②課題提出 提出期日までに未提出につきー2点 【配分：30％】 ③授業態度 1コマ欠席につきー1点、授業中に2回注意を受けた場合ー3点 【配分：10％】 上記の総合得点で60点以上を合格とする。 上記評価項目の各点数を下表の評価配分率にて按分し、総合点60点以上を合格とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト							なし	優（A）：89点～80点

2025年度 シラバス

③課題レポート			2位	1位		30	良（B）： 79点～70点 可（D）： 69点～60点 不可（E）:59点以下	
④授業態度			2位	1位		10		
⑤作品						なし		
⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者		授業担当教員	亀田 純代	
				実務経験紹介		

更新履歴

シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.1}	色彩学Ⅱ ⁴		学科名 ^{4.2} (コース名)	ブライダルホテル科 ^{4.5}			学年 ⁴	2学年 ^{4.1}
授業形態 ^{4.1}	講義	学期	前期	開講年月 ⁵	4月	該当資格区分 ⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷	必修 ⁴	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	配色検定2級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11 当該科目では色彩に関する基本的なことを学習し人の心理面にどのような働きかけをするのかを知り効果的に使用していく。色の分類・効果・演出と体系的に教授する。色彩学の基本から応用に至るまでの知識を習得し、実践的な配色技法を学びます。色彩学を基盤にした配色技術や空間演出スキルを習得し、ブライダルホテル業界でのテーブルや衣裳の演出、深い空間演出の実務に活かす。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12 テキストやカラーチャートなどを使用して色彩の分類・効果的な選択ができるようになる。パーソナルカラー分析を行い目安として配色検定2級を受験する。さらにブライダルにおいて会場やテーブル・衣裳などの選択の選択の感性を磨く。色彩学を基盤にした配色技術や空間演出スキルを習得し、ブライダルホテル業界でのテーブルや衣裳の演出、深い空間演出の実務に活かす。							
受講条件	13 YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること							
教科書名	14 色彩配色テキストⅡ 著者：一般社団法人日本カラリスト協会（JAPCA）監修 発行：株式会社JAPCAセンター				教材名	オリジナルプリント 配色カード Ohuhuマーカーペン80色		
設備名・機器名	15 実習機器名・実験機器名・素材名・動物名など				関連サイト	1 https://colorist.or.jp/color-sheme/ 一般社団法人日本カラリスト協会		
関連前科目	18 1 色彩学Ⅰ				関連後科目	19 ブライダルプロデュースⅡ		
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 20.								
回(コマ)	開講日	1 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月16日	1 色彩学Ⅰの復習		19 色彩学とは、CUSとは 色彩学の基本概念を再確認し、CUS(カラーアンダートーンシステム)の基礎知識を理解する。				オリジナルプリント 配色カード Ohuhuマーカーペン80色
第2回	4月23日	配色 Basic①		色相配色(同系・類系・反対) 色相配色(同系・類系・反対)の基本を理解し、適切な色相による配色ができるようになる。				オリジナルプリント 配色カード Ohuhuマーカーペン80色
第3回	5月7日	配色 Basic②		色調配色(同系・類系・反対) 色調配色(同系・類系・反対)を理解し、色調による配色ができるようになる。				オリジナルプリント 配色カード Ohuhuマーカーペン80色
第4回	5月14日	配色 Advance①		色相色調配色(2色・3色) 色相と色調を組み合わせた配色(2色・3色)を学び、より洗練されたカラープランニングを行う。				オリジナルプリント 配色カード Ohuhuマーカーペン80色
第5回	5月21日	配色 Advance②		色相色調配色(4色・5色) 4色・5色の組み合わせによる配色技法を習得し、多色使いのバランス感覚を養う。				オリジナルプリント 配色カード Ohuhuマーカーペン80色
第6回	5月28日	配色 Advance③		色相色調配色(6色) 6色の配色技法を理解し、複雑なカラーパターンをデザインに活かせるようになる。				オリジナルプリント 配色カード Ohuhuマーカーペン80色
第7回	6月4日	配色 Advance④		アンダートーン配色 アンダートーン配色を理解し、色のアンダートーン効果や微妙なニュアンスを表現できるようになる。				オリジナルプリント 配色カード Ohuhuマーカーペン80色
第8回	6月11日	配色のテクニック		グラデーション・コントラスト・アクセント・リズム・バランス グラデーション・コントラスト・アクセント・リズム・バランスなどの配色テクニックを習得する。				オリジナルプリント 配色カード Ohuhuマーカーペン80色
第9回	6月18日	イメージと配色		色とことばとイメージ表現・配色 色と言葉の関係を学び、色彩を使った感情やイメージ表現を深める。				オリジナルプリント 配色カード Ohuhuマーカーペン80色
第10回	6月25日	プロデュース①		お互いを分析し配色提案 お互いを分析し、それぞれに合った配色を提案することで、パーソナルカラーやイメージカラーの理解を深める。				オリジナルプリント 配色カード Ohuhuマーカーペン80色
第11回	7月2日	プロデュース②		相手から出されたテーマに沿った配色を提案 相手から提示されたテーマに沿って適切な配色を提案する実践的スキルを習得する。				オリジナルプリント 配色カード Ohuhuマーカーペン80色
第12回	7月9日	トータルイメージ①		空間配色・演出 空間配色や演出を学び、インテリアやイベント装飾に応用できる力をつける。				オリジナルプリント 配色カード Ohuhuマーカーペン80色
第13回	7月16日	トータルイメージ②		人と空間の配色・演出(テーブル・ドレスでの演出)① テーブルやドレスの演出を考慮し、人と空間の配色技法を学ぶ。 (第1回目)。				オリジナルプリント 配色カード Ohuhuマーカーペン80色
第14回	7月23日	トータルイメージ③		人と空間の配色・演出(テーブル・ドレスでの演出)② 人と空間の配色演出をさらに深め、ブライダルやイベントシーンでの実践力を高める。 (第2回目)。				オリジナルプリント 配色カード Ohuhuマーカーペン80色
第15回	9月15日	期末テスト		授業第1回～15回の内容で成績判定試験の実施 色彩学Ⅱ試験、質疑応答 授業内容の理解度を確認し、色彩学Ⅱの知識を総合的に活用できるようにする。 質疑応答を通じて、疑問点を解消し、実践的な色彩知識を確実に定着させる。				オリジナル試験問題
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.								
①成績判定試験（期末） 【配分：60％】 形式：選択問題、設問数50問（1問2点、満点100点） 時間配分50分								
②課題提出 提出期日までに未提出につき－2点 【配分：30％】 ③授業態度 1コマ欠席につき－1点、授業中に2回注意を受けた場合－3点 【配分：10％】 上記の総合得点で60点以上を合格とする。 上記評価項目の各点数を下表の評価配分％にて按分し、総合点60点以上を合格とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				60	秀（S）：100点～90点
②確認テスト							なし	優（A）：89点～80点
③課題レポート				2位	1位		30	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		10	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者		授業担当教員	亀田 純代			
				実務経験紹介				
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者	Check者(確認者)	
改1								

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.}	⁴ ブライダルヘアメイク		学科名 ^{4.2.} (コース名)	^{4.5.} ブライダルホテル科 ^{6.}			学年 ^{4.3.} 2学年 ^{4.}
授業形態 ^{4.}	実習	学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし
教育課程区分 ^{7.}	必修 ⁴	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	該当なし
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	婚礼における洋装と和装の際のメイクの違いについて学び、また限られた時間内でいかにアレンジの幅を広げることができるかを教授する。 ヘアメイク技術を中心に、和装と洋装のメイクや衣装チェンジ、クイックチェンジ技術、ショー用のヘアメイクアレンジなど、ブライダル業界に必要な実践的なスキルを学びます。相モデルを使用した実習を通じて、柔軟な対応力、コミュニケーション能力、デザイン力を養い、実際の現場で活かせる技術を身につける。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	ブライダルにおけるヘア・メイクなどの知識や技術を習得する。 相モデルを使用した実習を通じて、柔軟な対応力、コミュニケーション能力、デザイン力を養い、実際の現場で活かせる技術を身につける						
受講条件	YJC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること						
教科書名	教科書名/著者名/出版元/発行日/改版/関連頁など				教材名 ^{15.}	教科書以外に使用する参考書、市版本、オリジナルPowerPointなどのタイトル名/著者名/発行元/発行日/改版/関連頁など	
設備名・機器名	実習機器名・実験機器名・素材名・動物名など				関連サイト ^{17.}	参考となる引用、関連するページタイトル/URL	
関連前科目	この科目を履修する前提として必要な科目				関連後科目 ^{19.}	この科目の修了を前提としている科目	
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ^{20.}							
回(コマ)	開講日	¹ 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材
第1回	4月14日	¹ 授業準備・基礎確認		授業に必要なアイテムチェック・技術チェック・相モデルで骨格やパーツなどの補正 授業に必要なアイテムを確認し、準備を整える 骨格やパーツの補正技術を理解し、相モデルで適切に調整できるようになる			該当なし
第2回	4月21日	フルメイク実践（基礎）		相モデル30分フルメイク カウンセリングとアップスタイル2パターン 30分以内にフルメイクを完成させる カウンセリングを通じて、相手の要望に沿ったメイクを提案できる アップスタイルの異なる2パターンを仕上げる技術を身につける			該当なし
第3回	4月28日	和装と洋装のメイクの違い		相モデル30分フルメイク 和装と洋装のメイクの違い 和装と洋装それぞれに適したメイクの特徴を理解する 相モデルに実践し、仕上りの違いを明確に表現できる			該当なし
第4回	5月12日	オーダーメイク実践① (ヘア変更)		相モデルで、前回は違うヘアで、オーダー通りにヘアメイクを仕上げる 異なる相モデルとヘアを組み、オーダー通りにヘアメイクを仕上げる 柔軟な対応力とコミュニケーション能力を養う			該当なし
第5回	5月19日	オーダーメイク実践②（和装）		相モデルで、前回は違うヘアで和装のオーダー通りにヘアメイクを仕上げる アテンドの知識を学ぶ 和装のオーダーに沿ったヘアメイクを正確に再現できる 和装特有のメイク技術とヘアスタイルリングを身につける アテンドの知識を理解し、実践に活かせるようになる			該当なし ^{20.}
第6回	5月26日	洋装から和装への ヘアメイク&衣装チェンジ		洋装から和装へのヘアメイクチェンジと衣装チェンジについて 洋装から和装に適したヘアメイクハスムーズに変更できるようになる 衣装チェンジの流れを理解し、適切にサポートできる			該当なし
第7回	6月2日	クイックチェンジ実践① (洋装→和装)		相モデルで、洋装→和装のヘアメイクのクイックチェンジを行う 短時間で洋装から和装のヘアメイクに変更する技術を習得する 時間内にクイックチェンジを完成させるスピードと正確性を養う			該当なし
第8回	6月9日	和装内での ヘアメイク&衣装チェンジ		和装から和装へのヘアメイクチェンジと衣装チェンジについて 和装の中でのヘアメイクチェンジの違いを理解し、適切に対応できるようになる 衣装チェンジに合わせたメイク調整をスムーズに行えるようになる			該当なし
第9回	6月16日	クイックチェンジ実践② (和装→洋装)		相モデルで、和装→洋装のヘアメイクのクイックチェンジを行う 短時間で和装から洋装のヘアメイクに変更する技術を習得する 迅速かつ的確に衣装チェンジをサポートできるようになる			該当なし
第10回	6月23日	衣装フィッティング &コーディネート		衣装の似合わせとフィッティング 顔立ちや骨格に合った衣装選びができるようになる フィッティングの基本を理解し、衣装調整を適切に行えるようになる			該当なし
第11回	6月30日	ショー用ヘアメイクアレンジ		ショー用ヘアメイクアレンジ① ショーに適したヘアメイクのデザインを考案し、実践できる 華やかさや演出効果を意識したヘアメイク技術を身につける			該当なし
第12回	7月7日	ショー用ヘアメイクアレンジ		ショー用ヘアメイクアレンジ① ショーのコンセプトに沿ったヘアメイクを仕上げられる ①で学んだ技術を応用し、より完成度の高いアレンジを行う			該当なし
第13回	7月14日	試験対策準備（デザイン考案）		相モデルの試験対策準備：衣装とヘアメイクデザインを考える 試験で求められるヘアメイクデザインを計画し、実践に備える 衣装とヘアメイクのバランスを考えたデザインを作成できるようになる			該当なし
第14回	9月1日	作品制作（実践①）		作品制作（相モデルで） オリジナル作品を制作し、仕上りのクオリティを高める 学んだ技術を活かし、完成度の高いヘアメイクを表現できるようになる			該当なし
第15回	9月8日	² 作品制作（実践②）		作品制作（相モデルで） 作品制作を通して、独自のスタイルや技術を確立する プレゼンテーションを意識したヘアメイクの仕上げ方を習得する			該当なし
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}							
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上 作品内容、準備姿勢、出席点を換算して総合評価を行う。 担当教員の判定に沿って評価する。							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験							70
②確認テスト			2位				15
③課題レポート							なし
④授業態度			2位	1位			15
⑤作品		1位	2位	1位			なし
⑥演習		1位		1位			なし
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位〜降順。							不合格の場合
補修、追試の有無等							
シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	田村 綾加	
					実務経験紹介		

更新履歴

2025年度 シラバス

科目名 ^{1.}	⁴ メイクアップ基礎		学科名 ^{4.2.} (コース名)	^{4.5.} ブライダルホテル科 ^{6.}			学年 ^{4.3.}	^{4.} 1学年
授業形態 ^{4.}	実習	学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	民間検定	
教育課程区分 ^{7.}	必修 ⁴	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	日本メイクアップ技術検定3級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	^{11.} JMA検定テキストに沿い、就職活動や現場に出た際にお客様に好印象を与えるセルフメイクのテクニックを教授する。 技術の他、道具の扱い方の知識はもちろん、セルフメイクに限らず、相モデルに対してのメイクテクニックを教授する。 ブライダルや美容、接客業などの現場において、自信を持ってメイク対応ができる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	^{12.} 日本メイクアップ技術検定3級の取得を目指す スキンケア～ベースメイクのテクニックを習得する セルフメイク、相モデルメイクができる ^{9.} ブライダルや美容業界などの現場において、お客様に合わせた的確なメイク提案や対応ができる人材を育成する。							
受講条件	^{13.} YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること ^{12.}							
教科書名 ^{14.}	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級改訂版 一般社団法人JMA日本メイクアップ技術検定協会				教材名 ^{15.}	YICメイクオリジナル教材		
設備名・機器名 ^{16.}	該当なし				関連サイト ^{17.}	一般社団法人JMA日本メイクアップ技術検定協会 https://www.jma-makeup.or.jp/		
関連前科目 ^{18.}	該当なし ^{14.}				関連後科目 ^{19.}	該当なし		

回(コマ)	開講日	¹ 授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	4月17日	¹ オリエンテーション	授業の注意事項 道具の点検 授業の目標 セッティング 身だしなみ 授業の進め方や注意事項を理解する 必要な道具の確認と正しい使い方を把握する 授業で求められる身だしなみやセッティングを適切に整えられる	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級改訂版 YICメイクオリジナル教材
第2回	4月24日	道具の置き方 ポイントクレンジング	道具セッティング ポイントクレンジング練習 メイク道具の正しい配置方法を理解し、準備がスムーズにできる ポイントクレンジングの基本技術を習得し、適切に実践できる	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級改訂版 YICメイクオリジナル教材
第3回	5月8日	全体クレンジング～乳液	ポイントクレンジング復習 全体クレンジング～乳液 ポイントクレンジングの復習を行い、確実に実践できるようになる 全体クレンジングと乳液の塗布方法を理解し、肌を整えられる	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級改訂版 YICメイクオリジナル教材
第4回	5月15日	スキンケア通し練習	スキンケア通し ベースメイク理論 スキンケアの一連の流れを通して実践できる ベースメイク理論を理解し、適切なスキンケアができる	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級改訂版 YICメイクオリジナル教材
第5回	5月22日	ベースメイク実習	コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラー・フェイスパウダー コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラー・フェイスパウダーの役割を理解する 自然な仕上がりのベースメイクを実践できる	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級改訂版 YICメイクオリジナル教材
第6回	5月29日	チーク ローライト ハイライト	チーク ローライト ハイライト実習 チーク、ローライト、ハイライトの役割と入れ方を理解する 顔立ちに合った立体感を演出できるメイクを習得する	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級改訂版 YICメイクオリジナル教材
第7回	6月5日	マッサージ・3級通し	コットンパック 乳液マッサージ 3級通し コットンパックや乳液マッサージの手順を理解し、適切に実践できる 日本メイクアップ技術検定3級試験の一連の流れを把握する	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級改訂版 YICメイクオリジナル教材
第8回	6月12日	タイム計測 チークのバリエーション	3級通し チークのバリエーションについて 3級試験の流れを時間内に取めることができるようになる チークのバリエーションを学び、適切な色選びと塗り方を実践できる	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級改訂版 YICメイクオリジナル教材
第9回	6月19日	タイム計測 アイブロウ基礎 アイメイク基礎 リップ	3級通し アイブロウについて アイメイク・リップ基礎(模擬試験) 級試験の内容をさらにスムーズに進められるようになる アイブロウ、アイメイク、リップの基本を理解し、バランスよく仕上げられる	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級改訂版 YICメイクオリジナル教材
第10回	6月26日	日本メイクアップ技術検定 3級試験	日本メイクアップ技術検定3級試験 3級試験の技術を本番環境で発揮し、合格を目指す	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級改訂版 YICメイクオリジナル教材
第11回	7月3日	プランナーメイク	セルフにてプランナーヘアメイク ブライダルプランナーに適したヘアメイクをセルフで仕上げられる	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級改訂版 YICメイクオリジナル教材
第12回	7月10日	リクルートメイク	リクルートメイク、クラス内での相モデルレッスンにて実習 就職活動に適したナチュラルかつ好印象なメイクを学ぶ 相モデルレッスンを通じて、客観的にメイク技術を確認する	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級改訂版 YICメイクオリジナル教材
第13回	7月17日	期末レッスン	就活メイクを相モデルでポイント練習 プランナーメイク相モデル 就活メイクを相モデルで実践し、ポイントを押さえた仕上がりを目指す プランナーメイクの技術をさらに向上させる	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級改訂版 YICメイクオリジナル教材
第14回	7月24日	学期末試験	ブライダル業界にあわせたメイク プランナーメイクヘア ブライダル業界にふさわしいメイク技術を試験で発揮する プランナーメイクとヘアの仕上りを完成度高くまとめる	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級改訂版 YICメイクオリジナル教材
第15回	9月4日	² オンデマンド締め切り日	プランナー就活メイク(スーツ、夜会巻き、セルフメイク) プランナーとしての就活メイクをセルフで完成させる(スーツ・夜会巻き含む) これまで学んだメイク技術を総合的に活用できるようになる	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級改訂版 YICメイクオリジナル教材

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」^{23.}における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」^{24.}の評価等は別に定める。^{21.}

単位認定 総合成績60点、出席率80%以上
成績点70%、提出物&授業態度点20%、出席点10%を換算して総合評価を行う。^{21.}

↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験	1位	2位				70	秀(S):100点～90点
②確認テスト	2位	2位				15	優(A):89点～80点
③課題レポート						なし	良(B):79点～70点
④授業態度			2位	1位		15	可(D):69点～60点
⑤作品						なし	不可(E):59点以下
⑥プレゼンテーション						なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	フルネームを記載	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	フルネームを記載
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載

更新履歴					
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)	
改1					
改2					
改3					

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.1.}	メイクセラピー ^{4.}		学科名 ^{4.2.} (コース名)	ブライダルホテル科 ^{4.5.}		学年 ^{4.3.}	2学年 ^{4.4.}
授業形態 ^{4.}	講義実習	学期	後期	開講年月 ^{5.}	9月	該当資格区分 ^{6.}	民間検定
教育課程区分 ^{7.}	必修	単位数 ^{8.}	2	時間数 ^{9.}	60	該当資格名称 ^{10.}	メイクセラピー検定2級
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		化粧療法の領域における援助法の一つとして、心理的な援助活動に必要な「心理学」「コミュニケーション」メイクアップに必要な「メイク理論」「色彩学」及びメイクセラピーの概念を教授する 当該内容は現場での印象管理、販売、接客の際に役立つ					
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		当該科目の教育課程における位置づけは学則上の卒業要件をであるとともに、将来卒業後に必要な知識・技術を習得する科目。 メイクセラピー検定2級合格相当の知識を身に付ける。 会話をしながら、クライアントのオーダーに伴った印象にメイクアップができる					
受講条件		Y I C 京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に1年以上在籍のこと					
教科書名		メイクセラピー検定2級対策			教材名 ^{15.}	オリジナルPowerPoint/オリジナルプリント	
設備名・機器名		投影用プロジェクター/講師用PC			関連サイト ^{17.}	メイクセラピー検定ホームページ https://www.maketherapy.com/	
関連前科目		メイクセラピー基礎			関連後科目 ^{19.}	メイクセラピーⅡ	
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ^{20.}							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材
第1回		オリエンテーション		授業の目標・目的、成績評価について理解する			メイクセラピー検定2級対策
第2回		メイクセラピー的心理学1		精神分析と無意識について理解する			メイクセラピー検定2級対策
第3回		メイクセラピー的心理学2		論理療法、交流分析について理解する			メイクセラピー検定2級対策
第4回		メイク実習1		キャリア系or癒し系の印象にメイクすることができる			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第5回		化粧心理学1		化粧の歴史、役割、印象分析について理解する			メイクセラピー検定2級対策
第6回		メイク実習2		遠心メイク、求心メイクについて理解する			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第7回		化粧心理学2		承認欲求について理解する			メイクセラピー検定2級対策
第8回		メイク実習3		知的で大人っぽく仕事ができる印象に半顔メイクができる			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第9回		カウンセリング概論		クライアントとの接し方について理解する			メイクセラピー検定2級対策
第10回		メイク実習4		上品で優しく女性らしい印象に半顔メイクができる			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第11回		印象分析		印象分析、パーツバランスについて理解する			メイクセラピー検定2級対策
第12回		メイク実習5		明るく健康的で元気な印象に半顔メイクができる			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第13回		メイクアップに必要な3要素		色彩、コスメティックスの質感が与える印象について理解する			メイクセラピー検定2級対策
第14回		メイク実習6		華やかでエレガントな印象に半顔メイクができる			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第15回		2級試験対策1		論述問題の出題傾向を把握する			メイクセラピー検定2級対策
第16回		2級試験対策2		2級試験課題が4時間内に施術することができる			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第17回		2級試験対策3		論述問題の出題傾向を把握する			メイクセラピー検定2級対策
第18回		2級試験対策4		2級試験課題が4時間内に施術することができる			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第19回		2級試験対策5		筆記試験の出題傾向を把握することができる			メイクセラピー検定2級対策
第20回		2級試験対策6		苦手オーダーの課題が克服することができる			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第21回		2級試験対策7		筆記試験の出題傾向を把握することができる（第19回の課題点の改善）			メイクセラピー検定2級対策
第22回		2級試験対策8		苦手オーダーの課題が克服することができる（第20回の課題点の改善）			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第23回		2級試験対策9		筆記試験の出題傾向を把握することができる（第21回の課題点の改善）			
第24回		2級試験対策10		苦手オーダーの課題が克服することができる（第22回の課題点の改善）			メイク道具一式
第25回		模擬試験1		2級試験通し（筆記試験）			メイク道具一式
第26回		模擬試験2		2級試験通し（実技試験）			メイク道具一式
第27回		メイクセラピー検定試験1		メイクセラピー検定2級試験実施（筆記試験）			メイクセラピー検定2級対策
第28回		メイクセラピー検定試験2		メイクセラピー検定2級試験実施（実技試験）			メイクセラピー検定2級対策 メイク道具一式
第29回		成績判定試験1		成績判定試験：筆記試験（選択問題、記述問題、論述問題）			
第30回		成績判定試験2		成績判定試験：実技試験 会話をしながらオーダーに伴ったメイクアップ半顔にできる			
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}							
出席率80%以上及び ①成績判定試験（選択問題・記述式問題） 記述式問題 授業内で出てきたワード（専門用語）とそれに伴う活用場面について記述すること ②確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度 提出物及び授業への出席状況の評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験		1位	2位				70
②確認テスト		2位	2位				20
③課題レポート							なし
④授業態度				2位	1位		10
⑤作品							なし
							秀（S）：100点～90点 優（A）：89点～80点 良（B）：79点～70点 可（D）：69点～60点 不可（E）：59点以下

⑥プレゼンテーション						なし		
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	福本真弓	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	福本真弓			
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.}	⁴ ヘアアレンジ		学科名 ^{4.2.} (コース名)	^{4.5.} ブライダルホテル科 ^{6.}			学年 ^{4.3.}	^{4.} 1学年
授業形態 ^{4.}	実習	学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし	
教育課程区分 ^{7.}	必修 ⁴	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	^{11.} 就職活動や就職後に役立つ為、自身の夜会巻やシニヨン等を短時間で美しく仕上げるように教授する。 ^{7.} また、新婦様のヘアスタイルについていくつかのパターンを習得しご提案可能となるよう技術を教授。(ウィッグ使用の実技中心とする) ^{4.} 自分でデザインしたスタイルを表現できる応用力を養い、ブライダルや美容の現場で即戦力として活躍できる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	^{12.} 就職活動から卒業後の現場でのセルフヘアセット技術の習得。及び、新婦ヘアスタイルの基本を習得。 ⁹ ヘアアレンジに必要な基礎知識と技術を習得し、セルフでの夜会巻きやアップスタイル、編み込み、巻き髪などの基本技術を身につけることを目指す。 ^{4.} さらに、自分でデザインしたスタイルを表現できる応用力を養い、ブライダルや美容の現場で即戦力として活躍できる技術を身につける。							
受講条件	¹³ YJC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること ^{12.}							
教科書名 ^{14.}	該当なし				教材名 ^{15.}	オリジナルプリント		
設備名・機器名 ^{14.}	¹⁶ ¹ ウィッグ・ヘアアレンジ用道具				関連サイト ^{17.}	該当なし		
関連前科目 ¹⁸	¹ 該当なし ^{14.}				関連後科目 ¹⁹	ブライダルヘアメイク セレモニープロデュースⅠ		
^{20.} 授業計画(授業コマ単位) 学科 ¹ : 15コマ以上単位、実習・演習: 30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	¹ 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回	4月17日	¹ 基礎知識・夜会巻き ^{4.} デモンストレーション		美容器具の名称や使い方の講義 ウィッグを使った夜会巻きのデモンストレーションを見学し、工程とポイントを理解する 美容器具の名称と使い方を理解し、夜会巻きの構造・工程を視覚的に理解できる。			ウィッグ・ヘアアレンジ用道具	
第2回	4月24日	夜会巻き		夜会巻きをウィッグで練習 セルフ夜会巻き練習			ウィッグ・ヘアアレンジ用道具	
第3回	5月9日	セルフ夜会巻き①		セルフ夜会巻きの練習			ウィッグ・ヘアアレンジ用道具	
第4回	5月9日	ブロッキング アレンジ練習		ブロッキングの説明 ウィッグを使ったアレンジ練習 みつあみ・あみこみ・サイドツイスト			ウィッグ・ヘアアレンジ用道具	
第5回	5月16日	セルフ夜会巻き②		セルフ夜会巻き練習			ウィッグ・ヘアアレンジ用道具	
第6回	5月16日	アレンジ練習 ローボニー		ウィッグを使ったアレンジ練習(ローボニー) ツイスト・あみこみ・ゴム隠し			ウィッグ・ヘアアレンジ用道具	
第7回	5月30日	セルフ夜会巻き③ 確認テスト		セルフ夜会巻き練習			ウィッグ・ヘアアレンジ用道具	
第8回	5月30日	アレンジ練習 ハーフアップ		ウィッグを使用したアレンジ練習(ハーフアップ) ツイスト・あみこみ・コテ使用			ウィッグ・ヘアアレンジ用道具	
第9回	6月13日	セルフ夜会巻き④		セルフ夜会巻き練習			ウィッグ・ヘアアレンジ用道具	
第10回	6月13日	アレンジ練習 あみおろし		ウィッグを使用したアレンジ練習(あみおろし) 相モデル練習			ウィッグ・ヘアアレンジ用道具	
第11回	6月27日	セルフ夜会巻き⑤		セルフ夜会巻き練習			ウィッグ・ヘアアレンジ用道具	
第12回	6月27日	アレンジ練習 デザイン		ウィッグを使用したアレンジ練習(自分でデザインしてアレンジ) 相モデル練習			ウィッグ・ヘアアレンジ用道具	
第13回	7月4日	期末テストの課題発表		セルフ夜会巻き練習 確認テスト 成績判定試験課題発表			ウィッグ・ヘアアレンジ用道具	
第14回	7月11日	期末テスト課題練習		成績判定試験課の課題練習			ウィッグ・ヘアアレンジ用道具	
第15回	7月11日	² 期末テスト		成績判定試験課の課題練習 成績判定試験			ウィッグ・ヘアアレンジ用道具	
^{21.} 成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」 ²³ における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{24.}								
^{21.} ①成績判定試験 【配分：70％】 形式：実技 仕上りの美しさ30点満点、バランス30点満点、技術力40点満点 時間配分40分 ②確認テスト実施 【配分：20％】 形式：実技 各セクションの確認 仕上りの美しさ30点満点、バランス30点満点、技術力40点満点 時間配分20分 ③授業態度 1コマ欠席につき－1点、 【配分：10％】 上記の総合得点で60点以上を合格とする。 上記評価項目の各点数を下表の評価配分％にて按分し、総合点60点以上を合格とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分％	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀(S)：100点～90点
②確認テスト		2位	2位				15	優(A)：89点～80点
③課題レポート							なし	良(B)：79点～70点
④授業態度				2位	1位		15	可(D)：69点～60点
⑤作品							なし	不可(E)：59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者		國定 章子	シラバス承認者				授業担当教員 井澤 文恵 実務経験紹介	
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.1.}	4.2. ビジネス基礎Ⅰ			学科名 ^{4.2.} (コース名)	4.5. プライダルホテル科 ^{6.}		学年 ^{4.3.}	1学年 ^{4.4.}
授業形態 ^{4.4.}	講義	学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	民間検定	
教育課程区分 ^{7.}	必修 ^{4.}	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	秘書検定3級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 当該科目では、秘書検定3級の学習を通して、会社の仕組みや社会人として必要なビジネスマナー・基本知識を学びます。 具体的には、秘書としての心構えや職務知識、電話応対、来客対応、ビジネス文書の作成方法などを教授する。 実務に役立つスキルを身につけることが目的です。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. 会社とはどのような組織か、そこで行われている仕事とはどのような内容かを理解する。 社会人として必要な基礎的ビジネスマナーと常識を理解し、秘書業務 ^{9.} における基本的な役割・心構え・実務スキル（文書作成・電話応対・来客対応・スケジュール管理など）を身につけることで、現場で即戦力として行動できる力を養う。							
受講条件	13. YIC京都ビューティ専門学校プライダルホテル科に在籍していること ^{12.}							
教科書名	14. 秘書検定パーフェクトマスター3級 改訂版 秘書検定 実問題集3級2025年度版 実技技能検定協会（編）				教材名 ^{15.}	オリジナルプリント ^{17.}		
設備名・機器名	教材投影用プロジェクター・PC（教員用）				関連サイト	公益財団法人 実務技能検定協会 https://jitsumu-ginou-kentei.jp/		
関連前科目	18. 該当なし ^{14.}				関連後科目 ^{19.}	ビジネス基礎Ⅱ		
授業計画（授業コマ単位） 学科：15コマ以上単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ^{20.}								
回(コマ)	開講日	1 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月14日	1 検定の概要 ^{19.}		授業の進め方 検定概要の確認 授業の進行方法を理解し、学習計画を把握する 秘書検定の概要や試験範囲を理解する 秘書として求められる基礎的な役割を認識する				秘書検定パーフェクトマスター3級 改訂版 秘書検定実問題集3級2025年度版
		必要とされる資質 秘書の心構え 必要な条件		秘書業務の心構え・身だしなみ・第一印象 心遣い、守秘義務、社内連絡、社外連絡 秘書に必要なプロ意識や心遣いの重要性を理解する 第一印象を良くするための身だしなみを整えられるようになる 守秘義務や適切な社内外の連絡方法を理解する				秘書検定パーフェクトマスター3級 改訂版 秘書検定実問題集3級2025年度版
第3回	4月28日	職務知識 秘書の役割と機能 職務		秘書の分類 心構え 定型業務 秘書の役割や種類（個人秘書、グループ秘書など）を理解する 定型業務（スケジュール管理、文書作成、来客対応など）を把握し、実務に活かせるようになる				秘書検定パーフェクトマスター3級 改訂版 秘書検定実問題集3級2025年度版
第4回	5月12日	一般知識 企業の基礎知識		企業の目的 会社の形態と会社の種類 組織と機能 経営管理 企業の目的や社会的役割を理解する 会社の形態（株式会社、合同会社など）と組織の仕組みを把握する 経営管理の基本的な考え方を学び、秘書業務への応用を考える				秘書検定パーフェクトマスター3級 改訂版 秘書検定実問題集3級2025年度版
第5回	5月19日	企業の組織と活動		人事 労務 会計 財務 マーケティング 企業内の人事・労務管理の役割を理解する 会計・財務の基本知識を学び、秘書としてのサポートができるようになる マーケティングの基礎を理解し、会社の戦略をサポートできるようになる				秘書検定パーフェクトマスター3級 改訂版 秘書検定実問題集3級2025年度版
第6回	5月26日	社会常識		基礎用語 上位s機としての片仮名語 ビジネスシーンで頻出する基礎用語を理解する カタカナ語や専門用語の意味を把握し、適切に活用できるようになる				秘書検定パーフェクトマスター3級 改訂版 秘書検定実問題集3級2025年度版
第7回	6月2日	人間関係と話し方		人間関係と話し方 人間関係の重要性 挨拶 話し方と人間関係 良好な人間関係を築くためのコミュニケーションスキルを学ぶ 適切な挨拶や話し方のポイントを理解し、実践できるようになる				秘書検定パーフェクトマスター3級 改訂版 秘書検定実問題集3級2025年度版
第8回	6月9日	話し方聞き方の応用		話し方聞き方の応用 情報伝達の仕方 報告の仕方 ビジネスにおける適切な話し方・聞き方のスキルを身につける 正確な情報伝達や適切な報告の仕方を理解し、業務に活かせるようになる				秘書検定パーフェクトマスター3級 改訂版 秘書検定実問題集3級2025年度版
第9回	6月16日	電話応対		電話応対 電話のマナーと話し方の注意点 電話応対の基本マナーを理解し、適切な対応ができるようになる 話し方の注意点を学び、明確かつ丁寧な対応ができるようになる				秘書検定パーフェクトマスター3級 改訂版 秘書検定実問題集3級2025年度版
第10回	6月23日	接遇		接遇の心構え アポイント調整 受付マナー 案内マナー 来客対応や受付業務の基本マナーを身につける アポイントの調整方法を理解し、適切なスケジュール管理ができるようになる				秘書検定パーフェクトマスター3級 改訂版 秘書検定実問題集3級2025年度版
第11回	6月30日	交際		慶事の知識とマナー 食事のマナー 慶事（結婚、昇進、贈答など）に関する基本的なマナーを学ぶ ビジネスシーンでの食事マナーを理解し、実践できるようになる				秘書検定パーフェクトマスター3級 改訂版 秘書検定実問題集3級2025年度版
第12回	7月7日	会議と秘書		会議の目的と種類 会議の種類 会議の目的や種類（定例会議、報告会、戦略会議など）を理解する 会議の準備や進行サポートが適切にできるようになる				秘書検定パーフェクトマスター3級 改訂版 秘書検定実問題集3級2025年度版
第13回	7月14日	ビジネス文書と秘書		社内文書の基礎知識 種類と形式 慣用表現 文書管理 社内文書（報告書、議事録、メールなど）の種類と作成方法を理解する 文書管理の重要性を学び、正しく整理・管理できるようになる				秘書検定パーフェクトマスター3級 改訂版 秘書検定実問題集3級2025年度版
第14回	9月1日	資料管理		ファイリングの基礎知識 名刺の整理 日程管理 ファイリングの基礎知識を理解し、効率的に書類を整理できるようになる 名刺の整理方法を学び、適切に管理できるようになる スケジュール管理の基本を理解し、適切な調整ができるようになる				秘書検定パーフェクトマスター3級 改訂版 秘書検定実問題集3級2025年度版
第15回	9月8日 ²	期末試験 日程管理 オフィス管理		授業第1回～15回の内容で成績判定試験の実施 日程管理と予定表 予定表の作成 予定表の作成方法を学び、スケジュール管理を適切に行えるようになる 上司や関係者のスケジュールを整理し、最適な管理方法を実践できるようになる				秘書検定パーフェクトマスター3級 改訂版 秘書検定実問題集3級2025年度版
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」 ^{23.} における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{24.}								
①成績判定試験【配分70%】 ②授業態度【配分20%】 提出物、授業態度点 ③出席点【配分10%】 総合点で60点以上を合格とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		2位	2位				10	優（A）：89点～80点
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		10	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）:59点以下
⑥出席点				1位	2位		10	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	城戸 さち子		
					実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載		
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者	Check者(確認者)	

2025年度 シラバス

科目名		ビジネス基礎Ⅱ		学科名 (コース名)	ブライダルホテル科		学年	1学年
授業形態		講義	学期	後期	開講年月	10月	該当資格区分	民間検定
教育課程区分		必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	秘書検定2級
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		会社とはどのような組織か、そこで行われている仕事とはどのような内容かを学ぶ。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		秘書検定2級（1月受験）の合格。ビジネスパーソンとしての最低限のマナーを身に付ける。						
受講条件		YJ〔京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること						
教科書名		秘書検定パーフェクトマスター2級 改訂版 秘書検定 実問題集3級2025年度版 実技異能検定協会（編）				教材名	オリジナルプリント	
設備名・機器名		教材投影用プロジェクター・PC（教員用）				関連サイト	公益財団法人 実務技能検定協会 https://jitsumu-ginou-kentei.jp/	
関連前科目		ビジネス基礎Ⅰ				関連後科目	該当なし	
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	1 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	9月29日	3級試験範囲の復習①		3級試験範囲の復習 秘書検定3級の試験範囲を終復習し、知識の定着を図る 弱点分野を把握し、重点的に学習できるようにする				秘書検定パーフェクトマスター2級 改訂版 秘書検定 実問題集2級2025年度版
第2回	10月6日	3級試験範囲の復習②		3級試験範囲の復習 秘書検定3級の重要ポイントを再確認し、試験対策を強化する 実践的な問題演習を通して、試験本番に向けた準備を整える				秘書検定パーフェクトマスター2級 改訂版 秘書検定 実問題集2級2026年度版
第3回	10月20日	模擬試験実施		過去問の実施 過去問題を実施し、本番試験に近い環境で実力を確認する 時間配分や解答テクニックを意識しながら解答できるようにする				秘書検定パーフェクトマスター2級 改訂版 秘書検定 実問題集2級2027年度版
第4回	10月27日	必要とされる資質		秘書の心構え 秘書に必要な条件 秘書として求められる心構えを理解し、業務に活かせるようにする 秘書に必要な条件(信頼性、機密保持、コミュニケーション能力など)を学ぶ				秘書検定パーフェクトマスター2級 改訂版 秘書検定 実問題集2級2028年度版
第5回	11月10日	職務知識		秘書の役割と機能 秘書の職務 秘書の役割と機能を理解し、業務の流れを把握する 実際の職務に即した業務内容について学び、対応できるようにする				秘書検定パーフェクトマスター2級 改訂版 秘書検定 実問題集2級2029年度版
第6回	11月17日	一般知識 企業と経営		資本と経営 企業の組織形態 経営管理 企業の資本と経営の関係について理解する 企業の組織形態や経営管理の基本を学ぶ				秘書検定パーフェクトマスター2級 改訂版 秘書検定 実問題集2級2030年度版
第7回	12月8日	一般知識 企業の活動		人事労務 会計財務 手形小切手 税務 生産管理 企業活動の基礎知識(人事労務・会計財務・税務など)を理解する 手形や小切手の基礎知識を学び、実務に役立てる				秘書検定パーフェクトマスター2級 改訂版 秘書検定 実問題集2級2031年度版
第8回	12月15日	社会常識		情報処理とニューメディア 常識としての基礎用語略語カタカナ語 情報処理やニューメディアの基礎知識を理解する 一般常識として必要な略語・カタカナ語を学ぶ				秘書検定パーフェクトマスター2級 改訂版 秘書検定 実問題集2級2032年度版
第9回	12月22日	マナー 接遇		人間関係と話し方・聞き方 基礎応用 人間関係を円滑にする話し方・聞き方の基礎を理解する 秘書として適切な応対マナーを身につけて、実践できるようにする				秘書検定パーフェクトマスター2級 改訂版 秘書検定 実問題集2級2033年度版
第10回	1月19日	電話応対と接遇 交際		電話応対の基本 接遇用語の使い方 慶事の対応 パーティー等の知識 電話応対の基本と、適切な接遇用語の使い方を習得する 慶事・パーティーなどのフォーマルな場面での対応を学ぶ				秘書検定パーフェクトマスター2級 改訂版 秘書検定 実問題集2級2034年度版
第11回	1月26日	会議と秘書		会議の知識 準備設営 会議中の秘書の仕事 会議の種類と目的を理解し、秘書の役割を把握する 会議の準備・設営・進行補助の具体的な方法を学ぶ				秘書検定パーフェクトマスター2級 改訂版 秘書検定 実問題集2級2035年度版
第12回	2月13日	ビジネス文書の作成 文書の取り扱い		社内文書の種類と形式 社交文書 ビジネス文書の慣用句 メモの取り方 社内文書・社交文書・ビジネス文書の種類と書き方を理解する メモの取り方やビジネス文書の慣用表現を習得する				秘書検定パーフェクトマスター2級 改訂版 秘書検定 実問題集2級2036年度版
第13回	2月15日	文書 資料管理		ファイリングの基本 保管方法 名刺の整理 情報収集と管理 ファイリングの基本と保管方法を学ぶ 名刺の整理方法や情報収集・管理の方法を理解する				秘書検定パーフェクトマスター2級 改訂版 秘書検定 実問題集2級2037年度版
第14回	2月16日	日程管理とオフィス管理		予定表の種類と記入要項 事務用品の種類 予定表の種類と記入要領を理解し、適切な日程管理ができるようになる 事務用品の種類と適切な管理方法を学ぶ				秘書検定パーフェクトマスター2級 改訂版 秘書検定 実問題集2級2038年度版
第15回	○月○日	期末試験 模擬試験の実施 ※15回目 検定前に1コマ調整		授業第1回～15回の内容で成績判定試験の実施 秘書検定2級の過去問実施 秘書検定2級の過去問題を解き、実力を確認する 総合的な理解度を評価し、弱点補強を行う				オリジナル試験問題
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
①成績判定試験【配分70%】 ②授業態度【配分20%】 提出物、授業態度点 ③出席点【配分10%】 総合点で60点以上を合格とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト		2位	2位				15	優（A）：89点～80点
③課題レポート							なし	良（B）：79点～70点
④授業態度				2位	1位		15	可（D）：69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）：59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	國定 章子		シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	城戸 さち子	
					実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載		
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.}	硬筆書写Ⅰ ⁴	学科名 ^{4.2.} (コース名)	ブライダルホテル科 ^{4.5.}			6.		学年 ^{4.}	1学年 ^{4.}
授業形態 ^{4.}	講義	学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	民間検定 ^{4.}		
教育課程区分 ^{7.}	必修	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	硬筆書写検定3級		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		硬筆書写3級検定試験合格を通して、ブライダル業界に必要な美しい手書き文字を教授する。また、就職活動時に正しい字で履歴書が書けるよう教授する。 現場では、お客様への手紙や商談のメモ等、字で信頼していただくよう技術や知識をもって書くことができる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		硬筆書写3級検定試験合格を通して、社会人として恥ずかしくない字が書ける。 美しい文字を書くための基礎を習得し、正しい書式に基づいた文書作成能力を身につけることで、就職活動や実務で活用できる実践的なスキルを養う。 現場では「手書きの美しさ」が顧客に与える印象を大きく左右するため、これらの力が実務で発揮できる							
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること ^{12.}							
教科書名 ^{14.}		硬筆書写技能検定 3級合格のポイント (令和7年度版) 発行者：稲崎一郎 発行所：株式会社日本習字普及協会			教材名 ^{15.}	ペン習字ハンドブック B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン・油性マジック・定規・シャーペン・消しゴム			
設備名・機器名		ホワイトボード			関連サイト				
関連前科目		該当なし			関連後科目	硬筆書写Ⅱ			
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 ^{20.}									
回(コマ)	開講日	1 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材		
第1回	4月14日	オリエンテーション 文字の基礎・基本 ①		美しい文字を書く基本を学ぶ。 用具、テキスト、ドリルの活用方法、学習計画が理解できる 美しい文字を書くための基礎を理解し、学習計画を立てることができる。			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン		
第2回	4月21日	文字の基礎・基本 ②		楷書について 楷書の基本的な書き方を理解し、安定した文字を書くことができる。			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン		
第3回	4月28日	文字の基礎・基本 ③		平仮名・片仮名について① 平仮名・片仮名の成り立ちと基本的な書き方を理解し、正しく書くことができる。			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン		
第4回	5月12日	文字の基礎・基本 ④		平仮名・片仮名について② 平仮名・片仮名の成り立ちと基本的な書き方を理解し、正しく書くことができる。			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン		
第5回	5月19日	文字の基礎・基本 ⑤		速書き・横書きの書き方 速書きと横書きの基本を学び、適切な筆圧とリズムで書くことができる。			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン		
第6回	5月26日	文字の基礎・基本 ⑥		行書について 行書の特徴と書き方を理解し、流れるような文字を書くことができる。			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン		
第7回	6月2日	実践演習 ①		縦書き・葉書宛名書きの書き方 行書の特徴と書き方を理解し、流れるような文字を書くことができる。			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン		
第8回	6月9日	実践演習 ②		縦書き・葉書宛名書きの書き方 縦書きの基本と葉書の宛名書きのルールを理解し、正式な書式で書くことができる。			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン		
第9回	6月16日	硬筆書写 3級検定試験		検定試験			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン		
第10回	6月23日	添え状・履歴書 お礼状の作成 ①		就職活動・インターンシップに向けた実践演習 履歴書やお礼状の書き方を理解し、就職活動に活かせる実践的な文書を書けるようになる。			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン		
第11回	7月7日	添え状・履歴書 お礼状の作成 ②		就職活動・インターンシップに向けた実践演習 履歴書やお礼状の書き方を理解し、就職活動に活かせる実践的な文書を書けるようになる。			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン		
第12回	7月14日	添え状・履歴書 お礼状の作成 ③		就職活動・インターンシップに向けた実践演習 履歴書やお礼状の書き方を理解し、就職活動に活かせる実践的な文書を書けるようになる。			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン		
第13回	7月7日	添え状・履歴書 お礼状の作成 ④		就職活動・インターンシップに向けた実践演習 履歴書やお礼状の書き方を理解し、就職活動に活かせる実践的な文書を書けるようになる。			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン		
第14回	7月14日	総復習		授業で学んだことに対する総復習 これまでの学習内容を総復習し、実践で活かせるレベルまで仕上げる。			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン		
第15回	9月1日	前期期末試験		授業第1回～15回の内容で成績判定試験の実施 前期の学習成果を確認し、オリジナル試験問題を通じて実力を測る。			オリジナル試験問題		
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}									
①成績判定試験【配分40%】 形式：記述問題 1～3問(各20点 計60点) 4～5問(各10点 計20点) 6～8問(設問数20 各1点 計20点) 時間配分60分 100点満点を40点に換算									
②検定結果【配分40%】 6月に受験する書写検定3級の合格結果 合格 100点 実技または理論のみ合格 50点 時間配分70分 100点満点を40点に換算									
③授業態度【配分20%】 1コマ欠席 -2 遅刻 -1 授業中に2回注意を受けた時 -3 総合点で60点以上を合格とする。									
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験		1位	2位				70	秀 (S)	
②確認テスト		2位	2位				15	優 (A)	
③課題レポート							なし	良 (B)	
④授業態度				2位	1位		15	可 (C)	
⑤作品							なし	不可 (D)	
⑥プレゼンテーション							なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等	
シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	上川 華生				
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載				
更新履歴									
シラバス更新履歴		更新理由			更新箇所		作成者	Check者(確認者)	
改1									
改2									
改3									
改4									

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.}	⁴ 硬筆書写 I		学科名 ^{4.2.} (コース名)	^{4.5.} プライダルホテル科 ^{6.}			学年 ^{4.3.} 1学年 ^{4.}
授業形態 ^{4.}	講義	学期	後期	開講年月 ^{5.}	10月	該当資格区分 ^{6.}	^{4.} 民間検定
教育課程区分 ^{7.}	必修 ^{4.}	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	硬筆書写検定準2級
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		硬筆書写3級検定試験合格を通して、プライダル業界で必要な美しい手書き文字を教授する。また、就職活動時に正しい字で履歴書が書けるよう教授する。現場では、お客様への手紙や商談のメモ等、字で信頼していただくよう技術や知識をもって書くことができる。					
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		硬筆書写3級検定試験合格を通して、社会人として恥ずかしくない字が書ける。美しい文字を書くための基礎を習得し、正しい書式に基づいた文書作成能力を身につけることで、就職活動や実務で活用できる実践的なスキルを養う。現場では「手書きの美しさ」が顧客に与える印象を大きく左右するため、これらの力が実務で発揮できる					
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校プライダルホテル科に在籍していること					
教科書名 ^{14.}		硬筆書写技能検定 3級合格のポイント (令和7年度版) 発行者：稲崎一郎 発行所：株式会社日本習字普及協会			教材名 ^{15.}		ペン習字ハンドブック B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン・油性マジック・定規・シャーペン・消しゴム
設備名・機器名		ホワイトボード			関連サイト ^{18.}		硬筆書写Ⅱ
関連前科目		該当なし			関連後科目		
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材
第1回	10月1日	オリエンテーション 速書き基礎		授業ガイダンスと速書き練習 一定の時間内に、一定の文章を美しく正しく書き終える事ができる			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン
第2回	10月8日	準2級横書き 横書きスタイル慣れる		横書きの基本練習 片仮名、数字、ローマ字が混ざっている60字ぐらいの文を、感じは楷書で、数字やローマ字は似合うもので横書きで書くことができる			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン
第3回	10月15日	準2級楷行書き分け 楷書と行書を美しく書くコツ		楷書・行書の使い分け練習 漢字の楷書と行書の基本を理解し書くことができる			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン
第4回	10月22日	準2級縦書き① 縦書きスタイルに慣れる		縦書き文の基礎練習① ボールペン・サインペンで45字ほどの漢字仮名交じり文を、行の幅1.7センチの縦けいのあるところに行書で書くことができる			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン
第5回	10月29日	準2級縦書き② 縦書きで魅せる文章表現		縦書き文の基礎練習② ボールペン・サインペンで45字ほどの漢字仮名交じり文を、行の幅1.7センチの縦けいのあるところに行書で書くことができる			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン
第6回	11月5日	揭示文① 揭示文レイアウトの基本		揭示文のレイアウト練習① 適当な大きさの字で位置や行間の空き等全体から見た構成に注意し、体裁よく揭示を書くことができる			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン
第7回	11月12日	揭示文② 揭示文レイアウトの応用		揭示文のレイアウト練習① 適当な大きさの字で位置や行間の空き等全体から見た構成に注意し、体裁よく揭示を書くことができる			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン
第8回	11月19日	草書を読む		草書の読み方練習 平易な草書対の漢字を読むことができる			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン
第9回	12月3日	葉書本文① 葉書の文章作成入門		葉書本文の作成① 葉書の本文を正しく書くことができる			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン
第10回	12月10日	葉書本文② 気持ちを伝える葉書表現		葉書本文の作成② 葉書の本文を正しく書くことができる			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン
第11回	12月17日	葉書本文③ 葉書文面の仕上げテクニック		葉書本文の仕上げ 葉書の本文を正しく書くことができる			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン
第12回	1月14日	総復習		全体の復習 授業で学んだことに対する総復習			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン
第13回	1月21日	模擬試験の実施		模擬試験実施 過去問の実施			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン
第14回	1月28日	検定		準2級検定実施			3級合格のポイント B 5サイズ無地レポート用紙 0.5ゲルインクボールペン
第15回	2月4日	前期期末試験		授業第1回～15回の内容で成績判定試験の実施 前期の学習成果を確認し、オリジナル試験問題を通じて実力を測る。			オリジナル試験問題
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							
①成績判定試験【配分40%】 形式：記述問題 1～3問(各20点 計60点) 4～5問(各10点 計20点) 6～8問(設問数20 各1点 計20点) 時間配分60分 100点満点を40点に換算							
②検定結果【配分40%】 6月に受験する書写検定3級の可否結果 合格 100点 実技または理論のみ合格 50点 時間配分70分 100点満点を40点に換算							
③授業態度【配分20%】 1コマ欠席 -2 遅刻 -1 授業中に2回注意を受けた時 -3 総合点で60点以上を合格とする。							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験		1位	2位				70
②確認テスト		2位	2位				15
③課題レポート							なし
④授業態度				2位	1位		15
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション							なし
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合
補修、追試の有無等							
シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	上川 華生		
				実務経験紹介			
更新履歴							
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者	Check者(確認者)
改1							

「YIC京都シラバス様式及び記載項目/相互確認項目」

様式第一版:2024.7.16^{1,3}YIC京都 校長¹

科目名 ^{4,1}		サービス接遇Ⅰ ⁴		学科名 ^{4,2} (コース名)		ブライダルホテル科 ^{4,5} 6.		学年 ⁴ 3. 1学年 ^{4,}								
授業形態 ^{4,}		講義		学期		前期		開講年月 ^{5,} 4月		該当資格区分 ^{6,} 民間検定						
教育課程区分 ⁷		必修 ^{8,}		単位数 ^{8,}		1		時間数 ^{9,} 30		該当資格名称 ^{9,10} サービス接遇検定3級・2級						
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11当該科目では、接客業における基本的なマナーやスキルを学び、特にブライダルホテル業界におけるサービス接遇の重要性を理解します。礼儀正しい対応や、身だしなみ、言葉遣い、表情、声のトーン、聴き手に配慮したコミュニケーション技術など、接客の基本を教授する。実際のサービスシーンを想定したロールプレイを通じて、実践的な接遇能力を高め、現場で役立てる「。														
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12サービス接遇の基本的なマナーと技術を習得し、特にブライダルホテル業界において顧客のニーズに応じた適切な対応ができるようになる。非言語コミュニケーションやクレーム対応を含む実践的な接遇スキルを身につけ、現場ではプロフェッショナルとして自信を持ってサービス提供ができる。														
受講条件		13YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること ^{12,}														
教科書名 ¹ 0 1		14サービス接遇検定3級公式テキスト サービス接遇検定実問題集3級 (第52回～第58回) 実技異能検定協会 (編)					教材名 ¹⁵		オリジナルプリント							
設備名・機器名		教材投影用 プロジェクター・PC (教員用)					関連サイト		公益財団法人 実務技能検定協会 https://jitsumu-ginou-kentei.jp/							
関連前科目		18 ¹ 該当なし ^{14,}					関連後科目 ¹⁹		サービス接遇Ⅱ							
授業計画 (授業コマ単位) 学科 ¹ : 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ^{20,}																
回(コマ)		開講日 ¹		授業コマの主題(タイトル)				各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材				
第1回 ^{20,}		4月14日		1オリエンテーション				19授業の進め方の説明と検定要項の確認 授業の進め方や学習計画を理解し、検定合格までの流れを把握する サービス接遇検定3級の試験要項・出題範囲を確認する				サービス接遇検定3級公式テキスト サービス接遇検定実問題集3級				
第2回		4月21日		サービススタッフの資質				必要とされる要件、従業員が理解できる サービス業務に必要なとされる要件 (ホスピタリティ精神・接客態度など)を理解する サービス業務に求められる従業員要件を把握し、実践に活かせるようになる				サービス接遇検定3級公式テキスト サービス接遇検定実問題集3級				
第3回		4月28日		専門知識				サービスの意義、機能、種類を理解する 商業用語、経済用語が理解できる サービスの意義、機能、種類について理解する 商業用語や経済用語を学び、サービス業務に活用できるようになる				サービス接遇検定3級公式テキスト サービス接遇検定実問題集3級				
第4回		5月12日		一般知識				社会常識、時事問題が理解できる ビジネスに必要な社会常識や時事問題について理解を深める サービス業務で求められる一般知識を整理し、実践的な場面で活用できるようになる				サービス接遇検定3級公式テキスト サービス接遇検定実問題集3級				
第5回		5月19日		対人技能基本				一般的な人間関係や対人心理、マナーが理解できる 対人関係における心理学的な側面を理解し、適切なコミュニケーションができるようになる サービス接遇の基本的なマナーを身につけ、実践できるようにする				サービス接遇検定3級公式テキスト サービス接遇検定実問題集3級				
第6回		5月26日		接遇用語基本				接遇用語を理解し基本的な話し方ができる 提示説明の仕方が理解できる 接遇用語を正しく理解し、サービス業務に適した話し方ができるようになる 提示や説明の仕方を学び、わかりやすい説明ができるようになる				サービス接遇検定3級公式テキスト サービス接遇検定実問題集3級				
第7回		6月2日		実務技能基本				問題処理、環境整備、金品管理について理解できる 問題処理、環境整備、金品管理の基本を理解する サービス業務で発生する問題に適切に対応できるようにする				サービス接遇検定3級公式テキスト サービス接遇検定実問題集3級				
第8回		6月9日		過去問題実施 模擬試験の実施				サービス接遇検定3級の過去問を実施 サービス接遇検定3級の過去問題を解き、試験形式に慣れる 模擬試験を通して自身の理解度を確認し、改善点を明確にする				サービス接遇検定3級公式テキスト サービス接遇検定実問題集3級 オリジナルプリント				
第9回		6月16日		サービススタッフの資質				必要とされる要件、従業員が備えており判断、表現ができる サービス業務に求められる資質を備え、適切な判断と表現ができるようになる				サービス接遇検定3級公式テキスト サービス接遇検定実問題集3級				
第10回		6月23日		専門知識				サービスの意義、機能、種類を理解する 商業用語、経済用語が理解できる サービスの意義、機能、種類について深く理解し、応用的な知識を身につける 商業用語や経済用語を適切に使いこなし、実践的に活用できるようになる				サービス接遇検定3級公式テキスト サービス接遇検定実問題集3級				
第11回		7月7日		一般知識				社会常識があり、時事問題が理解できる 社会常識や時事問題に関する知識をさらに深め、 ビジネスシーンで適切に活用できるようになる				サービス接遇検定3級公式テキスト サービス接遇検定実問題集3級				
第12回		7月14日		対人技能応用				一般的な人間関係や対人心理、マナーを理解し表現、実行することができる 対人心理やマナーを理解し、適切な行動を取れるようになる 良好な人間関係を築くためのコミュニケーションスキルを向上させる				サービス接遇検定3級公式テキスト サービス接遇検定実問題集3級				
第13回		7月7日		接遇用語応用				接遇用語を知っており接遇者としての話し方ができる 提示説明ができる 接遇用語を適切に使いこなし、プロフェッショナルな話し方ができるようになる 提示や説明の仕方を実践し、わかりやすく伝えられるようになる				サービス接遇検定3級公式テキスト サービス接遇検定実問題集3級				
第14回		7月14日		実務技能応用				問題処理、環境整備、金品管理について理解し、対処ができる 問題処理、環境整備、金品管理に関する実践的な知識を身につける 業務で発生する問題に冷静かつ適切に対処できるようになる				サービス接遇検定3級公式テキスト サービス接遇検定実問題集3級				
第15回		9月1日		2 期末試験の実施				授業第1回～15回の内容で成績判定試験の実施 これまでの学習成果を確認し、総合的な理解度を評価する 試験を通して自身の強みと改善点を明確にし、今後の学習に活かす				サービス接遇検定3級公式テキスト サービス接遇検定実問題集3級				
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21,}																
①成績判定試験【配分70%】 ②授業態度【配分20%】 提出物、授業態度点 ③出席点【配分10%】 総合点で60点以上を合格とする。 ^{21,}																
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度		技能・表現		評価配分%		成績評価基準		
①成績判定試験		1位		2位								70		秀 (S) : 100点～90点		
②確認テスト		2位		2位								10		優 (A) : 89点～80点		
③課題レポート												なし		良 (B) : 79点～70点		
④授業態度						2位		1位				10		可 (D) : 69点～60点		
⑤作品												なし		不可 (E) : 59点以下		
⑥出席点						1位		2位				10				
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。												不合格の場合		補修、追試の有無等		
シラバス作成者		國定 章子		シラバス承認者		フルネームを記載		授業担当教員		城戸 さち子						
								実務経験紹介								
更新履歴																
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所				作成者		Check者(確認者)						

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.1.}	サービス接客Ⅱ ^{4.}		学科名 ^{4.2.} (コース名)	ブライダルホテル科 ^{4.5.} ^{6.}			学年 ^{4.3.}	1学年 ^{4.}
授業形態 ^{4.}	講義 ^{5.}	学期 ^{7.}	後期 ^{8.}	開講年月 ^{5.}	10月 ^{9.}	該当資格区分 ^{6.}	民間検定 ^{10.}	
教育課程区分 ^{7.}	必修 ^{6.}	単位数 ^{8.}	1 ^{5.}	時間数 ^{9.}	30 ^{4.}	該当資格名称 ^{10.}	サービス接客検定2級・準1級	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 当該科目では、接客業における基本的なマナーやスキルを学び、特にブライダルホテル業界におけるサービス接客の重要性を理解します。礼儀正しい対応や、身だしなみ、言葉遣い、表情、声のトーン、聞き手に配慮したコミュニケーション技術など、接客の基本を教授する。実際のサービスシーンを想定したロールプレイを通じて、実践的な接客能力を高め、現場で役立てる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. サービス接客の基本的なマナーと技術を習得し、特にブライダルホテル業界において顧客のニーズに応じた適切な対応ができるようになる。非言語コミュニケーションやクレーム対応を含む実践的な接客スキルを身につけ、現場ではプロフェッショナルとして自信を持ってサービス提供ができる。							
受講条件	13. YJC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること ^{12.}							
教科書名 ^{1.}	14. サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集1-2級(第52回～第58回) 実技異能検定協会(編) ^{16.}				教材名 ^{15.}	オリジナルプリント ^{17.}		
設備名・機器名 ^{1.}	教材投影用プロジェクター・PC(教員用) ^{1.}				関連サイト	公益財団法人 実務技能検定協会 https://jitsumu-ginou-kentei.jp/		
関連前科目 ^{18.}	サービス接客Ⅰ ^{14.}				関連後科目 ^{19.}	該当なし		

授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	1 授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	10月2日	授業ガイダンスとサービス接客検定とは	授業の進め方の説明と検定要項の確認 授業全体の進め方を理解し、サービス接客検定の概要と目的を説明できる。	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集1-2級 (第52回～第58回)
第2回	10月9日	言葉遣いと所作の基本① ～接客者の第一歩～	接客者としての基本言動(言葉使い、所作)ができる 正しい言葉遣いと基本的な所作を理解し、実践できる。	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集1-2級 (第52回～第58回)
第3回	10月16日	言葉遣いと所作の基本② ～実践で身につける～	接客者としての基本言動(言葉使い、所作)ができる 言葉遣いや所作を場面に応じて使い分けられるようになる。	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集1-2級 (第52回～第58回)
第4回	10月23日	基本応対スキルを磨く① ～「おもてなし」の形～	接客者としての基本応対ができる 基本的な応対(挨拶、案内、受け答え)が自然にできるようになる。	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集1-2級 (第52回～第58回)
第5回	10月30日	基本応対スキルを磨く② ～状況に合わせた応対～	接客者としての基本応対ができる 状況に応じた応対(困ったとき、クレーム時など)ができる。	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集1-2級 (第52回～第58回)
第6回	11月6日	対応力アップトレーニング① ～応じ方の工夫～	接客者としての基本応対ができる 相手のニーズに応じた柔軟な応対ができる。	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集1-2級 (第52回～第58回)
第7回	11月13日	対応力アップトレーニング② ～信頼される応対～	接客者としての基本応対ができる 信頼感を与える接客マナー(表情、声のトーン、姿勢)を身につける。	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集1-2級 (第52回～第58回)
第8回	11月20日	模擬面接チャレンジ① ～自己表現の第一歩～	模擬面接実施 面接形式で自分の考えや接客スキルを表現できる。	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集1-2級 (第52回～第58回)
第9回	12月4日	模擬面接チャレンジ② ～さらに伝える力を高める～	模擬面接実施 面接のフィードバックを受け、よりの確に自己表現できるようになる。	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集1-2級 (第52回～第58回)
第10回	12月11日	2級対策集中講座① ～試験範囲の攻略～	2級試験範囲復習 サービス接客検定2級の試験範囲を理解し、問題に取り組める。	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集1-2級 (第52回～第58回)
第11回	12月18日	2級対策集中講座② ～弱点を克服する～	2級試験範囲復習 自分の弱点を把握し、克服するための具体的な対策を立てられる。	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集1-2級 (第52回～第58回)
第12回	1月15日	模擬試験① ～本番に向けた実戦練習～	検定試験直前対策、2級合格のポイントを押さえる 本番形式の模擬試験に取り組み、時間配分と解答スキルを確認できる。	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集1-2級 (第52回～第58回)
第13回	1月22日	模擬試験② ～精度を高める総仕上げ～	検定試験直前対策、2級合格のポイントを押さえる 模擬試験での課題を修正し、正確かつ迅速な対応を目指す。	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集1-2級 (第52回～第58回)
第14回	1月29日	答え合わせ&復習 ～成功のカギを見つけよう～	2級試験範囲復習 模擬試験の結果を分析し、最終調整を行うことができる。	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集1-2級 (第52回～第58回)
第15回	2月5日	2 期末試験の実施	授業第1回～15回の内容で成績判定試験の実施 サービス接客の知識・技術を総合的に活用し、実践力を証明できる。	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集1-2級 (第52回～第58回)

成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

①成績判定試験【配分70%】 ②授業態度【配分20%】 提出物、授業態度点 ③出席点【配分10%】 総合点で60点以上を合格とする。							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験		1位	2位				70
②確認テスト		2位	2位				15
③課題レポート							なし
④授業態度				2位	1位		15
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション							なし
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合
							補修、追試の有無等

シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者	授業担当教員	城戸 さち子
			実務経験紹介	

シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)
改1				
改2				
改3				
改4				
改5				

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.1.}	プレゼンテーション・ディベート学Ⅱ		学科名 ^{4.2.} (コース名)	4.5. プライダルホテル科			6. 学年	7.2学年	4.3.
授業形態 ^{4.}	講義	学期	後期	開講年月 ^{5.}	10月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし		
教育課程区分 ^{7.}	必修	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	該当なし		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 当該科目では、プレゼンテーションの基礎理論から実践までを体系的に教授する。プレゼンテーションの定義や種類、目的の理解を深めた後、聴衆に伝わる話し方や表現方法を教授する。また、実際にスピーチやディスカッションを行い、後半はディベートを通じて論理的な思考力・対話力を養成します。 現場で、自作のプレゼンテーションを自信を持って発表できる力を身につけます。								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. プレゼンテーションの基本概念と役割を理解できる。 聴衆分析に基づく効果的な話し方・表現方法を身につけることができる。 自分の意見をわかりやすく伝え、他者と建設的に議論できる。 9. 現場では、自作プレゼンテーションを自信を持って実施できる。								
受講条件	13. YIC京都ビューティ専門学校プライダルホテル科に在籍していること								
教科書名	14. 社会人基準講座シリーズ3 説明・提案、説得のワーク プレゼンテーションの基礎 発行者：古谷 治 2017年5月1日第1版第2刷				教材名 ^{15.}	オリジナルプリント オリジナルパワーポイント			
設備名・機器名	16. 教材投影用プロジェクター・PC (教員用)				関連サイト ^{17.}				
関連前科目	18. 該当なし		14.		15.		関連後科目 ^{19.}	プレゼンテーションⅡ	

授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位

回(コマ)	開講日	1 授業コマの主題(タイトル)	各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標	使用教科書・教材
第1回	9月29日	プレゼンテーションとは	プレゼンテーションの種類を定義について プレゼンテーションの種類や定義を理解し、基本的なイメージを持つことができる。	社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎
第2回	10月6日	コミュニケーションとプレゼンテーション	コミュニケーションとプレゼンテーションの違いについて コミュニケーションとプレゼンテーションの違いを理解し、場面に応じた使い分けができる。	社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎
第3回	10月20日	プレゼンテーションの目的	紹介のプレゼンテーション プレゼンテーションの目的を理解し、紹介プレゼンテーションの基本形を作成できる。	社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎
第4回	10月27日	プレゼンテーション準備と流れ1	聞き手の分析や目的の明確化 聞き手を分析し、プレゼンテーションの目的を明確に設定できる。	社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎
第5回	11月10日	プレゼンテーション準備と流れ2	プラン作成やツールについて プレゼンテーション計画 (プラン作成・ツール選定) を立てられるようになる。	社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎
第6回	11月17日	聴衆に好感を持たれる話し方の基本	聴衆に好感を持たれる話し方の基本を学ぶ 聴衆に好感を持たれる話し方の基本を理解し、実践できる。	社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎
第7回	12月8日	バーバル表現	聴衆に好感を持たれる態度、演出法 バーバル表現 (言語表現) に注意し、説得力のある話し方ができる。	社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎
第8回	12月15日	ノンバーバル表現	聴衆に好感を持たれる態度、演出法 ノンバーバル表現 (非言語表現) を意識して、態度・演出を工夫できる。	社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎
第9回	12月22日	身近なプレゼンテーション	スピーチ・フリートーク 身近なテーマについてスピーチ・フリートークができるようになる。	社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎
第10回	1月19日	ディベート理論	インタビューをしてみよう インタビュー形式で相手から情報を引き出す会話ができる。	社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎
第11回	1月26日	ディベート理論	会議と司会をしてみよう 会議・司会進行を通して、議論を円滑に進める方法を身につける。	社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎
第12回	2月2日	ディベート理論	学校生活について話してみよう 自分の学校生活に関する意見をまとめ、他者に伝えられる。	社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎
第13回	2月9日	ディベート理論	グループワーク グループワークで意見を出し合い、ディスカッションを成立させることができる。	社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎
第14回	2月16日	発表に向けてのリハーサル		社会人基準講座シリーズ3 説明・提案・説得のワーク プレゼンテーションの基礎
第15回		プレゼンテーション発表と振り返り	自作のアイテムを自信を持ってプレゼンし、評価を通して自己表現力を高める。	

成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。

【プレゼンテーション】 【作品】 各学生が構成した商品プランを作成した資料、アイテムを効果的に使用し、説得力(メリット・効果)、対応力(顧客ニーズ)、表現力(オリジナリティ)などの提案力をプレゼンテーション実技にて評価する。 【課題レポート】 【授業態度】 授業毎の要点に対しての理解度をレポート提出にて評価する。他学生のプレゼンテーション実技中において、聞き手としての態度、質問、合評レポート提出にて評価する。 【欠席】成績評価点から(欠席回数×7%)を減算							
↓判定方法\該当する観点→	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験						なし	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト						なし	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート	1位	2位				10	良 (B) : 79点~70点
④授業態度			2位	1位		10	可 (D) : 69点~60点
⑤作品		1位			2位	20	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション			2位		1位	60	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。						不合格の場合	補修、追試の有無等

シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者		授業担当教員	國定 章子
				実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/

更新履歴		更新理由	更新箇所	作成者	Checker(確認者)
改1					
改2					
改3					
改4					
改5					

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.1}	プレゼンテーション・ディベート学Ⅱ		学科名 ^{4.2} (コース名)	4.5. プライダルホテル科 ^{6.}			学年 ^{4.}	2学年 ^{4.}	
授業形態 ^{4.}	講義	学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし		
教育課程区分 ^{7.}	必修 ^{4.}	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	該当なし		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. 当該科目では、リアルウェディングをテーマに、プレゼンテーション力とデザイン制作スキルを教授する。PowerPointやデザインソフトを用いたプレゼン資料やペーパーアイテムの作成を通じて、企画意図を的確に伝える表現力と実務的な制作技術を身に付けさせる。自作アイテムのプレゼンテーションを行い、発表とフィードバックを通して実践力と自己表現力を高め、現場で役立てる。 12.								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	13. 当該科目では、プレゼンテーションの構成力や表現力を養いながら、PowerPointやデザインソフトを活用した資料・ペーパーアイテムの制作スキルを習得する。リアルウェディングを想定した企画をもとに、目的に応じた提案ができるようになる。現場で自信をもって発表する力を身につけることを目指す。								
受講条件	1. YIC京都ビューティ専門学校プライダルホテル科に在籍していること 12.								
教科書名	14. オリジナルテキスト				教材名 ^{15.}	該当なし			
設備名・機器名	16. 教材投影用プロジェクター・PC（教員用）				関連サイト ^{17.}	Freepik(資料作成)< https://jp.freepik.com/ >			
関連前科目	18. プレゼンテーション・ディベート学Ⅰ				関連後科目 ^{19.}	プライダルプロデュースⅡ			
授業計画（授業コマ単位）学科：15コマ以上目単位、実習・演習：30コマ以上/単位 20.									
回(コマ)	開講日	1 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材	
第1回	4月16日	1 プレゼンテーション構成について		19. プレゼン事例・資料の紹介 リアルウェディングに向けてのプレゼン準備 プレゼンの目的や構成要素を理解し、リアルウェディングに向けた企画準備の意識を高める。				オリジナルテキスト	
第2回	4月23日	プレゼンテーション構成準備 (PowerPoint)		PowerPoint ^{20.} の基本操作、プレゼン資料の作成方法 PowerPointの基本的な操作方法を理解し、スライド作成の準備ができる。				オリジナルテキスト	
第3回	5月7日	プレゼンテーション資料作成① (PowerPoint)		PowerPointを用いたプレゼン資料作成 (リアルウェディングのテーマ、構成、文面、画像、アニメーション) リアルウェディングをテーマに、適切な構成と内容で資料を作成できるようになる。				オリジナルテキスト	
第4回	5月14日	プレゼンテーション資料作成② (PowerPoint)		PowerPointを用いたプレゼン資料作成 (リアルウェディングのテーマ、構成、文面、画像、アニメーション) 画像やアニメーションを用いて、視覚的にわかりやすいプレゼン資料を完成させる。				オリジナルテキスト	
第5回	5月21日	プレゼンテーション実践練習		プレゼンテーション練習、フィードバック 作成したプレゼン資料を用いて発表を行い、他者からのフィードバックを受け取る。				オリジナルテキスト	
第6回	5月28日	プレゼンテーション資料準備① (デザインソフト)		デザインソフトの基本操作①(図形、画像、テキスト、練習課題) デザインソフトの基本操作(図形、画像、テキスト)を習得する。				オリジナルテキスト	
第7回	6月7日	プレゼンテーション資料準備② (デザインソフト)		デザインソフトの基本操作②(クリッピングマスク、レイヤー、整列、練習課題) クリッピングマスクやレイヤーの扱いを理解し、整ったレイアウトができるようになる。				オリジナルテキスト	
第8回	6月11日	プレゼンテーション資料準備③ (デザインソフト)		デザインソフトの基本操作③(解像度、素材インポート、著作権、練習課題) 解像度や著作権の基本を理解し、実用的な素材の扱い方を習得する。				オリジナルテキスト	
第9回	6月18日	プレゼンテーション資料作成① (デザインソフト)		デザインソフトを用いたペーパーアイテム制作 <ご提案用> (招待状、プロフィール) 解像度や著作権の基本を理解し、実用的な素材の扱い方を習得する。				オリジナルテキスト	
第10回	6月25日	プレゼンテーション資料作成② (デザインソフト)		デザインソフトを用いたペーパーアイテム制作 <ご提案用> (招待状、プロフィール) 提案用のペーパーアイテムをブラッシュアップし、目的に応じた表現ができる。				オリジナルテキスト	
第11回	7月2日	プレゼンテーション資料作成③ (デザインソフト)		デザインソフトを用いたペーパーアイテム制作 <ご提案用> (招待状、プロフィール) 提案用アイテムを完成させ、デザイン意図を説明できるようになる。				オリジナルテキスト	
第12回	7月9日	リアルウェディング準備制作① (デザインソフト)		デザインソフトを用いたペーパーアイテム制作 <リアルウェディング用> (招待状、プロフィール、席次表、メッセージカード、ウェルカムボード 等) 実際の使用を想定したアイテムを作成し、細部に配慮したデザインができる。				オリジナルテキスト	
第13回	7月16日	リアルウェディング準備制作② (デザインソフト)		デザインソフトを用いたペーパーアイテム制作 <リアルウェディング用> (招待状、プロフィール、席次表、メッセージカード、ウェルカムボード 等) アイテムの実制作を進め、複数の要素を効果的に組み合わせる力を身につける。				オリジナルテキスト	
第14回	7月23日	リアルウェディング準備制作③ (デザインソフト)		デザインソフトを用いたペーパーアイテム制作 <リアルウェディング用> (招待状、プロフィール、席次表、メッセージカード、ウェルカムボード 等) 完成度の高いペーパーアイテムを仕上げ、提出物としての品質を整える。				オリジナルテキスト	
第15回	9月3日	2 プレゼンテーション		担当制作したペーパーアイテムのプレゼンテーション、合評会、フィードバック 自作のアイテムを自信を持ってプレゼンし、評価を通して自己表現力を高める。				オリジナルテキスト	
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 21.									
【プレゼンテーション】 【作品】 各学生が構成した商品プランを作成した資料、アイテムを効果的に使用し、説得力(メリット・効果)、対応力(顧客ニーズ)、表現力(オリジナリティ)などの提案力をプレゼンテーション実技にて評価する。 【課題レポート】 【授業態度】 授業毎の要点に対しての理解度をレポート提出にて評価する。他学生のプレゼンテーション実技中において、聞き手としての態度、質問、合評レポート提出にて評価する。 【欠席】成績評価点から(欠席回数×7%)を減算									
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験								なし	秀(S)：100点～90点
②確認テスト								なし	優(A)：89点～80点
③課題レポート		1位		2位				10	良(B)：79点～70点
④授業態度					2位	1位		10	可(D)：69点～60点
⑤作品				1位			2位	20	不可(E)：59点以下

⑥プレゼンテーション				2位		1位	60	
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者		シラバス承認者		授業担当教員	福永 健			
				実務経験紹介				
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度 シラバス

科目名	英会話基礎		学科名 (コース名)	ホテルブライダル科			学年	1学年		
授業形態	講義	学期	前期	開講年月	10月	該当資格区分	該当なし			
教育課程区分	必修	単位数	1	時間数	30	該当資格名称	該当なし			
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)										
当該科目は英会話基礎で学んだ知識を応用し、接客時に英語応対が可能スキルを教授する。										
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)										
海外の参列者や新郎新婦に対しても英語で接客できるスキルを学ぶ。										
受講条件										
YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること 英会話基礎の科目を履修していること										
教科書名				Headway:Beginner:Student's Book withOnlinePractice					教材名	オリジナルプリント
設備名・機器名				教材投影用プロジェクター・PC (教員用)					関連サイト	該当なし
関連前科目									関連後科目	英会話応用
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位										
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材		
第1回	10月2日	● レッスン1: オリエンテーション		○ クラスのオリエンテーション○ 練習テスト 授業の進め方を理解し、クラスメートや教師と基本的な自己紹介ができる。				Headway:Beginner:Student's Book withOnlinePractice		
第2回	10月9日	● レッスン2: 項目001 - 011 概要		○ 基本語句・文法編 part1 基本的な語彙と文法(be動詞・一般動詞)を理解し、簡単な文章を構成できる。				Headway 5th Edition Elementary Student book		
第3回	10月16日	● レッスン3: 項目001 - 011		○ 聴解○ 読解 英語での会話や文章の基本的な内容を聞き取り、理解できる。				Headway 5th Edition Elementary Student book		
第4回	10月23日	● レッスン4: 項目012 - 022 概要		○ 基本語句・文法編 part2 時制や語順などの基本的な文法を使って、短文を書けるようになる。				Headway 5th Edition Elementary Student book		
第5回	10月30日	● レッスン5: 項目012 - 022		○ 聴解○ 読解 短い会話や説明文の読解・聴解に慣れ、キーワードから内容をつかめる。				Headway 5th Edition Elementary Student book		
第6回	11月6日	● レッスン6: 項目023 - 033 概要		○よく使われる英語表現・語句 編 part1 よく使われる日常英語表現(あいさつ・依頼など)を理解し使える。				Headway 5th Edition Elementary Student book		
第7回	11月13日	● レッスン7: 項目023 - 033 概要		○ 聴解○ 読解 英語の会話を聞いて、話し手の意図や要点を把握できるようになる。				Headway 5th Edition Elementary Student book		
第8回	11月20日	● レッスン8: 中間テスト		○ 073 - 099レビュー○ テスト 前半で学んだ語彙・文法・表現を復習し、理解度を確認する。				Headway 5th Edition Elementary Student book		
第9回	12月4日	● レッスン9: 項目034 - 045 概要		○ よく使われる英語表現・語句 編 part2 日常的に使うフレーズ(案内・説明・応対など)を正しく使えるようになる。				Headway 5th Edition Elementary Student book		
第10回	12月11日	● レッスン10: 項目034 - 045		○ 聴解○ 読解 説明文・会話文の読解・聴解において、詳細情報まで理解できるようになる。				Headway 5th Edition Elementary Student book		
第11回	12月18日	● レッスン11: 項目046 - 062 概要		○ よく使われる英語表現・語句 編 part3 よく使う語彙や表現をパターンとして覚え、口頭でも使えるようになる。				Headway 5th Edition Elementary Student book		
第12回	1月15日	● レッスン12: 項目046 - 062		○ 聴解○ 読解 聞いた内容の要点をメモでき、読んだ内容を要約できる。				Headway 5th Edition Elementary Student book		
第13回	1月22日	● レッスン13: 項目063 - 092 概要		○ホテル 編 ○空港・飛行機 編 「ホテル」「空港」など観光・サービス分野の語彙を理解し、会話に応用できる。				Headway 5th Edition Elementary Student book		
第14回	1月29日	● レッスン14: 項目063 - 092		○ 聴解○ 読解 状況に応じた対応(チェックイン・搭乗など)を英語で再現できる。				Headway 5th Edition Elementary Student book		
第15回	2月5日	● レッスン15: 最終テスト		○ 簡単なレビュー○ 期末テスト コース全体の内容を復習し、語彙・文法・表現を統合的に活用できる。				Headway 5th Edition Elementary Student book		
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。										
①成績判定試験【配分: 70%】 ②確認テスト実施【配分: 15%】 ③授業態度【配分: 15%】 上記の総合得点で60点以上を合格とする。 上記評価項目の各点数を下表の評価配分%にて按分し、総合点60点以上を合格とする。										
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準		
①成績判定試験		1位	2位				70	秀 (S) : 100点~90点		
②確認テスト		2位					15	優 (A) : 89点~80点		
③課題レポート							なし	良 (B) : 79点~70点		
④授業態度				2位	1位		15	可 (D) : 69点~60点		
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下		
⑥プレゼンテーション							なし			
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等		
シラバス作成者	Micah Wiley	シラバス承認者		授業担当教員	Micah Wiley					
				実務経験紹介						
更新履歴										
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)		
改1										
改2										
改3										
改4										
改5										

2025年度 シラバス

科目名 ¹⁴	英会話応用 ⁴		学科名 ⁴² (コース名)	ホテルブライダル科 ⁶			学年 ⁴³	2学年 ⁴
授業形態 ⁴⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵⁵	4月	該当資格区分 ⁶⁶	該当なし	
教育課程区分 ⁷⁷	必修 ¹	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹¹ 当該科目は英会話基礎で学んだ知識を応用し、接客時に英語応対が可能スキルを業教授する。 ⁸								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ¹² 海外の参列者や新郎新婦に対しても英語で接客できるスキルを学ぶ。 ⁹								
受講条件 ¹³ YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること 英会話基礎の科目を履修していること ¹²								
教科書名 ¹⁴ Headway 5th Edition Elementary Student book /Oxford University Press ¹²					教材名 ¹⁵ 5	オリジナルプリント		
設備名・機器名 ¹⁶ 教材投影用プロジェクター・PC (教員用) ¹¹					関連サイト ¹⁷	該当なし		
関連前科目 ¹⁸ 英会話基礎 ¹¹					関連後科目 ¹⁹ 9	該当なし		
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日 ¹¹	授業コマの主題(タイトル) ⁷		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月17日	● レッスン1: 「オリエンテーション&挨拶」		○ オリエンテーション情報○ 自己紹介ができる 復習: be動詞”と基本語彙を使って簡単な文章が作れる				Headway 5th Edition Elementary Student book
第2回	4月24日	● レッスン2: 「Lessons in life」パート1		○ 聴解○ 会話○ 文法 簡単な会話を始める・続けることができる 不規則動詞の練習				Headway 5th Edition Elementary Student book
第3回	5月8日	● レッスン3: 「Lessons in life」パート2		○ 文法■ irregular verbs ■-ed, -ing adjectives ○ 読書○ 書くこと 表現 (日月) について話ができる 質問に対する回答の拡大				Headway:Beginner:Student's Book withOnlinePractice
第4回	5月15日	● レッスン4: 「Remember when」パート1		○ 文法■ adverbs ○ 聴解○ 会話 特別な日を語る 日常の活動について会話できる				Headway 5th Edition Elementary Student book
第5回	5月22日	● レッスン5: 「Remember when」パート2		○ 文法■ adverbs ○ 読書○ 書くこと 相手の仕事と生活についての質問できる				Headway 5th Edition Elementary Student book
第6回	5月29日	● レッスン6: 「Love it or hate it!」		○ 文法■ countable & uncountable nouns, some, any, a lot of ○ 聴解○ 会話 自分の好きなものと好きじゃないものについて話せる				Headway 5th Edition Elementary Student book
第7回	6月5日	● レッスン7: 中間試験		中間試験の実施 前半の文法・語彙・会話内容を理解し、活用できる				Headway 5th Edition Elementary Student book
第8回	6月12日	● レッスン8: 「Life in the city」パート1		○ 文法■ comparatives & superlatives ○ 聴解○ 会話○ 自分の待ちについて話す練習 道案内できる				Headway 5th Edition Elementary Student book
第9回	6月19日	● レッスン9: 「Life in the city」パート2		○ 文法■ comparatives & superlatives ○ 読書○ 書くこと 自分の待ちについて書く練習 地図の内容説明できる				Headway 5th Edition Elementary Student book
第10回	6月26日	● レッスン10: 「What are you up to?」パート1		○ 文法 ■ present simple & continuous ○ 聴解○ 会話○ 人の特徴について話せる 最近起こったことについて話せる				Headway 5th Edition Elementary Student book
第11回	7月3日	● レッスン11: 「What are you up to?」パート2		○ 文法■ present simple & continuous ○ 読書○ 書くこと 人の特徴について文章を書ける 最近起こったことについて文章を書ける				Headway 5th Edition Elementary Student book
第12回	7月10日	● レッスン12: 「Going for it!」パート1		○ 文法 ■ " going to" future, infinitive of purpose ○ 聴解○ 会話○ 天気予報について英語で説明できる 英語でお勧めすることできる				Headway 5th Edition Elementary Student book
第13回	7月17日	● レッスン13: 「Going for it!」パート2		○ 文法 ■ " going to" future, infinitive of purpose ○ 読書○ 書くこと 天気予報について文章読める お勧めの活動について英文を書く				Headway 5th Edition Elementary Student book
第14回	7月24日	● レッスン14: 「Have you ever...?」		○ 文法 ■present perfect & ever/never, yet, just ○ 聴解○ 会話○ 経験について話す				Headway 5th Edition Elementary Student book
第15回	9月4日	● レッスン15: 最終試験		成績判定試験の実施コース全体の文法・語彙・スキルを総合的に運用できる ¹²				Headway 5th Edition Elementary Student book
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹								
①成績判定試験				【配分: 70%】				
②確認テスト実施				【配分: 15%】				
③授業態度				【配分: 15%】				
上記の総合得点で60点以上を合格とする。 上記評価項目の各点数を下表の評価配分%にて按分し、総合点60点以上を合格とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト		2位	2位				15	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート							なし	良 (B) : 79点~70点
④授業態度				2位	1位		15	可 (D) : 69点~60点
⑤作品							なし	不可 (E) :59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	Micah Wiley		シラバス承認者			授業担当教員 実務経験紹介	Micah Wiley	

更新履歴

2025年度 シラバス

科目名 ¹⁴	観光英語Ⅱ ⁴		学科名 ⁴² (コース名)	プライダルホテル科 ⁶			学年 ⁴³	1学年 ⁴
授業形態 ⁴⁴	講義	学期	前期	開講年月 ⁵⁵	10月	該当資格区分 ⁶⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷⁷	必修 ²	単位数 ⁸⁸	1	時間数 ⁹⁹	30	該当資格名称 ¹⁰⁰	観光英検	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹	観光英語検定3級合格取得対策を通し、プライダル観光業界業界へ従事する為の基礎知識を教授する旅行の予約や手配、ホテルやレストランでの会話、地図の読み方など、旅行・観光に必要な英語表現を教授する。観光客に対する案内や説明、質問への回答など、観光業において必要な英語表現を身につけさせる。さらに、観光客に対するホスピタリティや、トラブル対応などについても学び実践へと繋げる。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ⁷	観光英語検定3級合格取得対策を通し、プライダル観光業界業界へ従事する為の基礎知識を習得する。 観光業において必要な英語表現を身につけ現場で対応できる深い学びを得る。							
受講条件 ¹³	YIC京都ビューティ専門学校プライダルホテル科に在籍していること ¹²							
教科書名 ¹⁴	受験前にぜひチェックしておきたい頻出150項目/ 全国語学ビジネス観光教育協会 ¹²				教材名 ¹⁵	5	オリジナルプリント	
設備名・機器名 ¹⁶	教材投影用プロジェクター・PC (教員用) ⁶				関連サイト ¹⁷	17	kanko.zgb.gr.jp	
関連前科目 ¹⁸	該当なし ¹⁴				関連後科目 ¹⁹	9	観光英語Ⅱ	
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日 ¹¹	授業コマの主題(タイトル) ⁷		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	10月2日	● レッスン1: オリエンテーション ¹⁴		○ クラスのオリエンテーション○ 練習テスト 授業の進め方を理解し、基本的なクラス内英会話(自己紹介・挨拶など)に対応できる。簡単な練習テストを通じて現時点の英語力を把握する。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出150項目
第2回	10月9日	● レッスン2: 項目001 - 011 概要 ⁸		○ 基本語句・文法編 part1 頻出項目に基づき、be動詞・一般動詞の使い方を理解し、肯定文・否定文・疑問文を作れるようになる。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出151項目
第3回	10月16日	● レッスン3: 項目001 - 011 ⁸		○ 聴解○ 読解 基本文法の理解を基に、簡単な英文を聞いて情報を正しく捉える聴解力を育てる。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出152項目
第4回	10月23日	● レッスン4: 項目012 - 022 概要 ⁸		○ 基本語句・文法編 part2 冠詞・前置詞・基本語順の理解を深め、語彙を用いた正確な表現ができるようになる。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出153項目
第5回	10月30日	● レッスン5: 項目012 - 022 ⁸		○ 聴解○ 読解 英語の短文を聞き取り、内容の要点を理解し、選択肢や質問に答えるスキルを身につ				受験前にぜひチェック しておきたい頻出154項目
第6回	11月6日	● レッスン6: 項目023 - 033 概要 ⁸		○ よく使われる英語表現・語句 編 part1 よく使われる日常英語表現(依頼・許可・感謝など)を使いこなし、文脈に合わせて適切に表現で				受験前にぜひチェック しておきたい頻出155項目
第7回	11月13日	● レッスン7: 項目023 - 033 概要 ⁸		○ 聴解○ 読解 説明や案内に関する英語の聴解・読解練習を通じて、実務的なやり取りの理解力を高める。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出156項目
第8回	11月20日	● レッスン8: 中間テスト ⁸		○ 073 - 099 レビュー○ テスト 第1回～第7回までの内容を復習し、リスニング・語彙・文法・表現の総合力を測る。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出157項目
第9回	12月4日	● レッスン9: 項目034 - 045 概要 ⁸		○ よく使われる英語表現・語句 編 part2 実用的な英語フレーズ(道案内・買い物・応対など)を覚え、基本的な会話に活用				受験前にぜひチェック しておきたい頻出158項目
第10回	12月11日	● レッスン10: 項目034 - 045 ⁸		○ 聴解○ 読解 英語の会話文や説明文から必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりする力を養う。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出159項目
第11回	12月18日	● レッスン11: 項目046 - 062 概要 ⁸		○ よく使われる英語表現・語句 編 part3 実生活で頻出する英語表現(電話応対・申し出など)を学び、状況に応じて適切に使えるよ				受験前にぜひチェック しておきたい頻出160項目
第12回	1月15日	● レッスン12: 項目046 - 062 ⁸		○ 聴解○ 読解 日常的なトピックに関する英語の読解・聴解を通じて情報を把握し、簡単な応答ができるよ				受験前にぜひチェック しておきたい頻出161項目
第13回	1月22日	● レッスン13: 項目063 - 092 概要 ⁸		○ ホテル 編 ○ 空港・飛行機 編 ホテルや空港・飛行機に関する語彙や表現を理解し、旅行・接客の場面で適切に使えるよ				受験前にぜひチェック しておきたい頻出162項目
第14回	1月29日	● レッスン14: 項目063 - 092 ⁸		○ 聴解○ 読解 旅行やサービスに関する場面設定の読解・聴解を通じて、実践的な英語運用力を強化する。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出163項目
第15回	2月5日	● レッスン15: 最終テスト ⁸		○ 簡単なレビュー○ 期末テスト 全授業内容のまとめと復習を行い、語彙・文法・聴解・読解の成果を確認する期末テストに取り				受験前にぜひチェック しておきたい頻出164項目 ¹⁷²
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」 ²³ における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」 ²⁴ の評価等は別に定める。 ²¹								
①成績判定試験 【配分: 70%】 ²¹								
②確認テスト実施 【配分: 15%】								
③授業態度 【配分: 15%】 上記の総合得点で60点以上を合格とする。 上記評価項目の各点数を下表の評価配分%にて按分し、総合点60点以上を合格とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀 (S) : 100点～90点
②確認テスト		2位	2位				15	優 (A) : 89点～80点
③課題レポート							なし	良 (B) : 79点～70点
④授業態度				2位	1位		15	可 (D) : 69点～60点
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	Micah Wiley	シラバス承認者		授業担当教員	Micah Wiley			
				実務経験紹介				
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								

2025年度 シラバス

科目名 ¹⁴		観光英語Ⅱ ⁴		学科名 ⁴² (コース名)		プライダルホテル科 ⁶		学年 ⁴³	2学年 ⁴
授業形態 ⁴⁴		講義	学期	前期	開講年月 ⁵⁵	4月	該当資格区分 ⁶⁶	民間検定	
教育課程区分 ⁷⁷		必修 ¹	単位数 ⁸⁸	1	時間数 ⁹⁹	30	該当資格名称 ³ ¹⁰	観光英検	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して) ¹		観光英語検定3級合格取得対策を通し、プライダル観光業界界へ従事する為の基礎知識を教授する旅行の予約や手配、ホテルやレストランでの会話、地図の読み方など、旅行・観光に必要な英語表現を教授する。観光客に対する案内や説明、質問への回答など、観光業において必要な英語表現を身につけさせる。さらに、観光客に対するホスピタリティや、トラブル対応などについても学び実践へと繋げる。 ⁹							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ) ⁷		観光英語検定3級合格取得対策を通し、プライダル観光業界界へ従事する為の基礎知識を習得する。 観光業において必要な英語表現を身につけ現場で対応できる深い学びを得る。							
受講条件 ¹³		YIC京都ビューティ専門学校プライダルホテル科に在籍していること、観光英語Ⅰの科目を履修していること ¹²							
教科書名		受験前にぜひチェックしておきたい頻出150項目/ 全国語学ビジネス観光教育協会 ¹²				教材名 ¹⁵	5	オリジナルプリント	
設備名・機器名 ¹⁶		教材投影用プロジェクター・PC (教員用) ¹¹				関連サイト ¹⁷	kanko.zgb.gr.jp		
関連前科目 ¹⁸		観光英語Ⅰ ¹¹				関連後科目 ¹⁹	該当なし		
授業計画 (授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ²⁰									
回(コマ)	開講日 ¹¹	授業コマの主題(タイトル) ⁷			各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月17日	● レッスン1: オリエンテーション			○ クラスのオリエンテーション○ 練習テスト 授業の進行・評価方法を理解し、年間の学習計画を把握する。 英語試験に向けた自己診断を行い、学習目標を明確にする。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出150項目
第2回	4月24日	● レッスン2: 項目073 - 082 概要			○ 空港・飛行機 編 part1 ○ listening写真説明の問題 空港でのチェックインや案内など、基本的な表現を知る。 空港利用時に使える英語フレーズを理解し、会話の流れをイメージできるようになる。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出151項目
第3回	5月8日	● レッスン3: 項目073 - 082			○ 聴解○ 読解 ○ listening演習問題 空港に関する会話を聞いて必要な情報を把握できる。 案内文や掲示を正しく読み取る力を身につける。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出152項目
第4回	5月15日	● レッスン4: 項目083 - 092 概要			○ 空港・飛行機 編 part2 ○ listeningイラスト説明の問題 空港内アナウンスや搭乗手続きなどで使われる実用表現を理解する。 フレーズを場面にに応じて使い分けられるようになる。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出153項目
第5回	5月22日	● レッスン5: 項目083 - 092			○ 聴解○ 読解 ○ listening演習問題2 会話から搭乗ゲートや時間変更などの重要情報を聞き取る。 案内表示やインフォメーションの読み取りができる。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出154項目
第6回	5月29日	● レッスン6: 項目093 - 099 概要			○ レストラン・飲食店 編 listening出題例 レストランでの注文・会計・問い合わせに使える表現を学ぶ。 礼儀正しい注文の仕方や対応方法を理解する。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出155項目
第7回	6月5日	● レッスン7: 項目093 - 099 概要			○ 聴解○ 読解 ○ listening演習問題3 レストランでの英会話を聞き取り、相手の意図を理解できる。 メニューや掲示文から情報を正しく読み取れるようになる。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出156項目
第8回	6月12日	● レッスン8: 中間テスト			○ 073 - 099 レビュー○ テスト 前半の単元の理解度を確認し、弱点を明確にする。 問題演習を通じて実戦力を強化する。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出157項目
第9回	6月19日	● レッスン9: 項目100-104 概要			○ 交通機関 (列車、地下鉄、バス、タクシー) 編 listening出題例2 電車・バス・タクシー利用時に使える表現を理解する。 目的地への行き方をたずねたり、チケットを購入したりする力を養う。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出158項目
第10回	6月26日	● レッスン10: 項目100-104			○ 聴解○ 読解 ○ listening演習問題4 交通案内を聞いて正確に理解できるようになる。 時刻表や地図、乗り換え案内を読み取る力をつける。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出159項目
第11回	7月3日	● レッスン11: 項目105 - 113 概要			○ ツアー情報 編 ○ listening出題例3 ツアー申し込みや観光案内の英語表現を学ぶ。 ツアーの詳細や注意事項を英語で理解できるようになる。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出160項目
第12回	7月10日	● レッスン12: 項目105 - 113 listening演習問題5			○ 聴解○ 読解 ○ listening演習問題5 ツアー案内の音声から重要情報を正確に把握できる。 パンフレットやウェブ情報を英語で読み取れるようになる。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出161項目
第13回	7月17日	● レッスン13: 項目114 - 120 概要			○ 料理 編 ○ listening演習問題6 海外で料理を説明したり、好みを伝えるための表現を学ぶ。 食材・調理法・味などの英語語彙を習得する。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出162項目
第14回	7月24日	● レッスン14: 項目114 - 120			○ 聴解○ 読解 ○ listening演習問題7 レストランでの会話や料理の説明を聞いて理解できる。 料理紹介やレシピ文を読み取り、調理内容をイメージできるようになる。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出163項目
第15回	9月4日	● レッスン15: 最終テスト			○ 簡単なレビュー○ 成績判定試験 授業全体の復習を行い、理解の定着を図る。 実践的な英語力をもって各シーンに対応できるようになる。				受験前にぜひチェック しておきたい頻出164項目
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹									
①成績判定試験					【配分: 70%】				
②確認テスト実施					【配分: 15%】				
③授業態度					【配分: 15%】				
上記の総合得点で60点以上を合格とする。 上記評価項目の各点数を下表の評価配分%にて按分し、総合点60点以上を合格とする。									
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準	
①成績判定試験		1位	2位				70	秀 (S) : 100点～90点	
②確認テスト		2位	2位				15	優 (A) : 89点～80点	
③課題レポート							なし	良 (B) : 79点～70点	
④授業態度				2位	1位		15	可 (D) : 69点～60点	
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下	
⑥プレゼンテーション							なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等	
シラバス作成者	Micah Wiley		シラバス承認者			授業担当教員	Micah Wiley		
更新履歴				実務経験紹介					
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)	
改1									
改2									
改3									
改4									
改5									

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.1.}		4. ブライダル企業研究		学科名 ^{4.2.} (コース名)	4.5. ブライダルホテル科		6. 学年	4.3. 学年
授業形態 ^{4.}	講義		学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし
教育課程区分 ^{7.}	必修 ^{4.}		単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	該当なし
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		11. 当該授業では、ブライダルおよびホテル業界に関わる主要企業理念・サービス・文化などを調査・分析し、学生自身の進路選択に活かすことを目的とする。グループワークやプレゼンテーションを通して情報収集力や発信力を高め、将来の志望企業を見つけ、自分自身の強みや価値観と結びつけて表現できる力を教授する。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		12. 業界の主要企業について理解し、企業理念・サービスの違いを比較し、自身の志望先を考える力を育む。						
受講条件		13. YIC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること						
教科書名		14. 該当なし				教材名 ^{15.}	オリジナル教材	
設備名・機器名		16. 1 教材投影用プロジェクター・PC (教員用)				関連サイト ^{17.}	参考となる引用、関連するページタイトル/URL	
関連前科目		18. 1 該当なし				関連後科目 ^{19.}	インターンシップⅠ・Ⅱ	
授業計画 (授業コマ単位) 学科 ^{1.} : 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ^{20.}								
回(コマ)	開講日	1 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	4月17日	ガイダンスと業界地図 ¹		授業概要説明、ブライダル・ホテル業界の全体像、企業研究の目的 授業の目的と流れを理解し、業界構造を把握する				オリジナルプリント
第2回	4月25日	ブライダル業界の主な企業		テイクアンドギヴ・ニーズ、ノバレーゼ、Plan・Do・Seeなどを紹介・比較 業界の代表的企業の特徴を知る				オリジナルプリント
第3回	5月7日	ホテル業界の主な企業		星野リゾート、プリンスホテル、帝国ホテルなどの特徴と強み ブライダルと連動するホテル企業の特徴を知る				オリジナルプリント
第4回	5月14日	企業理念・ビジョンを読む		各社の企業理念の違いを読み解き、価値観を比較 企業の価値観を読み解く力をつける				オリジナルプリント
第5回	5月21日	OB・OGインタビュー分析		実際の声から企業文化を探る (動画・記事・インタビュー) 実際の声から企業の雰囲気を理解する 卒業生の声を通じて企業文化を理解し、働くイメージを具体化する				オリジナルプリント
第6回	5月28日	サービスの違いと強み分析		サービス内容の具体例 (接客、式の進行、空間デザインなど) を比較 各社の接客や空間づくりの強みを比較				オリジナルプリント
第7回	6月3日	グループ研究:企業紹介		グループで企業を1社選定し、紹介プレゼン準備 企業を選定し、調査の方向性を決める				オリジナルプリント
第8回	6月12日	施設視察①		アイネス宝ヶ池様 ゲストハウスウェディング研修 実際のゲストハウスを見学し、現場でのサービスや空間構成を学ぶ				オリジナルプリント
第9回	6月12日	施設視察② 振り返り		ゲストハウスウェディング研修 見学内容を振り返り、学んだ点を自分の言葉で整理できる				オリジナルプリント
第10回	6月18日	施設視察③		リーガロイヤル京都様 ホテル (ウェディング) 研修 ホテルでのブライダル運営を見学し、ホテル型の特性を理解する				オリジナルプリント
第11回	6月18日	施設視察④ 振り返り		施設見学の振り返りを行う 見学全体の気づきを整理し、他の業態との比較視点を養う				オリジナルプリント
第12回	7月9日	自己の志望企業探し		自分に合う企業はどこか? 価値観・強みと照らし合わせて考える				オリジナルプリント
第13回	7月16日	インターンシップに向けて		希望する職種、形態を決定する 第1回目のインターンシップの希望先を定める 自分の価値観や強みを踏まえて、志望企業の方向性を明確にできる				オリジナルプリント
第14回	7月22日	まとめとインターンに向けての心構え		インターンシップ準備を進める インターン前の準備を整え、実習に向けた意識を高めることができる				オリジナルプリント
第15回	9月3日	2 まとめ		成績判定試験 授業の学びを総括する個人レポート				
21. 成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。								
①成績判定試験 (第15回) 【配分: 30%】 形式: 記述式課題レポート 20点 口頭試問業界理解+志望動機+印象に残った企業などをまとめ実施する10点								
②プレゼンテーション 【配分: 20%】 形式: グループプレゼンテーション 情報の正確さ 5点 (企業情報のリサーチが正確で信頼性があるか) チームワーク・役割分担 5点 (メンバー全員が役割を持って参加しているか) プレゼンの構成・表現力 5点 (分かりやすく整理されていて、聞き手に伝わる工夫があるか) 分析・視点 5点 (紹介でなく、自分たちの視点での比較や分析があるか)								
③課題提出 提出期日までに未提出であれば点数なし 【配分: 20%】 提出されるレポート、振り返りシート、企業分析シートなどの提出状況と質で評価する。第5回・6回・9回・11回 (各5点)								
④授業態度 1コマ欠席につき-1点、授業中に2回注意を受けた場合-3点 【配分: 30%】 グループ活動・視察・ディスカッションへの積極的な関わり								
上記の総合得点で60点以上を合格とする。 上記評価項目の各点数を下表の評価配分%にて按分し、総合点60点以上を合格とする。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位		2位			なし	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト							なし	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート		2位	1位				40	良 (B) : 79点~70点
④授業態度				2位	1位		30	可 (D) : 69点~60点
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション				2位	1位		30	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	國定 章子	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	國定 章子		
					実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/kunisada/		

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.1}	⁴ キャリアデザイン		学科名 ^{4.2} (コース名)	^{4.5} プライダルホテル科 ⁶			学年 ^{4.3}	^{4.4} 1学年 ⁴
授業形態 ⁴	講義	学期	後期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶		
教育課程区分 ⁷	必修 ⁴	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	30	該当資格名称 ¹⁰	該当資格なし	
科目の概要 ¹¹		個人ワーク、グループワークを通して自分への洞察を深め、仕事全般についての理解を高めて、仕事選択ができるようになる。						
科目の到達目標 ¹²		1. 自分を知る事で「やりたい事」「出来る事」「将来像」を明確にしていく。 2. 希望する企業に自分の強みが伝えられるよう、プレゼンテーション能力を身につける。 3. 社会人として必要なコミュニケーション能力を身につける☑☑						
受講条件 ¹³		出席率80%以上が前提となる。 ¹²						
教科書名 ¹⁴		未来ノート、NAVIノート			教材名 ¹⁵	PowerPoint、内定ロードマップ		
設備名・機器名 ¹⁶		プロジェクター ¹			関連サイト ¹⁷	特になし		
関連前科目 ¹⁸		特になし ¹⁴			関連後科目 ¹⁹	特になし		
授業計画（授業コマ単位）学科 ⁴ ：15コマ以上目単位 ²⁰								
回(コマ)	開講日	¹ 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第1回	9月29日	オリエンテーション		就活の流れ、シラバス、NAVIノートの説明、マイナビ・リクナビの登録、就職先希望調査			未来ノート、就活NAVIノート	
第2回	10月6日	キャリアマップ登録会		キャリアマップ登録			未来ノート、就活NAVIノート	
第3回	10月20日	自己理解Ⅰ（私の大切なもの探し、ネガポジマップ）		自分の価値観を知る 「自己イメージ」を言語化・明確化する			未来ノート、就活NAVIノート	
第4回	10月27日	自己理解Ⅱ（過去を振り返ろう）		過去のライフイベントを振り返り、自分らしさや「やる気」を形づくってるものについて洞察を深める			未来ノート、就活NAVIノート	
第5回	11月10日	自己理解Ⅲ（ジョハリの窓）		「自分から見た自分」と「他人から見た自分」についての気づきを得て自己理解を深める			未来ノート、就活NAVIノート	
第6回	11月17日	自己PR文をつくろう		自己分析の結果を他己分析の結果を元に自己PR文を作成する			未来ノート、就活NAVIノート	
第7回	12月1日	敬語、ビジネススキルを学ぶ（外部講師 ジョブパーク）		敬語の基本、ビジネススキルを習得する			未来ノート、就活NAVIノート	
第8回	12月8日	仕事理解Ⅰ（企業研究グループワーク）		グループごとに企業を調査し、業界把握や具体的な企業情報検索方法を学ぶ			未来ノート、就活NAVIノート	
第9回	12月15日	仕事理解Ⅱ（企業研究発表）		企業の人事担当者として、グループごとに調べた企業のプレゼンをする			未来ノート、就活NAVIノート	
第10回	12月22日	履歴書の書き方		履歴書の書き方、就職活動に必要な書類の書き方を学ぶ			就活NAVIノート	
第11回	1月19日	合同企業説明会事前セミナー		合同企業説明会前の諸注意、所作について学ぶ			就活NAVIノート	
第12回	1月26日	合同企業説明会		合同企業説明会（京都テルサ）			就活NAVIノート	
第13回	2月2日	志望動機を書いてみよう		志望動機の書き方を学ぶ			就活NAVIノート	
第14回	2月9日	模擬面接（外部講師 キャリア形成）		講義でグループ面接について学び、実践する			就活NAVIノート	
第15回	2月16日	後期試験		後期試験（筆記試験、面接）				
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ²¹								
単位認定 ・総合成績60%点・出席率80%以上 ・定期試験70%成績判定①成績判定試験（筆記試験：記述式11問30点、最低記述要件3行以上、選択問題5問10点と模擬面接30点試験時間90分の計70点満点）②課題レポート25%、③グループでのプレゼンテーション5%を勘案して総合評価を行う。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験		1位	2位				70	秀（S）：100点～90点
②確認テスト							なし	優（A）： 89点～80点
③課題レポート			2位	1位			25	良（B）： 79点～70点
④授業態度							なし	可（D）： 69点～60点
⑤作品							なし	不可（E）:59点以下
⑥プレゼンテーション				2位	1位		5	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者		土井 宏美	シラバス承認者		澤 智春	授業担当教員		土井 宏美
						実務経験紹介		
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

2025年度 シラバス

科目名 ^{1.}	基本IT技術 I		学科名 ^{2.} (コース名)	ブライダルホテル科			学年 ^{3.}	1学年	
授業形態 ^{4.}	演習	学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}			
教育課程区分 ^{7.}	必修	単位数 ^{8.}	2	時間数 ^{9.}	60	該当資格名称 ^{10.}			
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	11. コンピュータを利用したITマナーについて学習。 必要な技術を効率良く行えるよう繰り返し練習・習得する。 必要に応じたコンピュータの利用技術の取得。 ^{12.}								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	12. ①コンピュータの基礎を理解し、メールやフォルダの作成ができるようにする。 ^{13.} ②アプリの操作を学習し、ビジネスデータや伝わりやすく汎用性のあるをデータ作成ができるようにする。 ^{14.}								
受講条件	15. 7 8.								
教科書名	16. Word 2021 クイックマスター<基本編> Power Point 2021 クイックマスター Excel 2021 クイックマスター<基本編>				教材名 ^{15.}	17. 教員作成の教材データを適宜配布			
設備名・機器名	16. 13. 2 5 6 教室 デスクトップパソコン				関連サイト ^{17.}	18.			
関連前科目	18. 14.				関連後科目 ^{19.}	15. 一			
授業計画 (授業コマ単位)									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	14 各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材		
第 1 回	○月○日	ガイダンス・コンピュータの基本操作 ^{16.}	授業の必要性・概要・目的・目標についての説明および進め方 ログイン、課題提出の仕方・メールの基礎知識 ITリテラシー講義：前半						
第 2 回	○月○日	コンピュータの基本操作・ビジネス文書の作成 ^{17.}	ITリテラシー講義：後半 テキストサンプルデータ準備 Wordの画面構成と文字入力				Wordテキスト Chapter1		
第 3 回	○月○日	書式設定 ^{18.}	ビジネス文書作成 IMEパッド・段落・ページ設定 ^{19.}				Wordテキスト Chapter2		
第 4 回	○月○日	基本動作設定	グローバルショートカット・書式設定・フォントについて				Wordテキスト Chapter3		
第 5 回	○月○日	体裁構成の基礎知識	行間・段落間、インデントについて 字下げ・ぶら下げ・禁則処理など				Wordテキスト Chapter3		
第 6 回	○月○日	印刷とPDF	印刷およびPDFへのエクスポート				Wordテキスト Chapter4		
第 7 回	○月○日	タブとリーダー ビジネス文章の作成例	タブとリーダーの操作方法 価格表・メニュー表の作成				Wordテキスト Chapter5		
第 8 回	○月○日	表の作成 基本操作	表の作成 文字列から表の作成方法とCSVとの関係性				Wordテキスト Chapter6		
第 9 回	○月○日	表の作成 応用操作とオブジェクト挿入	図形、テキストボックスの作成・編集				Wordテキスト Chapter7		
第 1 0 回	○月○日	応用問題	応用問題作成				参考データ配布		
第 1 1 回	○月○日	総合演習問題	総合演習問題作成				総合演習問題		
第 1 2 回	○月○日	総合演習 応用問題	総合演習応用問題作成				総合演習問題/配布問題資料		
第 1 3 回	○月○日	試験課題・Word試験データ作成	試験課題・Word試験データ作成の実施				一		
第 1 4 回	○月○日	試験課題・Word試験データ作成	試験課題・Word試験データ作成の実施				一		
第 1 5 回	○月○日	試験問題の解答、解説	基礎問題の答え合わせと解説				一		
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) …「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}									
↓判定方法\該当する観点→		21. 知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	評価基準	
①成績判定試験		22.		23.			60	秀 (S) : 100点~90点 優 (A) : 89点~80点 良 (B) : 79点~70点 可 (D) : 69点~60点 不可 (E) : 59点以下	
②確認テスト		2位	2位	2位		2位	10		
③課題レポート							なし		
④授業態度					1位		30		
⑤作品		1位	1位	1位		1位	なし		
⑥プレゼンテーション							なし		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補 講	
シラバス作成者	吉野 正巳	シラバス承認者		授業担当教員	吉野 正巳				
				実務経験紹介					
更新履歴									
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所		作成者		者(確認者)		
改1									
改2									
改3									
改4									
改5									

2025年度 シラバス

科目名 ^{1.}	基本IT技術Ⅱ		学科名 (コース名) ^{2.}	プライダルホテル科			学年	^{3.} 2学年	
授業形態 ^{4.}	演習	学期	後期	開講年月 ^{5.}	10月	該当資格区分 ^{6.}	^{3.}		
教育課程区分 ^{7.}	必修	単位数 ^{8.}	2	時間数 ^{9.}	60	該当資格名称 ^{10.}			
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	^{11.} コンピュータを利用したITマナーについて学習。 ^{5.} 必要な技術を効率良く行えるよう繰り返し練習・習得する。 ^{3.} 必要に応じたコンピュータの利用技術の取得。 ^{2.}								
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	^{12.} ①コンピュータの基礎を理解し、メールやフォルダの作成ができるようにする。 ^{4.} ②アプリの操作を学習し、ビジネスデータや伝わりやすく汎用性のあるをデータ作成ができるようにする。 ^{13.}								
受講条件	^{7.} ^{8.}								
教科書名	^{14.} Word 2021 クイックマスター<基本編> Power Point 2021 クイックマスター Excel 2021 クイックマスター<基本編>				教材名 ^{15.}	^{9.} 教員作成の教材データを適宜配布			
設備名・機器名	^{16.} 256教室 ^{13.} デスクトップパソコン ^{10.}				関連サイト ^{17.}	^{12.}			
関連前科目	^{18.}				関連後科目 ^{19.}	^{14.} ー ^{15.}			
授業計画(授業コマ単位)									
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)	14 各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材		
第1回	○月○日	ガイダンスとPowerPointの基本 ^{16.}	PowerPointの基本操作及び効果的なプレゼンテーションデータ作成の概要						
第2回	○月○日	効果的なプレゼンテーションデータの作成とは ^{17.}	ブレースフォルダーの扱いと概念整理				PowerPointテキスト Chapter1.2		
第3回	○月○日	文字やスライドの編集 オブジェクトの作成 ^{18.}	テキストのレベル分けとオブジェクトの概念と操作 ^{19.}				PowerPointテキスト Chapter3.4		
第4回	○月○日	表やグラフの作成 表示効果とハイパーリンク	表やグラフの挿入と画面切り替え ^{20.} 、アニメーション効果の取り扱い				PowerPointテキスト Chapter5.6		
第5回	○月○日	プレゼンテーション作成	試験課題作成						
第6回	○月○日	プレゼンテーション作成と提出	試験課題作成と提出						
第7回	○月○日	プレゼンテーション	作成したデータをもとにプレゼンテーション実施						
第8回	○月○日	プレゼンテーション	作成したデータをもとにプレゼンテーション実施						
第9回	○月○日	PowerPointでCM作成	PowerPointでCMを作成 動画編集機能の紹介と作成				過去作品サイト		
第10回	○月○日	Excelの基本	Excelの基本概念と画面の構成およびデータ・数式の入力				Excelテキスト Chapter1		
第11回	○月○日	相対・絶対・複合参照	オートフィル・相対・絶対・複合参照の演習				Excelテキスト Chapter2		
第12回	○月○日	表の編集・ブックの印刷	表の編集と体裁編集について・ブックの印刷時の取り扱い				Excelテキスト Chapter3.4		
第13回	○月○日	グラフと図形の作成	グラフの作成・編集および図形の作成 ワークシートの管理・ウィンドウの操作				Excelテキスト Chapter5.6		
第14回	○月○日	関数演習	関数の書式・論理関数を中心とした計算式の論理				Excelテキスト Chapter7 演習問題		
第15回	○月○日	Excel試験および、PC内データの整理・ 削除作業まで	基礎問題の答え合わせと解説 及び1年間のデータ整理・削除				ー		
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}									
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	評価基準	
①成績判定試験	1位	1位	1位	23.		1位	30	秀(S):100点~90点	
②確認テスト	2位	2位	2位			2位	10	優(A):89点~80点	
③課題レポート							なし	良(B):79点~70点	
④授業態度					1位		30	可(D):69点~60点	
⑤作品							なし	不可(E):59点以下	
⑥プレゼンテーション	1位	1位	1位			1位	30		
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補 講	
シラバス作成者		シラバス承認者		授業担当教員	吉野 正巳				
				実務経験紹介					
更新履歴									
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	者(確認者)					
改1									
改2									
改3									
改4									
改5									

科目名 ^{1.}	基本IT技術Ⅲ		学科名 (コース名) ^{2.}	プライダルホテル科			学年 ^{3.}	2学年
授業形態 ^{4.}	演習	学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}		
教育課程区分 ^{7.}	必修 ^{4.}	単位数 ^{8.}	2	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		Webページ作成を通して、ITリテラシーとICTの基礎知識を習得。 全コマを通して、HTML、CSS、JavaScriptなどのWeb技術を学び、実践的なWebサイト構築スキルを身につけます。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		情報化社会において必要不可欠なITリテラシーとICT活用能力を育成することを目的とする。 Webページ作成を通して、情報技術に関する基礎知識を習得し、教育課程における情報教育の基盤を築き、 デジタルデータを扱う上での基本的な考え方と、ルールや手順が存在する理由を深く理解することを目指します。						
受講条件		電源のON/OFF・ローマ字入力によるタイピング・マウス操作など基本的なPC操作ができること。						
教科書名		教科書名/著者名/出版元/発行日/改版/関連頁など			教材名 ^{15.}	教員作成の教材データを適宜配布		
設備名・機器名		2 5 6 教室 デスクトップパソコン			関連サイト ^{17.}	W3C https://www.w3.org/		
関連前科目		基本IT技術Ⅰ、Ⅱ			関連後科目 ^{19.}	この科目の修了を前提としている科目		
授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ^{20.}								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)			各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標		使用教科書・教材	
第1回	4/18/2025	ガイダンス・Webの基本			授業の必要性・概要・目的・目標についての説明および進め方 ログイン、課題提出の仕方・メールの基礎知識 ITリテラシー講義: 前半		配布資料データ	
第2回	4/25/2025	コンピュータの基本操作・Webデータの作成			ITリテラシー講義: 後半 歴代の記述方法・PC/インターネットをめぐる環境の変化と現状の理解およびアプローチ方法		配布資料データ	
第3回	5/9/2025	Webページ製作の基本			コンテンツの作成およびマークアップ・コーディングの基礎の理解		配布資料データ	
第4回	5/16/2025	HTMLとCSSの役割			Cascading Style Sheetsの基本概念と設定方法		配布資料データ	
第5回	5/23/2025	要素と余白の関係性			Webサイトのmargin padding borderの横幅計算の概念		配布資料データ	
第6回	5/30/2025	マルチカラム 横並びレイアウト			フロートによるマルチカラムレイアウト作成と仕組みの理解		配布資料データ	
第7回	6/6/2025	CSS外部リンク・			CSSの構成と記述方法と優先順位		配布資料データ	
第8回	6/13/2025	内部記述について			list形式によるナビゲーション理解と作成		配布資料データ	
第9回	6/20/2025	ナビゲーション構築とUIについて			UIを踏まえたトップページの構成構造の理解と作成		配布資料データ	
第10回	6/27/2025	トップページ構築の概論と方法			テーブルタグの特徴とWebページの構成・構造の仕組みおよび構築方法		配布資料データ	
第11回	7/4/2025	表の作成および各階層構築について			各種オブジェクトデータの特性と実導入の方法		配布資料データ	
第12回	7/11/2025	動画編集 について			各種オブジェクトデータの特性と実導入の方法		配布資料データ	
第13回	7/18/2025	ラスター/ベクター編集 について			前期試験データ作成			
第14回	7/25/2025	前期試験データ作成			前期試験データ作成			
第15回	9/5/2025	前期試験データ作成			前期試験データ締切 基礎問題テスト実施 PC整理など			
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}								
当該科目の到達度を測るための方法、点数、配分、合格基準、等、客観的なデータによる。①筆記試験の場合は、設問数・時間・合格点数を明記すること。②記述式筆記試験の場合は、記述すべきワードの最低要件・回答時間・文字数等と評価点数配分。③実技による判定試験は、判定する項目・点数配分(加減点式)・時間配分なども明記すること。④レポート提出の場合は、別紙「レポート評価の仕方」参照。⑤国家資格・国家検定・民間検定の科目の場合には該当する資格試験の合格基準と試験方法に準ずること。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							0	秀(S): 100点~90点
②確認テスト		2位	2位	2位		2位	30	優(A): 89点~80点
③課題レポート							なし	良(B): 79点~70点
④授業態度					1位		30	可(D): 69点~60点
⑤作品		1位	1位	1位		1位	40	不可(E): 59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者		吉野 正巳	シラバス承認者		授業担当教員		吉野 正巳	
					実務経験紹介		学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載	
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Check者(確認者)
改1								
改2								
改3								
改4								
改5								

科目名 ¹	ソーシャルメディア		学科名 ² (コース名)	ブライダルホテル科			学年 ³	2学年
授業形態 ⁴	演習	学期	前期	開講年月 ⁵	10月	該当資格区分 ⁶		
教育課程区分 ⁷	必修	単位数 ⁸	1	時間数 ⁹	15	該当資格名称 ¹⁰		
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		これまでの学習内容を応用してソーシャルメディアとの連携機能をWebサイトに組み込む方法を学び、情報発信におけるデジタルリテラシーとソーシャルメディア活用の基礎知識を習得します。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		前期で習得したHTML、CSS、JavaScriptの知識を応用し、ソーシャルメディアのコンテンツ埋め込み、シェア機能など、外部サービスと連携するWebページやソーシャルメディアの仕組み・概念を理解する。						
受講条件		電源のON/OFF・ローマ字入力によるタイピング・マウス操作など基本的なPC操作ができること。						
教科書名		1 ー			教材名 ¹⁷	教員作成の教材データを適宜配布		
設備名・機器名 ¹⁸		256教室 デSKTOPパソコン			関連サイト ¹⁹	W3C https://www.w3.org/		
関連前科目		1 ー			関連後科目	20. ー		
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標				使用教科書・教材
第1回	9/30/2025	ガイダンス・Webの基本概念		”授業の必要性・概要・目的・目標についての説明および進め方 Webリテラシー講義”				正式な名称を記述する。
第2回	10/7/2025	HTMLの基礎		歴代の記述方法・PC/インターネットをめぐる環境の変化と現状の理解およびアプローチ方法				
第3回	10/14/2025	Webページ製作の基本		コンテンツの作成およびマークアップ・コーディングの基礎の理解				
第4回	10/21/2025	サブページ作成		サイトの構成構造の理解と作成 絶対・相対パスの特性と使い分け				
第5回	10/28/2025	CSSの基本		Cascading Style Sheetsの基本 概念と設定方法				
第6回	11/4/2025	CSSでレイアウト作成		Webサイトのmargin padding borderの横幅計算の概念 フロートによるマルチカラムレイアウト作成と仕組みの理解				
第7回	11/11/2025	Webフォント導入		外部・内部フォント指定 Webフォントの仕組み およびフォントの歴史				
第8回	11/18/2025	CSS3.0実践		最新CSSの実装とユーザビリティの関係性				
第9回	11/25/2025	トップページ構築の概論と方法		UIを踏まえたトップページの構成構造の理解と作成				
第10回	12/2/2025	ソーシャルメディア概論		ソーシャルメディアのリスクと安全な利用、情報モラル深化				
第11回	12/9/2025	デジタルリテラシー概論		ソーシャルメディアのシェア機能とデジタルリテラシー（著作権・プライバシー）				
第12回	12/16/2025	前期試験データ作成		前期試験データ作成				
第13回	1/13/2026	前期試験データ作成		前期試験データ作成				
第14回	1/20/2026	前期試験データ作成		前期試験データ作成				
第15回	1/27/2026	前期試験データ提出・締切 および基礎問題テスト		前期試験データ締切 基礎問題テスト実施 PC整理など				
成績評価方法（当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法）…「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。 ^{21.}								
当該科目の到達度を測るための方法、点数、配分、合格基準、等、客観的なデータによる。①筆記試験の場合は、設問数・時間・合格点数を明記すること。②記述式筆記試験の場合は、記述すべきワードの最低要件・回答時間・文字数等と評価点数配分。③実技による判定試験は、判定する項目・点数配分(加点式or減点式)・時間配分なども明記すること。④レポート提出の場合は、別紙「レポート評価の仕方」参照。⑤国家資格・国家検定・民間検定の科目の場合には該当する資格試験の合格基準と試験方法に準ずること。								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							0	秀(S)：100点～90点
②確認テスト		2位	2位	2位		2位	30	優(A)：89点～80点
③課題レポート							なし	良(B)：79点～70点
④授業態度					1位		30	可(D)：69点～60点
⑤作品		1位	1位	1位		1位	40	不可(E)：59点以下
⑥プレゼンテーション							なし	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者 吉野 正巳		シラバス承認者		授業担当教員 吉野 正巳		実務経験紹介		
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由		更新箇所		作成者		Checker(確認者)
改1								
改2								
改3								

2025年度 シラバス

科目名 ^{4.}	⁴ 論理的思考力基礎		学科名 ^{4.2.} (コース名)	^{4.5.} ホテルブライダル学科 ^{6.}		学年 ^{4.3.}	^{4.} 1学年 ^{4.}
授業形態 ^{4.}	講義	学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし
教育課程区分 ^{7.}	選択 ⁴	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	該当なし
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)		日常生活に関する題材を取り上げ、現状認識、問題発見をつかさどる把握力、定量分析、定性分析に発展させる分析力、意思決定、情報を研ぎ澄ませる選択力、シミュレーション能力を磨く為の予測力、プレゼンテーション能力を発揮できる表現力の基礎を教授する。					
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)		当該科目の教育課程における位置づけは、身近な問題を解くことを通して、読解力、把握力、分析力、選択力、予測力、表現力、を養うための基礎知識を習得する。 ^{9.}					
受講条件		YIC京都ビューティ専門学校ビューティスペシャリスト科に在籍していること					
教科書名 ^{14.}				教材名 ^{15.}			
該当なし				オリジナルプリント オリジナルPowerPoint			
設備名・機器名 ^{16.}				関連サイト ^{17.}			
教材投影用プロジェクター/PC(講師用)							
関連前科目 ^{18.}				関連後科目 ^{19.}			
該当なし ^{14.}							
授業計画(授業コマ単位) 学科 ^{1.} : 15コマ以上目単位、実習・演習: 30コマ以上/単位 ^{20.}							
回(コマ)	開講日	¹ 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材
第1回		オリエンテーション 数学基礎学力テスト		授業の進め方・評価基準・評価方法について説明する 数学基礎学力試験			数学検定試験
第2回		速さの基礎		速さの定義、秒速、分速、時速、速さと距離時間の関係の復習 速さを求める説明をする			オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto
第3回		旅人算・流水算		動くものが2つあるとき、2つのものの隔たりの推移に関する説明をする			オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto
第4回		割合の基礎		単位の換算、百分率と歩合、濃度の計算(重量パーセントからモル濃度)を理解する説明をする			オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto
第5回		損益算		売買による損益に関する計算。原価(仕入れ値)・定価・売価(売り値)・利益の関係 特に利益率、値引率の割合の意味を理解する説明をする。 問題を解く。			オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto
第6回		仕事算		単位日数や単位時間にできる仕事の量や、仕上げるのにかかる日数や時間を求める説明をする			オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto
第7回		計算の基礎・虫食い算		四則計算、四則混合計算、Xを使う式、連立方程式を説明をする。 問題を解く			オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto
第8回		順列・確立		順列・確立の基本的な考え方と、保険・銀行の融資・株式市場の分散投資について説明をする			オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto
第9回		集合		集合と要素・部分集合・空集合・関集合・和集合・全体集合・補集合について説明する			オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto
第10回		推理		リーグ戦の勝敗・対応関係・うそつき問題を説明する 問題を解く			オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto
第11回		面積・体積		平行四辺形の面積・三角形の面積・台形の面積・ひし形の面積・円の面積・柱体の体積 錐体の体積を求める説明をする			オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto
第12回		展開図		直方体・立方体・その他の図形の展開図から、体積・表面積を求める説明をする			オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto
第13回		把握力と分析力		業界シェアの動向・所得税を求める説明をする			オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto
第14回		選択力と予測力		最適な通勤ルートはどれか・来月の売上予想はいくらか求める説明をする			オリジナルプリント オリジナルPowerPoinnto
第15回		² 表現力		売上高を棒グラフで表す・データ分布のヒストグラムを説明する			オリジナルプリント オリジナルPowerPoint
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) ^{21.}							
出席率80%以上及び ①成績判定試験(選択問題・記述式問題) ②記述式問題 授業内で出てきたワード(専門用語)を記述すること ③確認テスト 小テストの得点を合計し、全体の成績に反映する ④授業態度、提出物及び授業への出席状況の評価する。 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験		1位	2位				50
②確認テスト		1位	3位	2位			30
③課題レポート			1位	2位	3位		10
④授業態度				2位	1位		10
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション							なし
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合
							補修、追試の有無等
シラバス作成者	シラバス承認者	フルネームを記載			授業担当教員		
					実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載	
更新履歴							
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所			作成者	Check者(確認者)
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

科目名 ^{1.}	ボランティア活動Ⅱ		学科名 ^{2.} (コース名)	ホテルブライダル学科		学年	2学年
授業形態 ^{4.}	講義	学期	通期	開講年月 ^{5.}	10月	該当資格区分 ^{16.}	該当なし
教育課程区分 ^{7.}	選択	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{16.}	該当なし
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	ユニバーサル社会の実現のために高齢者、身体の不自由な人、または国籍やLGBTQなど多種多様な人々に対して、分け隔てないおもてなし「ヒューマニティ」「人間性尊重精神」を持てるように接客・接遇の知識と技術を身につける。						
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	・お客様に合わせた接客と介助・サービスの実践力を身につける。 ・ボランティアを実際に体験することで、コミュニケーションと共感の大切さを学ぶ。 ・ボランティアの基礎を覚え、ボランティア活動に対するイメージを広げる。						
受講条件	ビューティスペシャリスト科1年以上在籍していること						
教科書名	該当なし			教材名	該当なし		
設備名・機器名	該当なし			関連サイト	該当なし		
関連前科目	該当なし			関連後科目	ボランティア活動Ⅱ		
授業計画(授業コマ単位) 学科: 15コマ以上単位、実習・演習: 30コマ以上/単位							
回(コマ)	開講日	1 授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材
第 1回	○月○日	オリエンテーション ボランティア活動とは		授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 ボランティアの理念、ボランティア活動の社会的意義 ボランティアの基礎知識(車椅子、手引きなど)や現状を理解できる			心のバリアフリーの教材
第 2回	○月○日	外部講師による講義・体験授業		ボランティア入門講座、車椅子体験、手引き体験 当事者の思いを体験し、今後同様の場面に会おうことを考えることができる			心のバリアフリーの教材
第 3回	○月○日	振り返り		ボランティア入門講座、車椅子体験、手引き体験を受けての振り返りを行う			心のバリアフリーの教材
第 4回	○月○日	具体的なボランティア活動への参加に		振り返りを行うことで、実際に体験したことを確認することができる			心のバリアフリーの教材
第 5回	○月○日	校外学習の事前学習		ボランティア活動の種類や活動の範囲について理解できるようになる			心のバリアフリーの教材
第 6回	○月○日	校外学習(ホテル施設の見学)		施設見学をする前に、ユニバーサルサービスについての取り組みがわかるようになる			心のバリアフリーの教材
第 7回	○月○日	振り返り		現場での体験を通して、ユニバーサル社会の実現を考え自ら行動できる ホスピタリティを学ぶことができる			心のバリアフリーの教材
第 8回	○月○日	校外学習の事前学習		施設見学を受けての振り返り 振り返りを行うことで、あらためて現場で学んだことを理解できるようになる			心のバリアフリーの教材
第 9回	○月○日	校外学習 (ボランティア活動への参加)		事前に校外学習する施設を調べることで、ボランティア活動のイメージがわかるようになる			心のバリアフリーの教材
第 10回	○月○日	振り返り		実際にボランティア活動を行うことで、コミュニケーションと共感することの大切さがわかるようになる			心のバリアフリーの教材
第 11回	○月○日	ボランティア活動の発表準備		校外学習と体験での振り返りを行う ボランティア活動に参加して、「人とのつながり」「地域社会とのつながり」での再発見することができる			心のバリアフリーの教材
第 12回	○月○日	ボランティア活動の発表準備		これまで取り組んできたボランティア活動を振り返りレポートにまとめる			心のバリアフリーの教材
第 13回	○月○日	ボランティア発表会に向けての整理		これまでのボランティア体験を振り返り、紙面にまとめることができる			心のバリアフリーの教材
第 14回	○月○日	ボランティア発表会に向けて プレゼン練習		これまで取り組んできたボランティア活動の内容をパワーポイントにまとめる			心のバリアフリーの教材
第 15回	○月○日	発表会		これまで取り組んできたボランティア活動の内容をパワーポイントにまとめ、発表できるように準備する			心のバリアフリーの教材
第 16回	○月○日	発表会		発表会のリハーサルを行う			心のバリアフリーの教材
第 17回	○月○日	発表会		事前にリハーサルを行うことで、自信をもって当日は発表することができる			心のバリアフリーの教材
第 18回	○月○日	発表会		発表会のリハーサルを行うことで、自信をもって当日は発表することができる			心のバリアフリーの教材
第 19回	○月○日	発表会		発表会のリハーサルを行うことで、自信をもって当日は発表することができる			心のバリアフリーの教材
第 20回	○月○日	発表会		発表会のリハーサルを行うことで、自信をもって当日は発表することができる			心のバリアフリーの教材
成績評価方法(当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法) … 「筆記試験」における試験(出題)の適正化(正規分布)、「レポート」の評価等は別に定める。							
出席率80%以上及び 成績判定試験 接客販売コンテスト審査表を利用し項目に沿って評価する 授業態度 提出物及び授業への出席状況の評価する 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする							
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%
①成績判定試験							70
②確認テスト							15
③課題レポート		2位	1位				なし
④授業態度				2位	1位		15
⑤作品							なし
⑥プレゼンテーション				2位		1位	なし
上記の判定方法がどの観点に属するものか、優先順位をつける。上位1位～降順。							不合格の場合
成績評価基準							補修、追試の有無等
シラバス作成者		シラバス承認者	フルネームを記載	授業担当教員	フルネームを記載		
				実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載		
更新履歴							
シラバス更新履歴	更新理由	更新箇所	作成者	Check者(確認者)			
改1							
改2							
改3							
改4							
改5							

2025年度 シラバス

科目名 ^{1.}	ボランティア活動Ⅱ		学科名 (コース名) ^{2.}	ブライダルホテル科		学年	2 ³ 学年	
授業形態 ^{4.}	実習	学期	前期	開講年月 ^{5.}	4月	該当資格区分 ^{6.}	該当なし	
教育課程区分 ^{7.}	必修 ^{4.}	単位数 ^{8.}	1	時間数 ^{9.}	30	該当資格名称 ^{10.}	該当なし	
科目の概要 (全コマ数を俯瞰して)	ユニバーサル社会の実現のために高齢者、身体の不自由な人、または国籍やLGBTQなど多種多様な人々に対して、分け隔てないおもてなし「ヒューマニティ ”人間性尊重精神”」を持てるように接客・接遇の知識と技術を身につける。							
科目の到達目標 (教育課程の位置づけ)	・お客様に合わせた接客と介助・サービスの実践力を身につける。 ・ホテルなどのユニバーサルサービスの対応について理解する。 ・ボランティアを実践に体験することで、コミュニケーションと共感の大切さを学ぶ。 ・ボランティアの基礎を覚え、ボランティア活動に対するイメージを広げる。							
受講条件	IC京都ビューティ専門学校ブライダルホテル科に在籍していること							
教科書名	該当なし			教材名	文部科学省 心のバリアフリーの教材			
設備名・機器名	教材投影用プロジェクター・PC (教員用)			関連サイト	文部科学省 心のバリアフリー https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1394142.htm			
関連前科目	該当なし			関連後科目	該当なし			
授業計画 (授業コマ単位) 学科：15コマ以上単位、実習・演習：30コマ以上/単位								
回(コマ)	開講日	授業コマの主題(タイトル)		各時間ごとの授業内容および授業コマの到達目標			使用教科書・教材	
第 1回	4月15日	オリエンテーション ボランティア活動とは		授業の必要性・概要・目的・目標についての説明・進め方 ボランティアの理念、ボランティア活動の社会的意義 ボランティアの基礎知識 (車椅子、手引きなど) や現状を理解できる			心のバリアフリーの教材	
第 2回	4月22日	外部講師による講義・体験授業		ボランティア入門講座、車椅子体験、手引き体験 当事者の思いを体験し、今後同様の場面に会うことを考えることができる			心のバリアフリーの教材	
第 3回	5月13日	振り返り		4/22ボランティア入門講座、車椅子体験、手引き体験を受けての振り返りを行う 振り返りを行うことで、実際に体験したことを確認することができる			心のバリアフリーの教材	
第 4回	5月20日	具体的なボランティア活動への参加に向けて		身近な地域社会の中でどんなボランティアがあるのか調べてみる ボランティア活動の種類や活動の範囲について理解できるようになる			心のバリアフリーの教材	
第 5回	5月27日	校外学習の事前学習		ユニバーサルサービスについての事前学習 施設見学をする前に、ユニバーサルサービスについての取り組みがわかるようになる			心のバリアフリーの教材	
第 6回	6月3日	校外学習 (ホテル施設の見学)		ホテル様にてユニバーサル対応の施設見学 現場での体験を通して、ユニバーサル社会の実現を考え自ら行動できる ホスピタリティを学ぶことができる			心のバリアフリーの教材	
第 7回	6月10日	振り返り		ホテル様にてユニバーサル対応の施設見学を受けての振り返り 振り返りを行うことで、あらためて現場で学んだことを理解できるようになる			心のバリアフリーの教材	
第 8回	6月17日	校外学習の事前学習		6/24に実施する施設 (デイサービスセンター) について調べる 事前に校外学習する施設を調べることで、ボランティア活動のイメージがわかるようになる			心のバリアフリーの教材	
第 9回	6月24日	校外学習 (ボランティア活動への参加)		京都市下京区老人福祉センター、デイサービスセンターでの交流 実際にボランティア活動を行うことで、コミュニケーションと共感することの大切さがわかるようになる			心のバリアフリーの教材	
第 10回	7月1日	振り返り		校外学習を体験しての振り返りを行う ボランティア活動に参加して、「人とのつながり」「地域社会とのつながり」での再発見することができる			心のバリアフリーの教材	
第11回	7月8日	ボランティア活動の発表準備		これまで取り組んできたボランティア活動を振り返りレポートにまとめる これまでのボランティア体験を振り返り、紙面にまとめることができる			心のバリアフリーの教材	
第12回	7月15日	ボランティア発表会に向けての整理		これまで取り組んできたボランティア活動の内容をパワーポイントにまとめる これまで取り組んできたボランティア活動の内容を分かりやすく プレゼンテーションツールにまとめることができる			心のバリアフリーの教材	
第13回	7月22日	ボランティア発表会に向けて プレゼン練習		これまで取り組んできたボランティア活動の内容をパワーポイントにまとめ、発表できるように準備する			心のバリアフリーの教材	
第14回	9月2日	発表会リハーサル		発表会のリハーサルを行う 事前にリハーサルを行うことで、自信をもって当日は発表することができる			心のバリアフリーの教材	
第15回	9月9日	発表会		これまでの講義・校外学習を受けての発表を行う			心のバリアフリーの教材	
成績評価方法 (当該コマの到達目標に対する評価基準と評価方法)								
①課題レポート (提出物:事前の連絡や正当な理由がなく提出期限を過ぎて提出された場合は2点減点 提出されなかった場合、あるいは提出期限を5日間過ぎて提出された場合は3点減点) ②プレゼンテーション ボランティア活動の成果を各自、発表する。 (点数配分:減点式で100点法、60点以上で合格とする、時間配分:1人10分以内) ③授業態度 上記評価点数を下表の配分%で按分し総合点60点以上を合格とする”☑								
↓判定方法\該当する観点→		知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	評価配分%	成績評価基準
①成績判定試験							なし	秀 (S) : 100点~90点
②確認テスト							なし	優 (A) : 89点~80点
③課題レポート		2位	1位				30	良 (B) : 79点~70点
④授業態度				2位	1位		30	可 (D) : 69点~60点
⑤作品							なし	不可 (E) : 59点以下
⑥プレゼンテーション				2位		1位	40	
上記の判定方法がどの観点到属するものか、優先順位をつける。上位1位~降順。							不合格の場合	補修、追試の有無等
シラバス作成者	村瀬 孝	シラバス承認者	フルネームを記載		授業担当教員	村瀬 孝		
					実務経験紹介	学校HP内の実務経験教員の紹介ページのリンクを記載		
更新履歴								
シラバス更新履歴		更新理由	更新箇所		作成者	Check者(確認者)		
改1								
改2								
改3								